

平成30年度第4回 松戸市公共施設再編整備推進審議会

日時：平成31年3月27日（水）10：00～

場所：松戸市役所 新館7階 大会議室

会議次第

1. 開会

2. 議事

(1) 前回議事の確認

【資料1】平成30年度第3回審議会議事要旨

(2) モデル地域計画について

【資料2-1】新松戸シンポジウム開催結果

【資料2-2】第3回小金原地域ワークショップ開催結果

【資料2-3】第3回小金原地域ワークショップ開催アンケート結果

(3) 全体計画について

【資料3-1】パブリックコメント手続き実施結果

【資料3-2】公共施設再編整備基本計画[案]

【資料3-3】参考資料

(4) その他

【資料4】今後のスケジュール

3. 閉会

平成30年度第3回松戸市公共施設再編整備推進審議会 議事要旨

日時：平成30年11月28日（水）9：00～10：30

場所：松戸市役所 新館7階 大会議室

出席者：柳澤委員（会長）、藤村委員（副会長）、村山委員、小川委員、森委員
（欠席：池澤委員）

○議事

- (1) 前回議事の確認
- (2) モデル地域計画について
- (3) 全体計画について
- (4) その他

(1) 前回議事の確認

事務局より、平成30年度第2回松戸市公共施設再編整備推進審議会の議事内容について説明を行った。

(2) モデル地域計画について

事務局より、平成30年度第2回小金原地域ワークショップ（平成30年10月21日（日）開催）の開催結果についての説明を行った。

<主な意見>

- 小金原地域ワークショップにおける取組のポイントは大きく2点挙げられる。1点目は、地域の公共施設について考える地域のプラットフォームを構築できたことである。2点目は、地域のまちづくり団体である小金原地区会まちづくり部から学校施設の再編に関する案（積極的統合案）が提示され、上記を含む3案（積極的統合案、中間案、現状維持案）について定性的なメリットを比較することで具体的な検討を行うことが出来た点であり、先進的な取組であると考えている。
- 学校施設のあり方については、教育委員会の考えや地域全体の適正規模・適正配置の考え方等、全体の方針の整合性についても今後考慮していく必要がある。
- 地域ワークショップにおいては、若い世代も集めて年齢層のバランスを考慮した意見を得ることが望ましい。今回のワークショップでは、比較的高齢の参加者からは現状維持案を支持する意向が強く、一方で若い参加者からは、積極的統合案を選択したうえで短所を補う方法を考えるといったフレキシブルな意見が多く挙がる傾向にあるといった特徴がみられた。本年度のワークショップでは比較的多くの参加者が集まったが、小金原地域全体の人口と比較すると一部に過ぎない。ある程度意見がまとまった段階で、今までの検討の経過を整理し、シンポジウム等の開催により、小金原地域全

体に本事業における取組について周知する機会を設ける必要がある。

- 今後の小金原地域ワークショップでは、検討の熟度が進んでいることを踏まえて、定量的な指標として、各案で再編を行う際にかかるコストの概算等を提示した上で、具体的な議論を進めることもよいと考える。
- 学校施設の再編は中長期的な検討が必要であるが、現在の小金原地域における活動の盛り上がり方に対して、地域住民が直近で検討・実施できる取組として認識してしまうことが懸念される。学校施設の再編について時間をかけて検討を進めつつ、高齢者向け施設等の直近で対応すべきこと等、短期的に取組むことのできる施設についても合わせて検討を行っていくことがよいと考える。
- 現在、モデル地域での取組として小金原地域で先導的にワークショップ等を行ってきたが、モデル地域としての役割を果たすためには、これらの取組を他の地域に発信し、理解して頂くことが重要と考える。

(3) 全体計画について

事務局より、松戸市公共施設再編整備基本計画（骨子）【案】 について、前回審議会で提示した内容から修正・更新した箇所を中心に説明を行った。

<主な意見>

第2章 計画の実行

- P6「(3) 市民との情報共有」において、将来的な目標として、計画プロセスにおける市民との情報共有や市民参加を通じて公共施設の管理・運営等、市民が主体となったまちづくり活動や地域経営につなげていくことを目指す旨の方向性などを追記することが望ましい。
- また、「市民参加型の公共施設再編整備」との記載があるが、具体的な市民参加の方法（例：ワークショップへの参加等）についても記載した方がよい。
- P8、9の(5)多面的な評価の実施について、施設評価に関する今後のスケジュール感があれば、記載することが望ましい。
- P13「進捗管理の仕組み(図 2-3 公共施設再編整備基本計画と個別施設計画の進捗管理)」において、「Do」の項目として年度計画への反映・実施だけでなく、次年度以降のモデル地域における継続的な活動への支援を考慮して、「モデル地域（地域別モデル事業）への支援」を追記することが考えられる。
- また、「Plan」の項目として「市民の意見の聴取・反映」や「施設評価の実施・反映」等の計画策定に関する具体的な手順について追記する方がよい。

第4章 行程計画

- P21「施設類型別全体行程表」とP30「地域別全体行程表」における、「短期」および「中長期」の意味合いが同じであれば、表現を統一する必要がある。
- P22「図書館におけるマネジメントの方向性」の「図書館分館を学校施設の建替えの際に、市民センター等の移転によるコミュニティ拠点整備と合わせて、学校図書館との一体的整備の可能性を検討」について、「図書館東部分館以外の図書館分館は、全て学校施設へ複合する」との誤解を与える可能性があるため、表現を修正・補足する必要がある。
- P32「本庁地域の消防施設」のうち、中央消防署は来年度に開設予定であることから、供用開始時期を記載しておく方が良い。
- P40 地域別全体行程表について、「市域全体を対象とする施設」と「対象施設を意識して地域別に配置した施設」に分けているが、複数の地域を対象とする中間的な公共施設などが明確にあれば、説明の表現を考慮しておくことが望ましい。

第5章 行程計画について

- P42 の基本的な考え方について、モデル地域の基本的な視点における将来的な取組の方向性の表現が全体的に弱いと感じる。モデル地域の将来的な目標として、各地域での進捗等を踏まえた上で地域住民による地域経営の視点（地域住民が積極的に公共施設の管理等に参画し、地域主体の持続可能な推進体制を構築することを目指す）等を追記すべきである。
 - また、モデル地域だけで完結するものではないため、モデル地域以外の6地域における今後の取組展開（モデル地域への検討プロセスを活かし、地域特性を踏まえた上で市内の他地域に反映していくこと等）についても追記すべきである。
- 上記意見を踏まえた修正の検討を行い、会長と事務局で調整を行い、会長一任という形で市長に答申を行う形を取らせていただいでよろしいでしょうか。
- （各委員）異議なし

(4) その他

その他、全般を通じて、以下の意見をいただいた。

<主な意見>

- 小金原地域の取組を財源などに留意しながら市域全体の視点で活かしていくことは良いと思う。また、地域住民に対して、まちづくり関係の所管課より市民の生活行動調査に関連するアンケート調査の依頼があったことから、今後の再編整備基本計画の推進にあたっては庁内のまちづくり計画との整合や情報共有について留意していく必要がある。

- 学校施設の再編を考えていくにあたっては、学校と市民（地域住民）との関わり方についても考えていく必要がある。教育委員会との連携等により、小金原など地域内のみで考えるのではなく、他の地域も含めて市民と学校がもっとコミュニケーションをとることのできる環境を作っていくことが望ましい。
- 庁内での調査・検討内容については、各所管課に状況を確認の上、今後計画を進めていく際に留意していきたい。

次回の平成30年度第4回松戸市公共施設再編整備推進審議会は平成31年3月27日(水)の午前10時から開催することとする。

(以上)

新松戸地域の公共施設とまちづくり

～キックオフシンポジウム～

日時：2019年2月7日(木)18:30～20:30

会場：青少年会館2F集会室

プログラム

【ショートレクチャー①】「人口減少社会における公共施設の現状と課題」

柳澤要 氏(千葉大学大学院工学研究院 教授/松戸市公共施設再編整備推進審議会会長)

【ショートレクチャー②】「地域創生のためのまちづくり」

村山顕人 氏(東京大学大学院工学系研究科 准教授/松戸市公共施設再編整備推進審議会委員)

【ディスカッション】「公共施設とまちづくり」

司会：柳澤要 氏

パネリスト：村山顕人 氏、坂野喜隆 氏(流通経済大学法学部 准教授)

高橋恒 氏(松戸市総合政策部公共施設再編課 課長)



■ 人口減少社会における公共施設の現状と課題 (柳澤要氏)

◆松戸市の公共施設整備の現状と課題は？

松戸市では、人口減少・少子高齢化が進行しており、現在の公共施設をすべて大規模修繕・建て替えを実施する場合、2023年頃から公共施設整備の財源が不足し、現在の公共施設の床面積の約3割で建て替え・修繕ができなくなると予測されている。そのため、公共施設の再編に伴い、社会資本整備に係るコストの削減について検討する必要がある。社会資本整備費は、建設費が着目されがちだが、実際は維持更新にかかる費用が多く、年々大きくなる傾向にある。したがって、公共施設の再編について検討する際には、維持管理コストに着目することが重要である。



◆公共施設再編整備のための7つのキーワードとは？

人口減少社会における公共施設再編のキーワードとして下記の7つが挙げられる。

- 1) **移動 Mobile** : 主に移動型施設(移動型オフィス、移動型図書館、移動型病院等)の整備が考えられる。公共施設を可動式とする(大型トレーラーに公共機能を導入する等)ことで地域の中で公共機能を循環させることができ、地域内に複数の施設を常設する場合と比較し、コストを削減することができる。
- 2) **仮設 Temporary** : 主にプレハブ型公共施設(仮設校舎、仮設住宅)の整備等が考えられる。佐賀県の「わいわいコンテナ」の事例では空き地にコンテナを設置し、図書館、チャレンジショップ、交流の場等を導入することで、地域の賑わい創出と空き地・空き店舗の活用の両面の効果が得られている。また、低予算で施設の新設、削減が可能であることも仮設施設の魅力である。
- 3) **複合 Complex** : 主に公共施設の複合化・連携や官民連携(公共施設と民間施設の複合化・連携)が挙げられる。公共施設と民間施設を複合化することによって、来訪者が公共施設(図書館・交流センター等)と民間施設(カフェ・マーケット等)の両方を利用することができ、施設利用者数の増加や利便性の向上等の相乗効果が見込める。今後の公共施設整備においては施設用途・機能を越えたファシリティマネジメントが必要となる。
- 4) **分散 Scattered** : 地域の特性に合わせた機能を配置し、それぞれの機能をネットワーク化することを示す。公共施設にテレワークを導入することにより、様々な公共サービス(行政・教育・医療・福祉等)を時間や場所の制約を受けずに利用することができるようになる。
- 5) **共有 Share** : 現在わが国では物・サービス・空間等を多くの人が共有して利用するシェアリング・エコノミーが進んでいる。学校施設においても、教室や体育館を時間帯によって地域に開放する「時間のシェア」や校外のプールや音楽ホールを授業で利用する「空間のシェア」によって地域の中で有効利用することができる。
- 6) **融合 Inclusion** : これからの公共施設整備には、子ども・高齢者・障がい者等を含めた様々な人々の利用を想定したインクルーシブデザイン・ユニバーサルデザインといった考え方が必要となる。
- 7) **参加 Participation** : これからは、ワークショップ等を通して、専門家・利用者(地域住民)・事業者等、様々な関係者を巻き込む、参加型のまちづくり・施設づくりが求められる。

■ 地域創生のためのまちづくり（村山顕人氏）

地域創生のためのまちづくりの事例として下記の3つの取組について説明を行った。

◆み(ん)などまちのVISION BOOK【名古屋市港区西築地学区】

名古屋市港区西築地学区では、ポートピア名古屋（競艇場以外の場所で勝舟投票券を発売する施設）の売り上げの一部を環境整備協力費として、名古屋市を通じて地域に供給する仕組みがある。これを地域のまちづくりに関するプロジェクトに活用する際の方向性を示すことを目的として、地域が「み(ん)などまちのビジョンブック」を作成した。ビジョンブックには新たな「港まちづくり」のビジョンを支えるコンセプトとして「なごやのみ(ん)などまち」を掲げており、このコンセプトを実現するためのテーマとして「○：心地よく安心な港まちで暮らす」・「△：魅力的でにぎやかな港まちに集う」・「□：みんなと港まちを創る」を設定し、地域が中心となって、下記の内容をはじめとする様々なプロジェクトを実施している。

テーマ	プロジェクト(例)
○：心地よく安心な港まちで暮らす	防災訓練、花壇の管理、子どもの遊び場についての検討
△：魅力的でにぎやかな港まちに集う	花火大会、コンサート、飲食系イベントの開催
□：みんなと港まちを創る	アート系イベント、ワークショップの開催

これらのプロジェクトの多くは、地域に関わる人たちが、自ら外部の人を呼び込んで一緒に取り組んでいる。これからのまちづくりは、行政に頼りきるのではなく、地域でできることは自らが取り組むことが重要である。

◆錦二丁目長者町まちづくり構想と低炭素まちづくりプロジェクト【名古屋市中区錦二丁目】

この地域は、かつて繊維問屋街として栄えていたが、産業の衰退とともに賑わいが失われてきた。そこで新たな価値を生み出すことで地域を活性化させることを目的として、地域が3年の年月をかけて、まちづくり構想を作成し、地域でまちづくりに取り組む組織体制（錦二丁目まちづくり連絡協議会）の組成に至った。また、重点プロジェクトと位置付けた取組みを実施するためのプロジェクトチームとして、まちづくり推進委員会をつくり、様々なプロジェクト（公共空間デザイン、アートイベント等）を実施している。さらに、再開発事業の中で、まちづくり協議会からまちづくり会社（錦二丁目エリアマネジメント株式会社）が発足し、公共空間の活用やイベントの実施等の事業を行っている。

◆松戸市小金原地域のまちづくり【松戸市小金原地域】

小金原地域では、松戸市公共施設再編整備基本計画におけるモデル地域としてワークショップ等の取組みを実施している。公共施設の再編にあたって、当初は行政主導型でワークショップ等を開催し、検討を進めてきたが、その後、地域の中でまちづくり組織（小金原地区会まちづくり部）が発足し、公共施設再編の検討のみにとどまらず、花壇の整備やコミュニティバス導入の検討等、自主的な取組みを実施している。小金原地域の事例は、行政主導型ではなく、地域組織が積極的に市民参加し、地域主導型で行政と連携してまちづくりに取り組んでいるという点で先進的であるといえる。本年度も市とまちづくり部がワークショップを共催し、地域を巻き込んで公共施設の再編について検討を行っている。

◆まとめ

上記の3つ事例に対して共通して言えることは、地域の中でまちづくりや公共施設の再編についてのビジョンを描き、実現に向けて、地域でできることから行動に移しているということである。これからのまちづくりには、行政だけでなく、地域住民、地域組織、起業家、芸術家等をはじめとした様々な人が連携する「戦術型まちづくり」の視点が必要となると考える。



■ ディスカッション「公共施設とまちづくり」

◆テーマ①「公共施設再編を考えるうえでの重要な視点は？」

<ディスカッション内容(一部抜粋)>

柳澤: 公共施設の再編に関して、新松戸地域における市民参加のプロセスとして、どのようなものが考えられると思うか。



村山: 基本的に、地域の関係者が集まって議論する点では他地域と同様だが、新松戸地域は地域団体の数が多く、地域の中での合意形成が困難になると考えられるため、ワークショップ等に参加できなかった方や団体とのコミュニケーションの手段を考えることが必要である。

公共施設の再編における視点として重要なものが3つ挙げられる。1つ目は地域の中から課題の解決に注目する「虫の目」、2つ目は市全体から俯瞰して課題を見る「鳥の目」、3つ目は時代の流れに身を任せつつも地域の課題解決を目指す「魚の目」という視点である。地域で公共施設の再編を検討する際は、各々の利害にとらわれず、以上の様な様々な視点を持つことが重要である。

柳澤: 地域の中で公共施設の再編シナリオを検討する際、参加者によって各施設に対する考え方が異なるため、利害関係の調整が難しいと考えられるがどう思うか。

村山: 小金原地域で学校施設の再編について、ワークショップ形式にて検討を行った際、地域のまちづくり組織(小金原地区会まちづくり部)が、極端な再編シナリオを提示することで、その再編シナリオのメリット・デメリットを踏まえて、参加者から現実的な案が複数挙げられた。このように、参加者の中で1から検討を始めるのではなく、地域組織等から具体的なシナリオを示したうえで、参加者の中で議論する手法も効果的であると考えられる。

柳澤: 学校施設は公共施設の中に占める床面積の割合が大きいため、将来的に再編の検討が求められる。学校施設の再編については個々の損得勘定にとらわれず、地域のコミュニティへの寄与に着目することが重要であると考えますが、その点についてどう思うか。

坂野: 小・中学校は地域のコミュニティの拠点となる施設であり、行政・政治の両面において利害関係が複雑化していることが多いため、学校の統廃合は非常に難しい問題である。

柳澤: 統廃合以外にも、空き教室の利活用や地域施設と複合化を推進することで、学校規模を適正化を図りつつも地域コミュニティの維持につながるの考え方もあるが、松戸市として、学校の統廃合についてどのように考えているか。

高橋: 今後、少子高齢化や人口減少を迎えるにあたり、学校施設の再編が必要となると思う。その際には、空き教室の活用や学校敷地内への公共施設の導入等によって、学校を地域コミュニティの拠点として整備するといった視点も意識して取り組む方針である。



■ ディスカッション

◆テーマ②「公共施設の再編を執行していく上で必要な視点は？」

＜ディスカッション内容(一部抜粋)＞

柳澤：学校施設を含めた公共施設の再編を行う際、施設ごとの耐用年数のばらつきによって、利用ニーズと更新時期にギャップが生じると考えられるが、その点についてどう考えているか。

村山：複数の施設がある程度まとまって更新時期を迎える際に、更新時期に近い施設を中心に、再編を検討するのが良いと考えられる。また、建替え等によって公共施設を再編する際には、今後、時代のニーズや少子高齢化等により人口形態が変化した際に、用途転換など柔軟な利用が可能な施設を予め整備する等の対策が必要となると考える。

坂野：地域におけるギャップを埋めるためには、市民参加によって地域が集まって検討する「協働のまちづくり」の視点が有効である。地域で公共施設の再編について検討する際には、「信頼」「地域活性化」「地域・官民の連携」「採算性」「効率性」「有効性」の6つの視点が重要であると考えている。

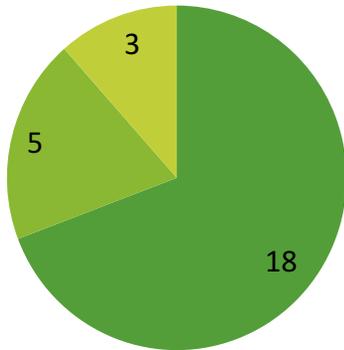
高橋：松戸市の公共施設は昭和40～50年代に集中的に建設された背景があり、今後、一斉に更新時期を迎えることによる財政への圧迫が懸念される。したがって、個々の施設の更新時期のみを注視するのではなく、市の公共施設全体を視野に入れたうえで更新時期の平準化等も検討する必要があると考えている。

柳澤：個別の施設ごとに再編の方針を検討する場合、施設の複合化等の検討にはつながりにくいと考えられる。したがって、公共施設の再編にあたっては、松戸市の公共施設全体に対して、マクロな視点による横断的な検討のシステムをつくる必要があると考えられる。

高橋：本年度策定予定である公共施設再編整備基本計画と来年度から各施設の所管課によって作成予定である個別施設計画を踏まえて、松戸市の公共施設全体を見渡して再編の検討を行っていく予定である。

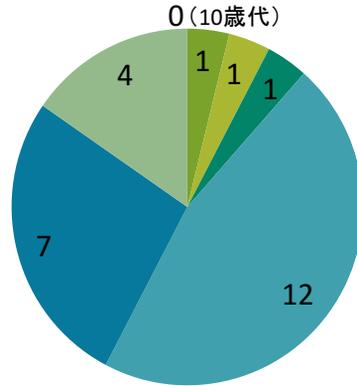
■ 会場アンケート結果の概要[回答者数:26]

Q.お住まいの地域



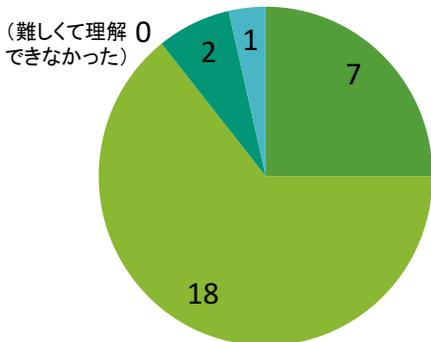
- 新松戸地域
- 新松戸地域外
- 市外

Q.年齢



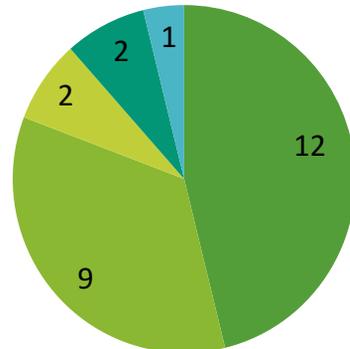
- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代以上

Q.本日のシンポジウムの感想



- 刺激的でとても面白かった
- 新たな発見があり、面白かった
- 難しく理解できなかった
- 面白くなかった
- その他
- 未記入

Q.本日のテーマについて継続して関わりたいか



- 継続して関わりたい
- テーマの内容によっては関わりたい
- 関わりたいとは思わない
- その他
- 未記入

ワークショップ開催結果

松戸市×小金原地区会まちづくり部

H30第3回小金原地域ワークショップ

～公共施設の将来シナリオを見直して、地域のみんなで小金原に活気を取り戻す～

- 開催日：平成31年3月9日(土) 14時～17時
- 会場：小金原市民センター2階 ホール
- 出席者：約25名

■プログラム

- ①公共施設等の概要
- ②グループワーク第1部
- ③中間発表
- ④グループワーク第2部
- ⑤全体発表・意見交換会

■ワークショップの進め方



●第1回(9月16日)

小金原地域のウリ(セールスポイント)を確認し、再び活気を取り戻すための**公共施設のあり方について議論**しました。

●第2回(10月21日)

第1回で挙げた公共施設のあり方についての意見を踏まえ、小金原地域のこれからの**学校施設の利活用方法や学校再編の方向性**について議論しました。

●第3回(今回)

これまでの検討を踏まえ、**皆さんが小金原地域に住む理由と、今後ずっと住み続けていくための小金原中心部のあり方**について議論しました。

公共施設等の概要(ワークショップ配布資料より抜粋)

松戸市×小金原地区会まちづくり部

1. 第1回ワークショップのおさらい

■人口数推移

小金原地域の人口推移



小金原地域では40年後(平成67年までに)・・・

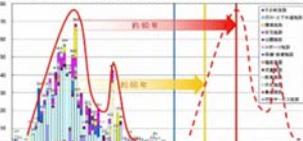
人口が現在のおよそ**36%に減少**する
(年少人口が現在のおよそ**21%**に減少する)

人口の半数以上が**高齢者**になる
ことが見込まれています。

1. 第1回ワークショップのおさらい

■今後急増が見込まれる施設更新費用

(引用)「松戸市公共施設等総合管理計画」



高度経済成長期の人口増加に対応して、**昭和40年代から50年代前半頃に集中的に施設整備**

■松戸市全体の公共施設更新費用(財源の見込み)



1. 第1回ワークショップのおさらい

■小金原における学級数推計

※松戸市公共施設再編整備推進審議会資料より抜粋

学校名	現状			推定推計		
	平成28年(2016)年5月	平成42年(2030)年		平成52年(2040)年		平成62年(2050)年
	(A) 児童数	(B) 学級数	A/B	(A) 児童数	(B) 学級数	現状との比較
根木内小学校	616	20	31	355	12	▲8
栗ヶ沢小学校	394	19	21	180	6	▲13
眞の花小学校	276	12	23	202	7	▲5
栗ヶ沢中学校	443	16	28	212	7	▲9
根木内中学校	348	10	35	182	6	▲4

※将来推計は、社人研推計を基に公共施設再編課で推計
※将来学級数は30人学級を維持した場合の学級数を生徒数から算出

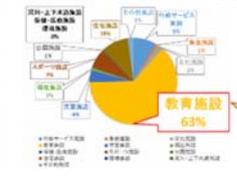
1. 第1回ワークショップのおさらい

■主な小金原地域の公共施設

施設名称	施設種別	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積
松戸市立根木内小学校	小学校	2,072	1,848	1,848	1,848
松戸市立栗ヶ沢小学校	小学校	1,848	1,848	1,848	1,848
松戸市立眞の花小学校	小学校	1,848	1,848	1,848	1,848
松戸市立栗ヶ沢中学校	中学校	1,848	1,848	1,848	1,848
松戸市立根木内中学校	中学校	1,848	1,848	1,848	1,848

小金原地域では平成50年までに**およそ8割の公共施設が更新時期を迎える**と見込まれています。

■小金原地域の公共施設の施設分類割合



小金原地域では、**公共施設の延床面積の6割以上が教育施設(小学校・中学校)**となっています。

■グループワーク第1部

●あなたが小金原地域に**住み続ける理由**は？

グループワーク第1部では、小金原に住み続けたい、移り住みたいと思ってもらえるような地域の魅力を見つけるために、参加者の皆さんが**小金原地域に住み続ける理由**について考えました。



■グループワーク第2部

●小金原中心部の**将来のあり方**を考える

グループワーク第2部では、小金原地域がより住みやすく魅力的なまちになるような小金原中心部の将来のあり方として、以下について議論しました。

- ①小金原中心部の**施設の活用方法**は？
- ②小金原中心部の**キャッチコピー**は？



3

●グループワーク第1部 (あなたが小金原地域に住み続ける理由は?)

■小金原地域に住み続ける理由<主な意見>

参加者の皆さんが**小金原地域に住み続ける理由**として主に下記の項目が挙げられました。

施設

- 公共施設が充実している
- 学校が多い
- 特別支援学校がある
- 保育施設が多い
- 病院、診療所が多い
- 銀行、郵便局がある
- 図書館がある
- 買い物に便利

インフラ・住環境

- 道路(歩道)が広い
- 住環境が良い
- 区画整理で整ったまちなみ
- 一戸あたりの敷地が広い

交通

- 交通の便が良い
- バスが利用しやすい
- バス停が近い
- 都心へのアクセスが良い

自然

- 緑が多い
- 公園が多い
- 森や水源が近くにある
- 桜がきれい
- 空気がきれい
- 野鳥が生息している

コミュニティ

- 人間関係、コミュニティが充実している
- 地域イベント、交流が盛ん
- 居心地が良い
- 知り合いが多い
- 町会組織が充実
- 熱心なボランティアが多い(スクールガイド)

その他

- 職場から近い
- 災害が少ない(災害に強い)
- 歴史(城跡)がある
- 子育てしやすい
- 実家が近い
- 土地/家を持っているため

4

■ 小金原地域に住み続ける理由 (最も重要なこと)

各班で挙がった「小金原地域に住み続ける理由」の中から「最も重要なこと」について話し合い、各班で2~3つを選定しました。

班番号	小金原地域に住み続ける理由(最も重要なこと)
1班	静かで子育てしやすい
	都心へのアクセス性
	地域活動が活発
2班	銀行、郵便局がある
	ゆったり安心
	自然豊か 心も豊か
3班	地域イベントが盛ん
	施設が充実
	地区会・町会の運営体制
4班	緑が多く、ゆったり
	人のつながり

グループワーク第2部 (小金原中心部の将来のあり方を考える)

■ 小金原中心部の施設の活用方法は?

小金原中心部の公共施設等の活用方法として、「小金原中心部で行いたいコト」と「自分達(地域住民、地域団体等)のできるコト」について議論しました。



■ 小金原中心部で行いたいコト＜主な意見（1/2）＞

施設/場所	行いたいコト
小金原中心部 全体	小金原中心部の公共施設等を集約した複合施設を整備する
	町会、商店街、小中学校が連携してイベントを開催する
	コミュニティバスを整備して地域内を自由に移動できるようにする
小金原市民センター	コミュニティスペース(カフェ等)を導入し、多世代が交流する
	子育て施設の導入/子育てイベントを開催する
	学習スペースを設けて子どもが勉強できる場所とする
小金原体育館	複合施設(保育所、児童館等)とする
	小金原公園に移設し、民間施設(スポーツジム等)を導入する
	スポーツジム、温水プール等を導入する
小金原公園	可動式のカフェやベンチ等を設置して交流の場とする
	イベント(お祭り、ウォークラリー、フリーマーケット等)を開催する
	商店街と連携してオープンカフェを導入する
	防災公園として整備する
	幅広い利用(スケートボード、クライミング、アスレチック等)に対応する

7

■ 小金原中心部で行いたいコト＜主な意見（2/2）＞

施設/場所	行いたいコト
小金原商店街	イベント(飲み会等)を行う
	駐車場の料金設定を見直す
	花、イメージカラー等で統一感を持たせる
	小金原公園にかけて遊具や健康器具を設置する
小金原団地	バリアフリー化し、高齢者が安心して暮らせるようにする
	空き部屋を宿泊施設として整備する

■ 自分達でできるコト＜主な意見＞

（地域住民の参加によってできるコト）

- イベントの運営スタッフとして参加する
- 積極的に施設を利用する
- イベントの開催内容や施設内容等について地域住民にアンケートをとる
- 公園の管理に参加する
- 公共施設(市民センター、体育館等)の管理・運営に参加する

（地域団体の連携によってできるコト）

- 町会、商店街、小中学校が連携してイベントを企画・運営する
- 地区会と地域の飲食店が連携してイベントを企画・運営する

8

■新しい小金原中心部のキャッチコピーは？

「小金原中心部の施設の活用方法」の検討結果を踏まえて、各班で検討した将来の小金原中心部のイメージを一言で表す「**小金原中心部のキャッチコピー**」を考えました。

■小金原中心部のキャッチコピー

班番号	小金原中心部のキャッチコピー
1班	集まる 集める けやきシティ
2班	わくわくの町、小金原
3班	緑豊かな ほっこりタウン小金原
4班	身近な改善策を一つずつ着実に。 推進体制をつくって動かす

第1部 あなたが小金原地域に住み続ける理由は？

(1)班

小金原地域に住み続ける理由

子育て

保育施設が多い

子育てしやすい

静かで環境が良い

近くに公園がある
(21世紀の森)

アクセス

都心へのアクセスがよい

緑が多く住み易い上に都心に近く便利だから

バスの本数が多い

バスの本数が多い

バス停が目前

利便性

良いお店がある
(パン屋、ケーキ、コーヒー屋さん)

買物に便利

道が広い
(歩道)

コミュニティ

地域活動(スポーツ少年団)に長年携わり、生きがいになっている

人間関係コミュニティ

しがらみ・現実

子供、家族を中心とした生活基盤ができています

実家が近い

妻のネットワークが出来ているため

家を建てた(持ち家)

いまさら引越せない

最も重要なこと：(3つ選択)

静かで子育てしやすい

都心へのアクセス性

地域活動が活発

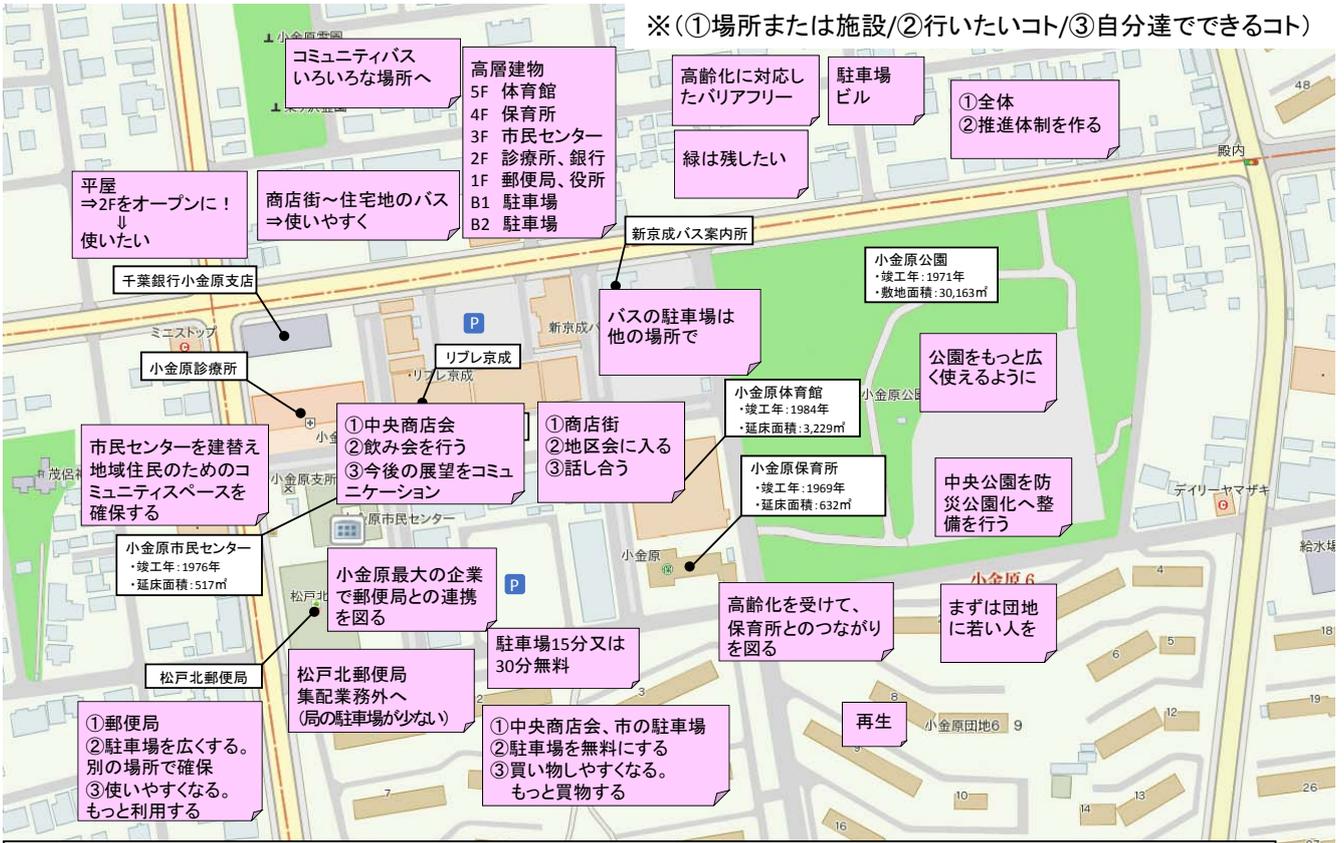
小金原地域に住み続ける理由

施設	インフラ	自然	コミュニティ
<ul style="list-style-type: none"> 義父が住む土地を決めて住み始めた 病院・診療所が多い 公共施設が多い(支所、体育館、公園) 公共施設が充実している学校が多い 5丁目に住んでいるため、銀行、お店、病院、郵便局がそろって便利 銀行、郵便局がある 病院が多い 	<ul style="list-style-type: none"> バス停が近い 公園が多く、木がたくさんある 公園が多い 職場から近い 公園が多い 都内へ1時間くらいで通える 歩道が広く安全 バスの本数が多く利用しやすい 道路が広い 車の生活をしていると、色々な方面に行きやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 桜並木がある 緑が多い 自然、緑が多い 緑が多い 並木が美しい(桜、いちよう、かえで) 静か(車など) 静かな街 家の面積が大きめで、緑が多く、野鳥がいる 	<ul style="list-style-type: none"> 町会関係の充実 将来に期待して 同じころに住み始めた方が多く、顔見知りがいること 熱心なボランティアさんが多い(スクールガイドさん)
<p>最も重要なこと：(3つ選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> 銀行、郵便局がある ゆったり安心 自然豊か心も豊か 			

小金原地域に住み続ける理由

施設	インフラ	環境	コミュニティ
<ul style="list-style-type: none"> 店や病院がある 栗小、栗中、特別支援学校が近くにある 学校施設が多いインフラが整っている公園が多い 並木道がきれい地域イベントが多い元気な高齢者が多い 図書館があり、本が借りやすい 小学校、中学校が近い 	<ul style="list-style-type: none"> 常盤平駅まで15~20分(バスの数が減った) 第1種住宅専用地域住環境が良い(乱開発がない)1戸当たり敷地面積が広い道路・歩道が整備 交通機関 区画整理が整った街並み緑地公園、学校、公共施設good 城跡が残っている栗ヶ沢城根木内城 居住環境がよい(商店、病院、郵便局、銀行+交通機関etc) バスで駅まで行ける(不便ではない) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境が良い 自然環境が良い広い空、公園が多い緑が多い、空気がきれい 道路が広く、桜もある 栗ヶ沢は道が狭くまだまだ改善してほしいが、緑が残っている、野鳥も見られる 森や水源が近くにある、残っている 	<ul style="list-style-type: none"> 防災(耐震性)に強い活断層は1点縄文時代からの安定した地盤 栗小、栗中を卒業した子ども達がふる里として、この地を愛している 子育てをした街で知り合いも多い 地域コミュニティ高齢者は住みやすい点と住みにくい点若者は稀なほど目立たない点 小金原東町会新築住宅が多く若年層が多い学童が多い となりの市との交流 体育館の行事・交流 地区内でのイベント交流 祭り
<p>最も重要なこと：(3つ選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域イベントが盛ん 施設が充実 地区会・町会等の運営体制 			

※(①場所または施設/②行きたいコト/③自分達でできるコト)



小金原中心部のキャッチコピー：
身近な改善策を一つずつ着実に。推進体制をつくって動かす

小金原WSアンケート回答対象者計 22名

Q0	●お住まいの地域		
	<input type="checkbox"/> 小金原地域	21	<ul style="list-style-type: none"> ■ <input type="checkbox"/> 小金原地域 ■ <input type="checkbox"/> 小金原地域外 ■ <input type="checkbox"/> 市外 ■ <input type="checkbox"/> 未記入
	<input type="checkbox"/> 小金原地域外	0	
	<input type="checkbox"/> 市外	0	
	<input type="checkbox"/> 未記入	1	
●年齢			
<input type="checkbox"/> 10歳代	0	<ul style="list-style-type: none"> ■ <input type="checkbox"/> 10歳代 ■ <input type="checkbox"/> 20歳代 ■ <input type="checkbox"/> 30歳代 ■ <input type="checkbox"/> 40歳代 ■ <input type="checkbox"/> 50歳代 ■ <input type="checkbox"/> 60歳代 ■ <input type="checkbox"/> 70歳代以上 	
<input type="checkbox"/> 20歳代	0		
<input type="checkbox"/> 30歳代	0		
<input type="checkbox"/> 40歳代	5		
<input type="checkbox"/> 50歳代	5		
<input type="checkbox"/> 60歳代	3		
<input type="checkbox"/> 70歳代以上	9		
●性別			
<input type="checkbox"/> 男	17	<ul style="list-style-type: none"> ■ <input type="checkbox"/> 男 ■ <input type="checkbox"/> 女 	
<input type="checkbox"/> 女	5		
Q1	●何を見てワークショップを知ったか ※複数回答あり		
	<input type="checkbox"/> 町会回覧	10	<ul style="list-style-type: none"> ■ <input type="checkbox"/> 町会回覧 ■ <input type="checkbox"/> 町会掲示板 ■ <input type="checkbox"/> パンフレット ■ <input type="checkbox"/> 紹介 ■ <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 町会掲示板	1	
	<input type="checkbox"/> パンフレット	4	
	<input type="checkbox"/> 紹介	6	
	<input type="checkbox"/> その他	5	
		⇒まちづくり部LINE	
Q2	●本日のワークショップの感想について ※複数回答あり		
	<input type="checkbox"/> 刺激的で面白かった	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ <input type="checkbox"/> 刺激的で面白かった ■ <input type="checkbox"/> 新たな発見があり、面白かった ■ <input type="checkbox"/> 難しく理解できなかった ■ <input type="checkbox"/> 面白くなかった ■ <input type="checkbox"/> 未記入
	<input type="checkbox"/> 新たな発見があり、面白かった	13	
	<input type="checkbox"/> 難しく理解できなかった	0	
	<input type="checkbox"/> 面白くなかった	0	
	<input type="checkbox"/> 未記入	5	
●本日のテーマについて継続的に関わりたいか			
<input type="checkbox"/> 継続して関わりたい	19	<ul style="list-style-type: none"> ■ <input type="checkbox"/> 継続して関わりたい ■ <input type="checkbox"/> テーマの内容によっては関わりたい ■ <input type="checkbox"/> 関わりたいとは思わない ■ <input type="checkbox"/> その他 ■ <input type="checkbox"/> 未記入 	
<input type="checkbox"/> テーマの内容によっては関わりたい	2		
<input type="checkbox"/> 関わりたいとは思わない	0		
<input type="checkbox"/> その他	0		
<input type="checkbox"/> 未記入	1		

Q2. ●本日のワークショップの感想について

- もっと自由な発想ができるようにしたいと思います。
商店街の方を呼んでください。
- 子育て世代の方と同じグループで、今までとちがうお話がきけました。
子供が安全でのびのびできる、親が安心して子育てできる町づくりをのぞみます。さらに魅力的な町になると
思います。
- 同じような意見が多かったので、行政はそれを取り入れてほしい。
- 小金原地域への愛を感じた。
- 飛躍した今すぐ出来そうにない意見もでた一方、どうにかすれば明日からでも出来そうなものもあり面白かつ
た。
- 様々な意見があり、今後にかかしていただければと思った。
- 自分の頭の中に無い考え方、いろいろな切り口があることが分かりました。
定期的を開催していきたい。
もっとたくさん参加できるようにならないのか？
いろいろな意見を聞いてみたい。
- いろいろな人の意見が聞け、自分には思いつかない考えにとても面白いと感じた。
多様な意見を静聴できました。
- 最近建売住宅が多く建築されていて、議論の前提データの信ぴょう性が下がってきていると思うので少子
化傾向の見直しを求めたい。
- 次の展開が気になります。
- グループワークも3回になると面白さが減る。
小金原の将来を考える動きに参加できてうれしい。
- 地域町会の意見を汲みとろうとする松戸市の姿勢に感銘を受けました。
公共施設を如何に大切に守り活用していくかが今後の課題だと思います。
- 参加者が少なく残念。PRが必要。

Q4. ●その他

- アンケートをとってください。
- 商店街の方々のご意見をうかがいたい。
町の中心部を考えるためには、商店街ははずせないと思いました。
町会・町づくり部の方々、毎回このようなワークショップ開催ありがとうございます。
- 着地点が見えない！
いつまでWSは続くのでしょうか？
- 具体的にでた案に対しては市の考え方も示してほしい。
- 小金原地区全体としてのコミュニケーションが重要と思います。
- 難しいこと多くですが、未来に向けての発展です。
- 商店街の方、郵便局、新京成バスと話し合いたい。どういった考えを持っているのか？
ミニワークショップの開催をしてほしい。町会と地域団体ごとにする。
- テーマ議論の誘導(進め方)が難しくなっていると感じるが深くなってきているためか。
テーマに沿った発表になっていたのか検証していただき、次につなげていただきたい。
- 中央商店街からの参加がない事が、残念に感じます。
- 小金原が一つにまとまるイベントを一つ創り出すこと！
- 実際に街をみんなで歩いてみたらいかがでしょうか？新しい発見があるかも。
- 市の施策への展開にも参加したい。
- 団地、戸建現在の町の今後の活性化問題

松戸市公共施設再編整備基本計画（案）

パブリックコメント（意見募集）手続きの実施結果を公表します

「松戸市公共施設再編整備基本計画（案）」の作成にあたり、市民の皆様から意見の募集をしたところ56名の方からご意見をいただきました。ご意見の提出ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめましたのでお知らせいたします。

パブリックコメント手続き実施結果の概要

- 1 意見募集期間 平成31年1月15日（火）～平成31年2月15日（金）
- 2 意見提出方法 持参、郵便、FAX、公共施設再編課Eメール、専用フォーム
- 3 資料の閲覧方法 市ホームページ、公共施設再編課、行政資料センター、各支所、図書館（本館・分館）、まつど市民活動サポートセンター
- 4 意見提出者 56名
- 5 意見総件数 164件
- 6 意見取り下げ 0件
- 7 回答数 164件
- 8 集計結果

分類	意見数
①計画全体に関する意見（その他意見含む）	85
②教育施設関係に関する意見	52
③文化施設関係に関する意見	26
④集会施設関係に関する意見	18
⑤児童施設関係に関する意見	30

※複数の分類を含む意見は、該当する分類（①～⑤）にそれぞれ計上している。

9 意見への対応状況 市の対応集計表 ※該当ページではなく記載内容により判断

対応区分	対応内容	件数
A	計画案を修正する	9
B	今後の取り組みにおいて参考にする ※修正なし	26
C	計画案の記載の内容に対する指摘及び質問等に対する回答 ※修正なし	48
D	再編の取り組みや各施設に対する要望等への回答 ※修正なし	75
E	その他（上記に含まれない意見や本計画との関係性が薄いもの等）※修正なし	6

10 意見内容および回答 別添のとおり

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
1	全体	本計画の下位計画が個別施設計画とするならば、あまりにも内容に具体性が乏しい。 (いつ、どこを、何をがない。よって道筋がみえない) 現在計画している施設については、若干の具体性はあるが、その他は、どのような(いつ、なにを、どのように)公共施設マネジメントを行うかが、見えてこない。 基本計画であれば、公共施設マネジメントについて詳細化するべき。 本計画のままでは、個別施設計画策定にあたって、いかようにも解釈でき、野放図な個別施設計画となる可能性が高い。	本計画は、再編の方向性を示すものであり、「第4章行動計画」において、施設類型別・分類別にマネジメントの方向性を示しております。 具体的な数値目標等については、施設カルテ等を精査して、地域性等を考慮の上、今後作成する個別施設計画で検討していきます。	無し
2	全体	基本計画として、具体的(定量的)目標がない。明示すべき。 具体的目標がない計画は、計画とは言わない。 ・総量の最適化 ~ 総量とは何を指し、また具体的な目標値は。 ・公共施設の適正配置 ~ 何を以て適正というのか(特に地域別施設) ・将来的な財政負担の縮減と平準化 ~ 財政負担の具体的な目標値は。 具体的目標とは、「何を」、現状維持/何%削減/何%以内増とかである。 また、具体的目標がないと、個別施設計画の妥当性がチェックできないし、進捗管理(PCCA)もできない。	本計画は、再編の方向性を示すものであり、「第4章行動計画」において、施設類型別・分類別にマネジメントの方向性を示しております。 具体的な数値目標等については、公共施設カルテ等を精査して、地域性等を考慮の上、今後作成する個別施設計画で検討していきます。	無し
3	全体	松戸市公共施設等総合管理計画(23ページ)において、「公共施設に充てられる一般財源を57億円と仮定すると、市が保有する約1/3の建物(延床面積)について大規模修繕と建替えは実施することが困難な状況」とある。 これに対して、本基本計画では、どのような対処をされようとしているのか、明示されない。	本計画は、再編の方向性を示すものであり、「第4章行動計画」において、施設類型別・分類別にマネジメントの方向性を示しております。 具体的な数値目標等については、公共施設カルテ等を精査して、地域性等を考慮の上、今後作成する個別施設計画で検討していきます。	無し
4	全体	6ページの基本方針①で「将来的な人口動向に配慮し、公共施設の利便性を高めつつ、…教育施設の適正規模化や多機能化等により、総量の最適化を図ります」とある。 また、基本方針②公共施設の適正配置でも「コミュニティや人口構成など地域性も考慮し」とある。 ならば、地域別全体行程表の根拠となる 1)地域別の人口推計(2018年の社人研人口推計をベースとした) 2)小中学校の学級数推計も提示すべき。	将来人口については、上位計画(公共施設等総合管理計画)において推計を行っているため、本計画では提示いたしません。なお、今後の将来人口については、(新)松戸市総合計画(仮)と調整を図ってまいります。	無し
5	全体	資産マネジメント推進部門について、明確な組織構造が示されていない。 例えば、1)責任の明確化のために、長が誰なのか(例えば市長/副市長/部長) 2)第三者の公共施設マネジメント専門家が入るのか 等である。 また、松戸市公共施設再編整備推進審議会との関係性が見えない。 (公共施設等総合管理計画では、同審議会は平成31年3月に解散とあったが、「進捗管理の仕組み」では同審議会が出現) はっきり言って、庁内組織の公共施設再編整備検討委員会には公共施設マネジメントの専門家はいる。 よって、資産マネジメント推進部門には専門家の意見を吸収する体制が必要である。	松戸市公共施設再編整備推進審議会は、松戸市公共施設再編整備推進審議会条例第2条第2項に定める効果的な推進に関する事項を調査審議するため継続していく予定でございます。	無し
6	全体	公共施設カルテという言葉が文中に何か所かでてくるが、どのようなものかイメージできない。 参考資料でよいので、様式・サンプル等を記載すべきではないか。	公共施設カルテは、公共施設再編整備基本計画には、参考資料として掲載する予定です。 公共施設カルテの内容は、今後施設情報のデータベース化や施設評価等を行っていく中で、随時変更や更新を図っていく予定です。	無し
7	全体	短期および中長期に線引きされている「マネジメントの方向性」には、いつ・何をやるかが明示されていない。 少なくとも短期欄には、「何を」や「成果(アウトプット名)」を明示すべきである。	本計画は、再編の方向性を示すものです。 具体的な数値目標等については、施設カルテ等を精査して、地域性等を考慮の上、今後作成する個別施設計画で検討していきます。	無し
8	全体	中長期のみの線引きされているものは「検討します」としか書かれていない。 検討を10年後から開始して、H34年度以降に大幅増加が予想される財源「大規模修繕及び建替えを実施した場合の一般財源額(白書より)」に対応できるのか疑問である。 本計画に根本的問題があるのではないかと。	「中長期(概ね10年以降に検討・実施)」の方向性については、対象施設の耐用年数を考慮の上、概ね平成32年度を目途に個別施設計画で検討していきます。	無し
9	全体	全体的にコストや効率性重視といった後ろ向きな印象で夢がない。これでは松戸から人が逃げてしまっているのではないかと。松戸市が「やさシティ、まつど」、「子育て支援」を標榜しているのであれば、それに沿った街の魅力を作るために、施設の発展的な議論を多く盛り込むべきである。特に若い市民、子どもの目線に立った視点が欠けているように感じる。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力が高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
10	全体	① 提示された計画案は、あくまでも「基本」の計画とは承知しておりますが、計画書全体から、施設別あるいは地域別の再編整備に関する優先順位づけをどのようにされるお考えなのかが見えてきません。現段階でのお考えをお示し頂ければと思います。それが現段階では難しいのであれば、そもそも優先順位をどのようにつけようとするのか、その考え方やご方針(いつ頃にはそれをはっきりさせるのかを含め)あるいはその方法をお聞かせ下さい。	優先順位の検討(個別施設の評価)に当たっては、本計画の「第2章1.(5)多面的な評価の実施(8、9頁)」に基づいて、今後作成する公共施設カルテを活用した多面的な評価を行っていきます。	無し
11	全体	② 提示された計画案の対象となる施設は、P4表1-1によれば410施設に及びますが、計画全体として大凡どの程度の規模の総事業費を要するのかがまったく示されておりません。再編整備の具体的な計画はこれから取り組まれるものと思いますが、短期計画に区分された施設だけで結構ですので、どの程度の事業費規模(総額)のものを想定されておられるのかをお聞かせ頂ければ幸いです。それが現段階で難しいのであれば、せめて本庁舎に關してだけでも結構ですのでお考えをお聞かせ下さい。	具体的な数値目標等については、公共施設カルテ等を精査して、地域性等を考慮の上、今後作成する個別施設計画で検討していきます。	無し
12	全体	③ 松戸市のHP上に掲載されている「松戸市財政のあらまし(平成29年度決算)を拝見致しますと、平成29年度の市債現在高・債務負担行為合算額は2,019億円となっております。一方、「松戸市総合計画」に基づいていくつかの案件については調査予算が付くなど推進が図られており、それらの案件で見込まれる事業費を含め、今後どのような財政計画に基づいて総合計画と並行させつつこの公共施設再編整備を進められるお考えなのか、市民に開示されている諸資料からは読み取ることが出来ません。その点についてもお考えをお聞かせ下さい。	公共施設再編整備は、今後策定する(新)松戸市総合計画(仮)とも調整を図りながら実施して参ります。また、具体的な数値目標等については、公共施設カルテ等を精査して、地域性等を考慮の上、今後策定する個別施設計画で検討を行い、将来的な財政負担の縮減と平準化を図って参りたいと考えております。	無し
13	全体	とにかく私達市民の大切なお金、税金、無駄のないように使ってください。未来ある子どもたち、今迄がんばってきた高齢者たちのために!	ご意見は関係部署と情報の共有を図り、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
14	全体	現在ある公共施設(市民センター、プールなど)をへらさないでください。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力を高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
15	全体	その他の公共施設(市民センター、プール等)の統廃合に反対します。市民センターやプールが統廃合され数がへると利用するのに不便になるからです。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力を高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
16	全体	その他の公共施設(市民センター、プール等)の統廃合に反対します。市民センターやプールが統廃合され数がへると利用するのに不便になるからです。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力を高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
17	全体	その他の公共施設(市民センター、プール等)の統廃合に反対します。市民センターやプールが統廃合され数がへると利用するのに不便になるからです。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力を高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
18	全体	その他の公共施設(市民センター、プール等)の統廃合に反対します。市民センターやプールが統廃合され数がへると利用するのに不便になるからです。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力を高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
19	全体	その他の公共施設(市民センター、プール等)の統廃合に反対します。市民センターやプールが統廃合され数がへると利用するのに不便になるからです。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組む必要があります。本市の魅力が高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
20	全体	その他の公共施設(市民センター、プール等)の統廃合に反対します。市民センターやプールが統廃合され数がへると利用するのに不便になるからです。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組む必要があります。本市の魅力が高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
21	全体	予算が不足し財政的に困難を理由にしていますが、不要不急なもの、後回しにしたらどうでしょうか。矢切の観光拠点、私も行きましたが、広くて緑があり心豊かになれる場所でした。つぶさないでほしいです。	安定した公共施設サービスを継続的に提供していくために、将来的な財政負担の縮減と平準化を図って参ります。	無し
22	全体	<p>明市民センターの移転問題で、あまりにも市民(特に明市民センターを使っている市民)をおき去りにしたやり方はひどい。公共施設は土地、建物ともに市民の共有財産であるのに、それを減らしていくとはなんということか。我々市民は高い税金を払っている。それを原資にして市政がすすめられているのだから市民によりそったものでなくてはならない。</p> <p>大型開発が水面下ですすめられているときも。すぐにも見直し公共施設の再編ではなくより公共施設を充実させていく努力をしてほしい。</p> <p>市民一人一人が豊かにらせるまち作りをするためにも、もっと多くの市民の声をとり入れていく工夫をして市政をすすめるべきだ。市民の中には子ども老人も含まれる。</p> <p>学校のプールを減らす?とんでもないことだ。一つ一つの学校の施設を充実させ、子ども達が豊かに学び成長していく場をもっと保証すべきだ。</p> <p>公立の保育所も減らす?これもとんでもない。公的保育を充実させこれから成長していく子ども達の成長の場をこれももっともっと充実させていくことがどれほど大切なことか。</p> <p>図書館も貧弱、児童館もまともでない。公園だって少ない。これでは若い人達は松戸に住もうなんて考えないでしょう。松戸に児童相談所がないのもおかしい。駅前にはあちこちにパチンコ店があり文化のにおいなんてしない街だ。パブリックコメントの資料だってパソコンがなくてはひきだせない。またぶ厚く多くの市民にとっては読みきれない。もっとシンプルなものにできないのかと思う。また各図書室(館ではないでしょう。)においてあるがそこでしか読めない。たとえばもう少し簡素化したものを、町会におろして回覧して回すなどのやり方を工夫してもよいのではないか。勿論、我々市民の方も市政に関心をもち首をつっこんでいく必要はあるが。</p> <p>松戸市に住んでよかったと思えるような松戸市を作っていくためにもいろいろの世代の意見をとりいれ(とりいれる機会をいろいろ工夫して作ってほしいが)文化的レベルの高い市をつくっていくことが人口がふえていくことにつながると思う。</p>	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組む必要があります。本市の魅力が高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
23	全体	<p>このたびの「松戸市公共施設再編整備基本計画」(案)に強く抗議します。地域住民に大きな影響を及ぼすこのような大がかりな計画を、たった1カ月足らずで「市民の意見を聞く」というのはアリバイ作りとしか思えません。そもそもこの案の基本は国から迫られた「公共施設や行政サービスの集約化、民間委託、広域連携」によるものではありませんか。学校減らして良いですか？プールは全部になくても良いですか？市民センターは企業に任せましょうよ、などと市民の生活が大きく変わってしまう計画を、このような形で一部の人のしか見えないやり方で、知らせたことにするなど、とんでもないことです。町会役員に知らせた、という話も聞きましたが、回覧板にもなく、一般知ることができる体制ではありません。毎月発行の美しい松戸広報にシリーズで掲載し、じっくり市民の声を聞くべきです。そもそも今でさえ足りない松戸市の「公共施設」、市民が安心して暮らせる、困った時に相談できる窓口が見当たらないではありませんか。先におきた野田市の小4女児の痛ましい事件はどうみても東葛飾地域に児童相談所が不足していることが原因です。あわせて児童福祉士や警察、市役所と地域の連携が日常的にばらばらであることが問題です。貧困や生きずらさが広がるこの30年間の間に、どれだけの若者や子どもたちがつらい思いをしてきたか、これは国の政治とその防波堤になるべき地方自治体の責任です。戦後「憲法の精神を日常的に具現するための公共施設」として文科省が公民館を位置付けています。松戸にはもともと公民館がほとんど見当たらず、公民教育をしてほしいと私たち新婦人はたびたび要求してきました。町会ごとに児童館や相談員がいる、災害がおこったらいち早く弱い人を助けてくれる、女性の働く権利を保育所増設で保障する、それが地方自治体の主な仕事です。各中学校区に公民館があり、市民が無料で使えるスペースが用意されている、公民教育が開催され、選挙民として市民教育をする専門家が常駐している、家に引きこもりがちの人のためにコミュニティバスがあり、公民館、郵便局、駅、学校などを巡回する、こんな市を目指して市民運動をしてきました。高齢化がすすむこの松戸で、地域文化をはぐくみ、いざ被災という時も安心して生活できる公民館が地域ごとに必要です。学校施設を避難所に指定していますが、学校は教育の場、はじめから避難所として指定するのは無理があります。交通事情の悪い松戸で学校を統廃合して子どもたちを遠くまで歩かせたり、プールまでなくすなどとんでもないことです。少子化することを見越すとはいえ、現に松戸の子どもたちは30人学級にもならず、学童クラブは寿命づめ状態、空き教室がでれば地域のコミュニティなどいくらでも使いたはあります。これらを民営化すればお金のない人たちは行く場を失います。公共施設はあくまで公営です。そこで働くひとは専門教育を受けた公務員でなくてはなりません。民間企業に任せて「儲け」の対象にしてはいけません。公共施設はこれから順次計画的に建て替え、市民住民が安心して暮らせる松戸市を目指してください。民間に任せられた方が赤字解消になる、という話も今出されている「矢切観光拠点」「千駄堀駅構想」「新松戸駅裏開発」「松戸駅周辺開発」「松戸市役所建て替え」構想など聞いていると地域の方の仕事に結びつくものとはとても思えない。結局大デベロッパーや建設会社に仕事が行くだけで、むしろ大変な浪費になるのでは、と懸念します。急ぐべきは今生活している市民の毎日の生活をどうするかです。わたしどもの婦人団体が交流している千葉県内の公民館事業の話をさせていただきます。木更津市は10年前から「公民館のつどい」を開催しているそうです。身近な公民館や地域からふるさとの良さ、木更津市の魅力を再確認できる公民館研究会を開いている。今は公民館はどうあるべきかと「公民館研究会」となり、市民も交えて公民館の果たすべき役割を再確認しているとのこと。松戸も「市民サポートセンター」ががんばって、特に3.11の時は被災者の方々に本当に献身的に尽くされました。しかし、地域に公民館はなく、市民センターが指定管理者になったことから矢切公民館のセンター的役割が薄れているものと思います。すでに指定管理者制度化で運営されているコミュニティセンターと公民館は明らかに異なる役割です。文化の根っこ作り、種まき、地域コミュニティ支援と防災、福祉、教育や市民パワーを結集する拠点としての意味をもつ公民館 公助と共助、公民館の窓口は常に市民の相談相手、助言者です。千葉県では北部自治会で「無事ですかタオル」訓練を実施していて防災にとりくんでいるそうです。安否確認、声かけ確認訓練を公民館の主導でおこなっているそうです。高齢者や赤ちゃんがいたり、障害がある人たち、配慮を必要とする人々への取り組みがすすんでいるそうです。この機会に松戸でも社会教育法における「公民館」とはどうあるべきか？地域に必要な市民のための施設とは体系的学習会をしていきたいと思います。「無くて当たり前」だった松戸に新住民の方々がたくさんの要望を持っています。どうか役所も敵対するものでなく、市民と一緒に安心安全な松戸市を作り上げる役割としてご参加をお願いします。</p>	<p>人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力を高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。なお、頂いたご意見は多岐にわたっておりますので、関係部局に情報を提供していきます。</p>	無し
24	全体	<p>その他の公共施設(市民センター、プールなど)の統廃合計画に反対します。市民センターやプールが統廃合され、数が減ると、遠方まで出かけることになり利用するのに不便になる。今後の高齢化社会では、頻繁に運動・文化施設に出かけることが、健康寿命の向上につながる。その機会を奪うことになる。</p>	<p>人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組むことが必要です。本市の魅力を高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
25	全体	<p>2017年(H29)3月に同様のパブリックコメントを実施しましたが、その後の進捗状況を知りたいと思います。 公共施設再編整備推進審議会や松戸駅周辺まちづくり委員会をできる限り傍聴していますが、その都度の資料を拝見しても議論を拝聴してもあまり進展しているようには思えず、毎回歯がゆい思いで帰途に就いております。 前回のパブコメ資料との大きな違いも無いよう(むしろ今回はデータの数字は示されず)何故、今またパブコメを実施するのか疑問に思います。 前回、真摯に取り組み、応募した多数の市民の意見が今回の(案)に反映されているようには思えず、新たに書くべき内容も見当たらないので応募を見送ったという人達の存在を重く認識して下さい。 市民の真摯な意見が反映されないパブコメとは一体何なのでしょう？そして実現に近づこうという意思とスピード感が感じられない計画立案では本当に困ります。 市民は、自分達のまちがより良くなって欲しいという思いで、真剣に向き合っていることを、どうぞ深く心に刻んで計画、実行を進めて下さるようお願いいたします。</p> <p>なお、意見は前回のパブコメでお届けしましたので、多数の市民からの意見をどうぞ再読し計画に反映させて下さるようお願いいたします。 それを心から期待し要望致します。</p>	<p>公共施設の再編は、市民の方々のご理解が必要であることから、シンポジウム・ワークショップを通じて意見交換の場を設けて参りたいと考えております。</p>	無し
26	全体	<p>市民からコメントを募ることは必要と思いますが、計画案について自ら打ち出しをしなければならないのは、ほんとに大変なことでした。次に細かい字と、内容の日常的に耳にしない法律用語や法律について理解できない。パブコメを募集する前に公聴会などは開かれたのでしょうか。 私達高齢者は、市の施設を利用し、健康に留意しながら日々生活しています。市政についても日々感じることは多く、私たちの意見がどこで生かされるのか、どのように発信できるのかと置いていたところにこの大きな計画案をどう理解するかに困りました。 私のように思いながら発信できない人がたくさん居るのではないかと思います。市民の意見を汲み取るための手段はもっとキメの細かい方法が必要なのではないかと思います。市民の意見を聞く為の手段をこのパブコメのみで終わらせることのないよう次の方法を考えていただきたいと思います。 今後このような市民からの声を広く集めるために、①広報誌、まつどで特集を行うこと②また、一般市民にも理解できるような説明会を行うこと③説明で市民を納得させるのではなく、意見の言える場を設けること。その上で、今回のような書面を出しパブコメを募ること④市民からはどのような意見が出たかを広報誌で知らせること⑤最終的には議会が決定することになるとは思いますが、市民参加のできる市政を構築していく。 以上のことを行って下さいますよう心からお願い致します。</p>	<p>ご意見を踏まえ、日常的に耳にしない法律用語や専門的な用語について用語集を追加いたします。 公共施設の再編は、市民の方々のご理解が必要であることから、シンポジウム・ワークショップを通じて意見交換の場を設けて参りたいと考えております。</p>	有り
27	全体	<p>松戸の公共施設を改修、集約を議論のまためになっておりその費用を賄うにはとてつもない金額が必要です。松戸は東西に長く今ある公共施設をどこも無くしたくなく、全部残すには2500億も費用が必要です。そのためには、どれが必要が高い施設であるか地域住民の議論を促し費用負担の同意をとらねばいけません。現状のやり方はスクラップアンドビルドの政策で40年前建て建て替えて段々とコストアップが図られております。 1つの例としては市立病院が矢切から北松戸そして86億だったはずの総合医療センターがなんと286億と大きく化けて建て替えられました。名前を変えただけで市民の負担が増えた例です。 市役所も建て替えが見えていますが、中部小学校の時は古風な町役場から一つのやまをいめるまでの強大な建物になったが、今でも老朽化、手狭といいますが、どこへ建て替えるのか恐怖です。建物が建つには、その運営するための周辺の環境を作り、特に道路の建設費まで加わりその費用まで考えると今ある施設プラス建物の修繕で少しでも長く使える施設にリフォームを考えた方がいい。</p>	<p>公共施設の再編は、市民の方々のご理解が必要であることから、シンポジウム・ワークショップを通じて意見交換の場を設けて参りたいと考えております。 なお、ご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。</p>	無し
28	全体	<p>松戸市総合計画が2020年に終了します。公共施設再編を考えるにあたって、この総合計画との整合性をとる必要があると思います。 来年度(2019年度)から、次の総合計画についての市民への働きかけ(タウンミーティング等)があると思われませんが、この「公共施設再編整備基本計画」が先に決定されることが不思議です。 この計画も、総合計画と同様に、これからの松戸のまちづくりを方向付けるものです。これからの10年間、またその先の10年間を見通しての計画であるので、2020年終了の、これまでの総合計画とだけ整合性をとって無駄ではないかと思えます。</p>	<p>松戸市総合計画後期基本計画は2020年度までの計画期間となっておりますが、その後策定する(新)松戸市総合計画(仮)とも調整を図りながら見直しを実施して参ります。</p>	無し
29	全体	<p>この新松戸東側土地区画整理事業は、松戸市の市施行事業であり、国や県の補助金が出るにしても、松戸市から35億円を持ち出すとのことですし、この土地区画整理事業とは別に、幹線道路に繋げるためのトンネル工事付きの道路建設のために、さらに数十億円のお金が使われるのです。こうした土地区画整理事業や道路建設事業は、公共インフラの再編整備の一つですが、既存の松戸市道も莫大な数に上り、その管理と再整備にも多額のお金がかかることは明らかです。この「公共施設再編整備基本計画」がハコモノ施設についてだとしたら、道路や上下水道などのインフラ施設についての再編整備も同時に考えなければならないと思います。松戸市としてのお財布は一つです。 松戸市では、市民の高齢化が進み、税金を納める人口が減り、財政厳しくなることは分かっています。その状況下で、人口増加期に集中して造られた多くの公共施設が一斉に老朽化しています。とても全部を建て替えるのは無理なので、どの施設を残すか、建て替えるか、あれかこれかを判断して選ばなければならないのです。待ったなしの状況にあります。計画的に進めなければ、あれもこれもが使えなくなってしまいます。新しい道路建設よりも、今の施設が使える内に対策をとるために、公共施設再編を優先的に進めるということを明記してほしいと思います。</p>	<p>本計画は道路等のインフラを除く公共施設(ハコモノ)を対象としていますが、インフラにおいても各所管課が各種個別計画の作成を行います。インフラの各種個別計画とも連携を図りながら、将来的な財政負担の縮減と平準化を検討していきます。</p>	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
30	全体	モデル地域の一つ新松戸でキックオフミーティングがスタートしたことは素晴らしい。市民の声が反映される松戸市の公共施設再編を望みます。また、50年後の松戸のことを考えると若い世代の声が欠かせません。これから参加者をどう増やすか？が課題になるでしょう。大学等と連携し参加を促してください。	公共施設の再編は、市民の方々のご理解が必要であることから、シンポジウム・ワークショップを通じて意見交換の場を設けて参りたいと考えております。	無し
31	全体	その他の公共施設(市民センター、プールなど)の統廃合に反対します。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組む必要があります。本市の魅力が高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
32	全体	計画案を全市民にもっとわかりやすく提示すべきです。意見を募集しようとする気持ちが感じられません。	頂いたご意見は、関係部局に提供させていただきます。	無し
33	全体	安易な合理化をさげ、子どもにとって、住民にとって何がよいのかをよく考えて頂きたいと思います。	人口減少、公共施設の老朽化等に伴う財政上のリスクが予測される中で、将来にわたり安定した公共施設サービスを提供するとともに、新たな住民生活、ニーズに対応した公共施設を確保するためにはどうしても公共施設再編に取り組む必要があります。本市の魅力が高められるよう、引き続き市民の皆様とともに議論を重ねて参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。	無し
34	1ページ 1. 計画の目的	松戸市(以下、「本市」という。)では、…大規模災害等への対応など様々な課題が顕在化しています。(以下、追加)本市が首都圏郊外において屈指の利便性を有する地域であることを活かし、時代の変化に対応して今後も継続的に発展していくうえで、地域住民や事業者の声を反映した戦略的かつ効果的な公共施設の再整備は重要な位置付けにあります。	ご意見は、本文の趣旨に沿ったものであると認識しております。	無し
35	1ページ 1. 計画の目的	全体の工程表を見ても、差し迫ってこの2～3年の間の再編や再整備については、ほとんど示されていません。廃止についても明記していません。ごみのリサイクル施設と中間貯蔵施設の建設くらいなものです。昨年度、東松戸に予定されていた東部支所と図書館等を併設という施設の建設については、議会での承認が得られず先に延びています。この計画を「総合計画」に先行して策定する理由を、計画の目的のなかで明らかにしてほしいと思います。	本計画は、松戸市総合計画後期基本計画を上位計画と位置付けており、各計画との整合を図るとともに、必要に応じて適切に見直しを行います。	無し
36	2ページ 2. 計画の位置付け 3ページ 3. 計画期間	本計画の位置づけが不明確である。上位計画である松戸市公共施設等総合管理計画の計画期間が2016年からの60年間であるのに対し、本計画が、その期間をカバーする全体計画なのか、当初10年間の第1期計画なのかである。第2期以降の策定を明示していない(点線扱い)のがその理由。第2期以降も策定することを明記すべき。計画期間で示された10年間であれば、第1期計画であり、タイトルに「第1期」と明示すべき。	本計画は、公共施設の再編整備に係る重点的な取り組みを早期かつ着実に実施していくことを重視して10年間を計画期間として定めています。また、本計画では次期の計画期間を見据えた中長期的な取り組みについても定めており、今後も継続する計画であることを考慮して次期の計画を破線で表記しています。	無し
37	4ページ 4. 対象施設	公共施設としてリストアップされていない施設があるのはなぜか?例えば、公営競技場内の市有施設、21世紀の森と広場、ユウカリ交通公園、聖地公園(市営霊園)、職業訓練センター、衛生会館、老人養護施設、文化ホールなどの市が保有・管理する公共施設の固有名詞が抜けている。他方で学校等の子どもにかかわる施設は出ている。市外に開設している施設や区分所有施設も含め、市が保有する建物、施設はすべて残らず検討の俎上にのせるようにしなければ、計画案が特定の施設を対象にした恣意的なものを受け取れるのではないか。	ご意見いただいた公共施設は、本計画の対象施設(410施設)に含まれています。なお、参考資料として、対象施設一覧を掲載する予定です。	無し
38	4ページ 4. 対象施設	公衆便所が対象施設に含まれていない理由はあるのか?自転車駐車場よりも面積あたりの維持コストが高い施設なのではないか。例えば、2018年2月に改装された新松戸公衆便所は、改装ではなく廃止、近隣施設(幸谷駅の改札外トイレ等)にトイレ開放を依頼し、改装費と維持管理費を施設と市で応分負担した方が安上がりだったのではないか。公衆便所設置条例で市内4箇所が規定されているが、なぜ宮前、北松戸、馬橋、新松戸と指定されているかも分からない。それぞれの必要性をニーズとコスト面から再検討すべきではないか。	ご意見いただいた公共施設は、本計画の対象施設(410施設)に含まれています。なお、参考資料として、対象施設一覧を掲載する予定です。	無し
39	5ページ 1. 基本的な方針 (1)公共施設の現状と課題 4)財政運営への配慮	現状を広く理解していただくために、松戸市公共施設等総合管理計画「公共施設等更新等費用試算」の一部グラフを掲載されたらいかがか、特に、 ・施設更新等経費推計 ・大規模修繕及び建替えに対応した起債に伴う公債費の発生見込み ・将来費用の試算	今後、作成する施設カルテでは、個々の建物の状況や利用状況、収支状況などを把握するとともに多面的な評価を実施し、その後作成する、個別施設計画において、長寿命化に伴う修繕費用や軽量化による建替え費用などの維持管理費を算出し、現況に則した財政的見通しを示して参りたいと考えております。	無し
40	5ページ 1. 基本的な方針 (1)公共施設の現状と課題 4)財政運営への配慮	今ある施設を維持する際には、市民の負担に配慮して建て替えだけでなく「長寿命化」工事などを活用すること。施設の建替え改修を口実とした利用料金の引き上げは行わないことを求める。	今後作成する公共施設カルテ及び個別施設計画において、多面的な評価を実施し、長寿命化・建替え等を検討して参ります。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
41	6ページ 1. 基本的な方針 (2)公共施設再編整備に関する基本方針	5ページ「公共施設の現状と課題」には「使用料収入の適正水準について検討を行い、適切な使用料の徴収により受益者負担を浸透し、公共施設の健全な運営に結び付けることが必要」と記されているが、基本方針に「使用料収入の適正水準について検討」など受益者負担についての方針がない。追記すべき。 H26実施の市民アンケートでは、財源確保の方法について、受益者負担を「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」が63%であったことも考慮すべし。	使用料収入の適正水準の検討については、非常に重要な課題と認識しておりますので、公共施設カルテを作成し多面的な評価を実施していく中で検討して参ります。	無し
42	6ページ 1. 基本的な方針 (2)公共施設再編整備に関する基本方針 【基本方針】①公共施設総量の適正化	松戸市公共施設再編整備基本方針では、施設総量の最適化について「建物を更新する場合は、更新前を上回らない規模を基本とし、コスト比較や費用対効果面を検証の上、スクラップアンドビルドにより整備を行います」とあるが、本計画では、その方針が欠落している。 重要方針であるので、追記すべき。	検討の中で、長寿命化に向けたリノベーション等の改修の手法も考えられることからスクラップアンドビルドを前提とした表現は望ましくないため、有効なストック活用を基本方針として位置付けています。	無し
43	6ページ 1. 基本的な方針 (2)公共施設再編整備に関する基本方針 【基本方針】③新たな施設整備	松戸市公共施設再編整備基本方針および本計画では、新規の建物は「新たな政策課題や地区別の人口動向等から必要と認められる場合には整備」とある。 その「政策課題」が不明であるし、公共施設の課題とは別であろう。 例えば、東松戸では、 1)図書館の延床面積が123㎡から1000㎡と現状の約8倍の計画(地域館)が持ち上がっていたようであるが、人口推計で2倍であっても、一人あたりは4倍である。 図書館整備計画(H27.5)は基本方針策定(H29.5)より以前の計画であり、その存在は理由にはならないし、図書館計画を見直すべき。 2)「小中高生のためのコミュニティ・多目的スペース」も計画されていたが、その政策課題も不明確 いづれにせよ、第1期基本計画では、その期間内での「政策課題」を明示すべき。	基本方針③新たな施設整備は、新規の施設整備を将来的に抑制していくことを前提に、新たに施設を整備する場合の方向性を示したものです。	無し
44	6ページ 1. 基本的な方針 (3)市民との情報共有	第5章において、「市民参加型の公共施設再編の取組」はモデル地域のみである。 他地域に対する「市民参加」の方針を示すべきではないか。 それとも、モデル地域以外は、市民参加型ではないということか。	「第5章2. 基本的考え方(42頁)」で示すように、モデル地域での検討プロセスを活かし、地域性を踏まえた上で市内の他地域に展開してまいります。	無し
45	6ページ 1. 基本的な方針 (3)市民との情報共有	「適時・適切な情報提供を行い認識の共有に努めます」とあるが、適時・適切な情報とは、どの時点で、どのような情報かが不明確である。 必要な情報は市民が判断するものである。 むしろ「公共施設再編に関するすべての情報を公開・提供します」とし、情報公開に積極的な姿勢を示すべきではないか。	ご意見のとおり、本業務の推進にあたっては、随時・公開を基本としております。しかし、確定していない情報は市民の混乱を招くとともに、情報が錯綜する恐れがあることから、情報が確定及び決定した段階で提供するということが適時・適切としております。なお、情報提供は、本市ホームページや公式ツイッターで最新の情報について発信しております。	無し
46	6ページ 1. 基本的な方針 (3)市民との情報共有	「地域のまちづくり活動を支援します」とあるが、支援だけで、活動成果を公共施設再編への参考にはしないということか。 とすれば、市民参加型の公共施設再編とは言えない。 「支援し、その活動の結果を公共施設再編の参考にします」とすべきでは。	ご意見を踏まえ、下記のように修正いたします。 「また、地域性を考慮したシンポジウムやワークショップ等、市民参加型の公共施設再編整備に向けて、地域のまちづくり活動を支援し、その活動の検討結果を公共施設再編整備の参考にします。」	有り
47	6ページ 1. 基本的な方針 (2)公共施設再編整備に関する基本方針 【基本方針】③新たな施設整備	新たな施設整備新規の施設は、既存施設の有効活用や民間施設の活用等の検討も行った上で、新たな政策課題や地域別の人口動向、(次の一節を追加→)民間活力を活用した戦略的な先行投資による地域発展の見込み(←ここまで)等から必要と認められる場合には整備を行います。	ご意見は、本文の趣旨に沿ったものであると認識しております。	無し
48	6ページ 1. 基本的な方針 (2)公共施設再編整備に関する基本方針 【基本方針】①公共施設総量の適正化	基本方針、(1)公共施設総量の適正化にある「公共施設の延床面積」に占める教育施設の割合によって「教育施設の適正規模化」を図る旨の論理は誤りである。教育施設のあり方は教育関係法令や国の定める基準によって決まる。学校の目標から、面積、標準学級数、通学距離等は法令等によって定められているのであり、公共施設全体に占める延べ面積の割合が大きい、小さいか、によって判断される性質のものではない。例えば、延べ面積が小さくても法令で定める標準学級数を超えた学校がある可能性もあるし、逆に延べ面積が大きいが児童生徒の数が少ない場合もありうる。地域全体の公共施設が少なくても、市は教育施設や教育環境を充実させる義務と責任がある。また、学校は災害時の避難場所や地域のイベント等にも使用されている。建物の「延床面積」によって機械的な計算で統廃合をしたならば、避難場所や活動場所を失う地域の市民の生存権やコミュニティ活動をどう担保するつもりなのか、大変分かりにくい計画案である。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
49	6ページ 1. 基本的な方針 (3)市民との情報共有	計画を策定するにあたって使用した基礎データなどは、情報開示請求することなく、積極的に情報提供していただきたいと思ひます。また二次利用しやすいように電子的な情報提供をお願いしつゝ。「公共施設は市民サービスの提供の場であるとの視点に立ち、利用者や地元住民の方への影響を配慮し、適時・適切な情報提供を行い認識の共有に努めつゝ。」これは大変よいことだと思ひますが、その概要やまとめ等を記録としてきちんと残し、ホームページ等で公開・共有してつゝください。また、バラバラに保存するのではなく、リンク機能を活かして、様々な情報が相互につながるような保存と公開を望みつゝ。「地域性を考慮したシンポジウムやワークショップ等、市民参加型の公共施設再編整備に向けて、地域のまちづくり活動を支援しつゝ。」	貴重なお意見として、今後の参考とさせていただきます。 なお、本市のホームページ (https://www.city.matsuko.chiba.jp/shisDi/siyuzaisan/koukyoushisDtsu/inCDx.html) や公式ツイッター (https://twitter.com/matsuko_koukyou) 等により適時・適切な情報提供を行い認識の共有に努めつゝ。	無し
50	6ページ 1. 基本的な方針 (3)市民との情報共有	この計画は、地域における私たち一人ひとりの生活に直結するものでつゝ、具体的な計画作成についてはそれぞれの地域で課題の共有、意見の交換等が活発に行われる必要があります。地域ごとの意見交換会が十分に行われるようつゝ希望しつゝ。十分な地域住民の合意形成の場が重要でつゝ。	公共施設の再編は、市民の方々のご理解が必要であることから、シンポジウム・ワークショップを通じて意見交換の場を設けて参りたいと考へておつゝいます。	無し
51	6ページ 1. 基本的な方針 (3)市民との情報共有	地域の既存の公共施設を減らすことは、その地域の住民の合意をとることが欠かせません。松戸市は、これまで、小学校3校と中学校1校を廃校にしましたが、その時の反対の声は大きく、それが後を引いて、新松戸地域では、その学校跡地の再利用および売却までに、10年ほどの時間がかかつたのでつゝ。 今回の基本計画の中では、公共施設を廃止する場合について、市民の参加が明らかになっていません。地元住民が、公共施設廃止を納得していません。松戸市の行政が強引に廃止を執行すれば、それからの行政と市民の関係が悪くなります。松戸市では、これからの高齢者対策で、地元の助け合い・支え合いに期待するところが大きいのでつゝ、地元の反対を招かないような周到な準備が必要だと思ひます。それには、情報を隠すことなく、早め早めに「これこれの理由で、ここを廃止したいと思ひます」と市民に伝える必要があるでつゝ。そうした手順に関しては、計画の中では、いっさい触れていません。公共施設廃止の判断には市全体型の公共施設については市民全体の合意を、地元型の公共施設ならば地元住民の合意をとると明記してつゝください。一度強引なやり方をすれば、その後は、よりやりにくくなることは明らかでつゝ。市民が納得できる公共施設再編整備基本計画であつてほしいと思ひます。	公共施設は市民サービスの提供の場であるとの視点に立ち、利用者や地元住民の方への影響を配慮し、適時・適切な情報提供を行い認識の共有に努めつゝ。 また、地域性を考慮したシンポジウムやワークショップ等を通じて、市民との意見交換の機会を設けるようにつゝ努めてまいりつゝます。	無し
52	6ページ 1. 基本的な方針 (2) 公共施設再編整備に関する基本方針 【基本方針】①公共施設総量の適正化 23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類: 小学校 分類: 中学校	教育施設が半数を占めるとのことですが、特に小学校の統廃合は極力避ける努力をすべきだと思ひます。小学生の登下校の距離が長いのは心配でつゝ。できれば中学校もですが、減らさない努力をお願いします。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図つた上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目標に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討しつゝます。	無し
53	7ページ 1. 基本的な方針 (4)民間活力 (PPP) の導入	PPP導入の目的が記されていない。 公共施設再編における導入目的を明示すべき。 目的に経費縮減があるのなら、削減目標も明示すべき。	ご意見を踏まえ、下記下線のように【松戸市PPP/PEI手法導入優先的検討規程】の目的を追記いたします。 公共施設再編整備の推進にあつて、民間による整備（改修・更新）、維持管理・運営が可能なサービスを有する公共施設については、（以下追加） <u>効率的かつ効果的に整備するとともに、市民に対する低廉かつ良好なサービスの提供を確保するため、積極的にPPP※1等の民間活力の導入を検討しつゝます。</u>	有り
54	7ページ 1. 基本的な方針 (4)民間活力 (PPP) の導入	公共施設再編整備の推進にあつて、・・・を図っていきます。（以下、追加）民間事業者による意欲的な事業参加を促進するため、募集要項の作成課程において地域の協議会や民間事業者との積極的な対話を実施し、本市が持つ将来ビジョンや事業目的、民間事業者とのあるべき協働体制等の相互理解を促進しつゝます。	ご意見は、本文の趣旨に沿つたものであると認識しておつゝいます。	無し
55	7ページ 1. 基本的な方針 (4)民間活力 (PPP) の導入	公共施設再編に民間活力を導入する方針のようですが、市の責任を放棄するものと思ひます。一旦市の手から離れてしまえば、市民の声を直接聞くことができず改善も民間任せでつゝ。得ね以上も不安定な状態になるのではと心配でつゝ。	すべての公共事業を民間にゆだねるのではなく、【松戸市PPP/PEI手法導入優先的検討規程】に基づいて、事業内容や規模等を勘案の上で、効率的かつ効果的に社会資本整備を行うとともに、市民に対する低廉かつ良好なサービスの提供を確保するための事業手法の一つとして、民間活力の導入を検討して参りつゝます。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
56	7ページ 1. 基本的な方針 (4)民間活力 (PPP) の導入	全体的にコスト削減ということで民間に投げようとしているように思います。民間、企業は儲からないことはしません。だから“公”が必要なのだと思います。子育てしやすい松戸市というなら、もっと内容(中身)の充実を図ってほしいです。学校や市民センターなど公共施設は災害時の避難場所です。近くにあるからこそではないでしょうか。	すべての公共事業を民間にゆだねるのではなく、【松戸市PPP/PEI手法導入優先的検討規程】に基づいて、事業内容や規模等を勘案の上で、効率的かつ効果的に社会資本整備を行うとともに、市民に対する低廉かつ良好なサービスの提供を確保するための事業手法の一つとして、民間活力の導入を検討して参ります。 なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し
57	7ページ 1. 基本的な方針 (4)民間活力 (PPP) の導入	放課後の児童クラブ等に「民間活力」の導入を強く言われているが、公共施設には考え直してほしい。民間だとお金儲けにつながるから。	すべての公共事業を民間にゆだねるのではなく、【松戸市PPP/PEI手法導入優先的検討規程】に基づいて、事業内容や規模等を勘案の上で、効率的かつ効果的に社会資本整備を行うとともに、市民に対する低廉かつ良好なサービスの提供を確保するための事業手法の一つとして、民間活力の導入を検討して参ります。	無し
58	7ページ 1. 基本的な方針 (4)民間活力 (PPP) の導入	公共施設などの再編整備に当たって民間活力の導入をしていますが、地域経済の発展を考えるべきで、地域の中小企業、建設会社の利用等について考える必要があるかと思ひます。その点が落ちているのではないかと思います。	民間活力導入の際は、事業者選定において、地場企業で構成された応募事業者への加点等、地域経済の活性化・発展につながる工夫を検討して参ります。	無し
59	11ページ 2. 個別施設計画との連携等 (1)全体計画と個別施設計画との連携	個別施設計画の位置づけ・範囲、また個別施設計画の定義が不明確。例えば、新拠点ゾーン基本計画は、個別施設計画の範疇に入るのか否かである。入らないとすれば、新拠点ゾーン基本計画は公共施設マネジメントの対象にはならず、その下部の実施計画に対しての公共施設マネジメントは機能しなくなるのではないかと	本計画と連携する個別施設計画は、「第1章2.計画の位置付け(2頁)」で示すとおり、公共施設等のうちインフラを除いた既存の公共施設を対象として、具体的な対策内容、実施時期及び対策費用等を定めるものです。 なお、新拠点ゾーンの中で検討を進めている既存施設については、今後個別施設計画を作成していく予定です。	無し
60	11ページ 2. 個別施設計画との連携等 (1)全体計画と個別施設計画との連携	全体計画と個別施設計画との関係性において、見直し・拡充は全体計画に対してのみならず、双方向にあってしかるべきではないかと。	ご意見を踏まえ、上位計画である公共施設等総合管理計画の見直し等に合わせて、適宜公共施設再編整備基本計画や個別施設計画にフィードバックを図っていく趣旨で、図2-2の見直し・拡充を双方向の矢印となるように修正いたします。	有り
61	11ページ 2. 個別施設計画との連携等 (2)個別施設計画の作成方法	個別施設計画においては、今後利用見込みのない建物・用地についての計画も併せて記載するようにすべき。また、そのことを本計画書に明記すべし。市立病院跡地のように、新病院開院後にも一向に跡地利用が決まらないことは税金の無駄使いである。LCC(ライフサイクルコスト)策定の一助にもなる。	基本方針④有効なストック活用(6頁)で示すように、公共施設再編により生じた余剰資産は、他の用途への転用や貸付・売却など有効活用することとしておりますが、本計画策定時に活用方法を決定することは難しいと考えております。	無し
62	13ページ 3. 進捗管理 (1)進捗管理の仕組み	「本計画期間内に2回程度、PCCAサイクルによる進捗管理を実施」とあるが、5年に一回のサイクルであれば、何を見直すのか理解できない。「全体計画と個別施設計画との連携」において、個別施設計画からの見直し・拡充があると記載されているが、そのことが5年に一回でよいのか。個別施設計画のPCCAサイクルが一年に一度であれば、密接に関係する本計画のPCCAも、それに合致する必要がある。	計画の策定から実施までに期間を要することから、年度計画は実施せず進捗状況に合わせ実施することとしたため、図2-3の一部を下記のとおり修正いたします。 <修正箇所> ・個別施設計画の『年度計画への反映・実施』 ・個別施設計画の『進捗状況の評価(年度別)』 ・「個別施設計画の実施」のサイクル中央の『年度管理』	有り
63	14ページ 3. 進捗管理 (2)進捗管理体制 (2)個別施設計画の管理	「市民との情報共有」を謳うなら、個別施設計画についても、市民の声を広く聞くために公開すべきである。公開に当たっては、松戸市公式HPの活用を願う。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	無し
64	14ページ 3. 進捗管理 (2)進捗管理体制 (1)全体計画の管理	松戸市が子育て政策を重視しているのであれば、計画の連携部門として、子ども部門(子ども部など)との連携も明記した方がよいのでは。「松戸市子どもの未来応援プラン」(平成30年3月)にあるとおり、例えば、子どもの居場所づくり等を推進するためには、その場所となる公共施設が必要であり、関係部門との連携は不可欠であるとする。	ご意見は関係部署と情報の共有を図り、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
65	21ページ 施設類型別全体行程表 分類:支所	東部と矢切以外の支所については、中長期欄に線引きすべきではないかと	ご指摘をもとに、再考し全体行程表短期欄より線引きさせていただきます。	有り

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
66	21ページ 施設類型別全体行程表 分類: 消防施設	消防署の「消防機能の集約化」がハコモノに対してどのような影響・作用があるのか不明である。 数を減らすのか、各消防署の規模を縮小するのかがである。	ご意見を踏まえ、消防施設の個別基本方針を下記のとおり修正します。 <修正箇所> ・3方面本部、10消防署の配置を基本に、管轄地域を考慮の上で、消防機能の集約化を図ります。現施設の長寿命化・更新を図ります。	有り
67	21ページ 施設類型別全体行程表 分類: 市民センター 分類: 中学校	明市民センターの民間施設への移転について反対します。会合などで使用する場所が少なくて困っており、これ以上市民センターを少なくする理由が見当たりません。	民間施設へ移転後も明市民センターは引き続きご利用できますのでご安心ください。	無し
68	22ページ 施設類型別全体行程表 分類: その他集会所 施設	まつど市民活動サポートセンター等の公共施設の旧伊勢丹ビルへの移転に際しては、利便性向上の他に、年間6億3千万円(内、半分为サポセン)の経済効果があるとして議会提案された。 それら効果を見失って、矢切支所等の統合へとした理由が不明である。意思決定理由を説明すべし。でないと政策の整合性がとれない。	まつど市民活動サポートセンターの移転については、「利便性の向上」「生涯学習と市民活動の連携による相乗効果」「発信力の強化と裾野の拡大」の3つのメリットを想定し、提案したものでございます。行政課題である、利便性の向上のみを解決するものではなく、他の2つのメリットを含め付帯効果があると考えて移転を計画しておりましたが、計画が白紙となったことから、本計画において複合化による建替えをマネジメントの方向性として決めました。	無し
69	22ページ 施設類型別全体行程表 分類: 図書館	「図書館像を実現するためのサービス内容や運営体制の見直し①～⑥」の中に、重要な「レファレンスなど相談体制の強化や業務の見直し」がない理由はないか。 松戸市図書館整備計画審議会でも示された重要なサービス機能である。 追加すべし。	該当箇所は、松戸市図書館整備計画の第6章の抜粋したものです。ご意見は担当部署と共有いたします。	無し
70	22ページ 施設類型別全体行程表 分類: 図書館	図書館本館は「更新」となっているが、間違いないのか。 松戸市公共施設再編整備基本方針では、「建物を更新する場合は、更新前を上回らない規模を基本とし、コスト比較や費用対効果面を検証の上、スクラップアンドビルドにより整備を行います」とある。 現状規模を上回らないのであれば、更新に賛成する。	図書館本館は、今後新拠点ゾーンの検討に合わせて、整備方法や規模等を検討して参ります。	無し
71	22ページ 施設類型別全体行程表 分類: 図書館	図書館にPPPを導入し、民間企業の助力を得ること自体には反対しませんが、懸念していることがあります。 書店やCCショップ、あるいはこれらのレンタル店を営んでいるTSUTAYAの母体、カルチュア・コンビニエンス・クラブは図書館の指定管理者として運営を行っていますが、各所で問題を起こしています。 佐賀県の武雄市図書館・歴史資料館では、県民に縁遠い埼玉県のラーメン本や、リニューアルオープン(2013年4月)に合わせてWinCows98/95の有益さが感じられない本を購入したことがあります。 (参考 http://nDws.livDCoor.com/article/CDtail/10558852/) また、同図書館では「郷土資料ともいうべき地元誌も除籍されている」という話も出てきています。 (参考 https://www.huEEingtonpost.jp/2014/04/24/takDoshi_n_5203682.html) 神奈川県海老名市中央図書館でも、「武雄市図書館の蔵書と同じように、古い雑誌や選定基準の対象外と思われる書籍が含まれていた」との話が出て、教育委員会の伊藤文庫教育長が「一時凍結して、選書をやり直す」と答弁する事態になりました。 (参考 https://www.huEEingtonpost.jp/2015/09/18/Dbinashi-library_n_8157396.html) また、足立区の図書館では、指定管理者となった企業の都合で児童サービスに熱心だった館長が雇止めになったり、最低賃金違反行為が行われていた事例があります。 (参考 https://biz-journal.jp/2015/10/post_11787.html) 図書館運営の不利による税金と時間の無駄もさることながら、一番心配なのが松戸市にしかない資料を廃棄してしまうことで、これは本当に取り返しのつかないことです。そのようなことが絶対に起きないように、あらかじめ不適切な企業に参入させない仕組みを構築してから図書館にPPPを導入するようお願いします。 あと、民間企業が参入したら、私がどんな本を借りたか、も企業に筒抜けになってしまうのでしょうか。私は、どんな企業にも自分が借りた本を知られたくありません。PPP導入の際には、借りた本のデータをあくまでも自治体のみで保管するようにしてください。 以上、よろしくお願ひします。	図書館の運営及び施設整備につきましては、図書館整備計画に基づき、担当部署が関係部局と連携を図り検討して参りますので、頂いたご意見は情報の共有を図り、今後の参考とさせていただきます。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
72	22ページ 施設類型別全体行程表 分類:図書館	「文化施設」の「図書館」の中に、図書館本館の整備とありますが、子供向けの図書館は併設される予定はありますか？本庁在住のため、こども読書推進センターを時々利用していますが、靴を履き替えなければいけないのと、本を読めるスペースが狭いので、子供がすぐに飽きてしまいます。もし、あたりに整備される予定があるようでしたら、靴を脱いで上られる場所と、子供が多少おしゃべりしても気をつかうことなくゆっくり本が楽しめる空間にしていきたいと思います。宜しくお願いいたします。	図書館の運営及び施設整備につきましては、図書館整備計画に基づき、担当部署が関係部局と連携を図り検討して参りますので、頂いたご意見は情報の共有を図り、今後の参考とさせていただきます。	無し
73	22～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:図書館 分類:小学校 分類:中学校	学校図書館と小金原分館一体整備は反対です。学校図書館は授業の一環だと思います。	学校施設の建替えに合わせ市民センターなど地域の施設と複合化を検討する中で、学校図書館と図書館分館の一体的整備の可能性を先進自治体の事例を含み研究するものです。個々の施設の状況や配置などを踏まえ検討して参りますので、頂いたご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
74	22ページ 施設類型別全体行程表 分類:その他集会施設	サポートセンターの集約化に反対します。市民活動を支える機関があまりにも少なく松戸市には矢切以外公民館はありません。もっとも市民が主権者として自覚し、行動するのを支える姿勢が松戸市には必要です。	まつど市民活動サポートセンターは、総合福祉会館、矢切支所、矢切消防署との複合化による集約を検討いたします。まつど市民活動サポートセンターの集約化は、機能の削減や集約をするものではございません。	無し
75	22ページ 施設類型別全体行程表 分類:図書館	「図書館東部分館は…地域館として拡張」とあり、地域館の規模は5万冊以上となっています。また、「東松戸まちづくり用地活用事業実施方針」において、その規模は1000平米程度と指針が示されています。参考に近隣市における、市川市信篤図書館は900平米で6万冊の蔵書を有しており、最低でも同等以上の蔵書数は担保して欲しいと思います。行政窓口複合型の同等規模の施設では、流山市の木の図書館が挙げられ、機能性については是非参考にされて欲しいです。	ご意見は、関係部局と情報の共有を図り、今後実施する設計において参考とさせていただきます。	無し
76	22～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:図書館 分類:小学校 分類:中学校	学校図書館との一体的整備ではなく市民のための小金原分館の充実をお願いします。図書館の貧弱さは松戸市の文化をあらわします。貧弱さをなげく多くの人の声を耳にします。	学校施設の建替えに合わせ市民センターなど地域の施設と複合化を検討する中で、学校図書館と図書館分館の一体的整備の可能性を先進自治体の事例を含み研究するものです。個々の施設の状況や配置などを踏まえ検討して参りますので、頂いたご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
77	22ページ 施設類型別全体行程表 分類:図書館	西部図書館が閉館されるといわれている中、小金原分館の充実をお願いします。他県、他市に比べて松戸市は本の数が少なく図書館の機能を果たしていないと思います。いつも予約となり、なかなか本が手に入らない現状です。学校図書館との一体化ではなく図書館本来の機能を備えたものを設けてほしいのです。	学校施設の建替えに合わせ市民センターなど地域の施設と複合化を検討する中で、学校図書館と図書館分館の一体的整備の可能性を先進自治体の事例を含み研究するものです。個々の施設の状況や配置などを踏まえ検討して参りますので、頂いたご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
78	23、25ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:プール	プールは室内プールに改築。近隣の小中学校のプールを解体し、新松戸プール、運動公園プールを学校で集中利用するものとする。運営を民間に委託。小中学校のプール学習も、その民間企業の専門知識を持った者に委託。学校から施設の交通移動もその民間に委託する。委託された民間企業はスポーツ施設として利用する以外に、学校他、NPO法人や個人の団体などに1レーン単位で貸し出し可能とすること。民間に委託した場合、スポーツクラブ会員向けの運用の他に公共施設としての利用も同時にできるようにする。50mプールは、大変な魅力である。(例)東京体育館プール、千葉県国際総合水泳場	ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
79	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	教育施設は子どもの安全、教育環境を優先的に考えられなければならない。学校と同じ場所に、不特定多数の者が出入り出来る公共施設を同居させた場合、子どもの安全がきちんと守られるのか疑問である。インフルエンザ等の感染症が持ち込まれる可能性もある。子どもへの有効なセキュリティ対策が取れない限り、学校と他の公共施設との複合化は安易に行うべきではない。また、目的の異なる施設を学校の場所に集中させると、スクールゾーンの解除による事故の増加、通学路の交通渋滞、騒音等による周辺住民への迷惑等も考えられる。学校の立地は交通の便が悪い場合が多く、施設利用者にとって不便である。目先の建設コストばかり考えるのではなく、市民や子どもの目線に立った施設複合化のデメリットの洗い出しと、その解消についての研究や検討をまず行うべきである。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目的に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
80	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	学校の統廃合に反対する。近年、松戸市では子育て政策を重点的に行っており、児童生徒の数が増加または維持される可能性もある。学校統廃合によってマンモス校が発生すれば教育環境が悪化しかねない。かつての松戸市の学校は、荒れたマンモス校とのたたかひの歴史であったといっても過言ではない。そのような歴史を繰り返してはならない。現在、松戸市の公立小45校の普通学級は754学級、公立中20校の普通学級は329学級で、平均すれば一校当たり小学校約17学級、中学校約16学級となる。国の法令が定める標準学級数(1校当たり12～18学級)に収まっている。特定の学校の児童生徒数が少ない場合、学区や学校選択制の見直しをするなどして、入学者が集中しないよう平準化する施策をまず行うべきであり、統廃合を検討する段階ではない。また、学校は災害時に避難場所として重要である。統廃合で地域の学校が無くなれば地域の市民が避難場所を失う。特にお年寄り、子育て世帯の負担は大きく、避難場所は生命にかかわる重大な事項である。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し
81	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	学校は先生が、一人ひとりの生徒の顔を知り合うことが大切ですが大きいことが良い事ではありません。学校は災害時には避難所です。遠くでは非難に大変です。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し
82	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校	離れたところに素晴らしいプールが出来たとして、授業としてどうやって取り組んでいけるのでしょうか。	ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
83	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校をこれ以上へらさないでください。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し
84	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所を8ヶ所へらすことに反対します。保育所や学校は、少人数で一人ひとりが大切に保育や教育を受けることが大切だと思います。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所(園)の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
85	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校を9校減らすことに反対します。地方自治体の使命である住民の福祉、教育の増進が後退するからです。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
86	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所を8ヶ所にへらすことに反対します。保育所や学校は、少人数で一人ひとりが大切に保育や教育を受けることが大切だと思います。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所(園)の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
87	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校を9校へ減らすことに反対します。地方自治体の使命である住民の福祉、教育の増進が後退するからです。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
88	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所や小・中学校をへらすのは反対です。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所(園)の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
89	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	福祉や教育が後退することのないようにしてほしい。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。	無し
90	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所を8ヶ所へらすことに反対します。保育所や学校は、少人数で一人ひとりが大切に保育や教育を受けることが大切だと思います。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
91	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校を9校減らすことに反対します。地方自治体の使命である住民の福祉、教育の増進が後退するからです。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
92	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所を8ヶ所へらすことに反対します。保育所や学校は、少人数で一人ひとりが大切に保育や教育を受けることが大切だと思います。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
93	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校を9校減らすことに反対します。地方自治体の使命である住民の福祉、教育の増進が後退するからです。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
94	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所を8ヶ所へらすことに反対します。保育所や学校は、少人数で一人ひとりが大切に保育や教育を受けることが大切だと思います。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
95	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校を9校減らすことに反対します。地方自治体の使命である住民の福祉、教育の増進が後退するからです。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
96	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所を8ヶ所へらすことに反対します。保育所や学校は、少人数で一人ひとりが大切に保育や教育を受けることが大切だと思います。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
97	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校を9校減らすことに反対します。地方自治体の使命である住民の福祉、教育の増進が後退するからです。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
98	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	保育所・小中学校の削減に反対します。松戸市は、子育てしやすい街として、若い人呼びこもうとしています。もしその願いが実現すれば、保育所・小中学校は削減しても大丈夫でしょうか？統合され近づくまで遠くまで行かなければならない保育所や学校は、魅力的ではありません。民間の利益優先は、子育てには適しません。安心して子育てする街を目指すなら、質量ともに安心できるものに。せっかくあるものをこわしてしまうのは、税金の無駄づかいになります。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目的に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
99	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	小中学校を9校、保育所を8ヶ所減らす計画は撤回すべきです。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目的に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
100	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校	小中学校のプールの統廃合もすべきではありません。むしろ住民に開放するなど積極的に活用する方向を模索すべきだと思います。	ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
101	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:ホール・劇場	この記述は文化施設(施設類型)/ホール・劇場(分類)のカテゴリにおけるものであり、これまで同施設をさまざまな形で利用させていただいております。市民から致しますと、ホール棟だけでなく、音楽室や各種会議室等(プラネタリウムも含め)がある別棟を合わせた再編整備計画と理解すべきなのでしょうか。それともホール機能だけを対象とするのでしょうか。前者であるならば、その記述は「市民会館・現在のホール棟と別棟の機能を併せ新拠点ゾーン(相模台)の中で検討します。」と修正していただけないでしょうか。今後利用団体としてどのように対応すべきかを考える際に、誤解が生じるのを避けるためです。	施設類型の分類として、ホール・劇場としておりますが、市民会館はマネジメントの方向性(23ページ参照)に基づいて、現在の市民会館で有する機能全体のあり方を検討してまいります。	無し
102	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:ホール・劇場	ホールは多種多様な用途目的で市民が活用しますが、音楽活動はその一つに過ぎず、それ以外の多種多様な利用目的に応じた「更新と機能集約」という理解でよろしいのであれば、「市民会館は、新拠点ゾーン(相模台)の検討に合わせて、多種多様な利用目的に応じた更新と機能集約を図ります。(PPP導入を検討)」と修正して頂けませんでしょうか。「施設の現状等」には、「松戸市公共施設白書(H25.3)」からの引用として、「類似都市(柏市、市川市、船橋市、川口市、所沢市、藤沢市)平均と比較して施設数、ホール定員数とも1.5倍です。」とあり、松戸市文化会館(森のホール21)と松戸市民劇場を含めた「ホール・劇場」の「再編整備」によって、新拠点ゾーン(相模台)の新施設はホール機能がなくなるのではないかと不安を私ども利用団体に抱かせるためです。	施設類型の分類として、ホール・劇場としておりますが、市民会館はマネジメントの方向性(23ページ参照)に基づいて、現在の市民会館で有する機能全体のあり方を検討してまいります。	無し
103	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:ホール・劇場	「個別基本方針」と「マネジメントの方向性(案)」にある「新拠点ゾーン(相模台)」における施設の整備計画の主管部署は、公共施設再編課ではなく、別の部署になると伺います。その主管部署による計画策定、とりわけ現在の市民会館が保有する機能をどのように扱うかという問題については、今回同様のパブリックコメントを市民から募集するお考えでしょうか。公共施設再編課としてではなく、松戸市役所のご方針としてのお考えをお聞かせください。	主管部署では新拠点ゾーン整備基本計画策定を検討しており、全体の整備方針や空間デザインについてお示しする予定であります。その過程においてパブリックコメントを行う予定です。また、具体的な施設機能につきましては、別の機会に市民の皆様よりご意見賜りたいと考えております。	無し
104	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	総合的に見て、市民の暮らし向きに税金が使われているとは言えず、この計画には反対です。小学校や公立保育所の統廃合＝削減は、市民の願いとは真逆です。修繕・リフォーム等を優先し子供たちが通いやすく使いやすいものにして欲しいです。マンション等の一室で園庭もない保育所に仕方なく預けているお母さんたちは公立保育所を望んでいるとは思いませんか？	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目的に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
105	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校の統廃合はしないでください。子どもたちにとって、どんな教育環境がいいのでしょうか。コスト削減を考える前にお金の使い方を考えてください。学校が近くにあるから地域の大人たちも子どもに関心を寄せ見守られると思います。親も安心です。少人数学級で先生もひとりひとりに向き合える。安全で快適な校舎で勉強させてあげたいです。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目的に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
106	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校	小学校プールをなくさないでください。 なぜ、民間に移さなくてはならないのかわかりません。近くの学校にあるからプールに行きやすいのではないのでしょうか。問題があるなら改善する方法を考えてください。民間に移せば利用料がかかり親の負担が増えるのではないのでしょうか。	ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
107	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	1.小学校と中学校の施設の共同利用を行うべきではない。小学校は初等教育、中学校は中等教育を行う場であり目的が異なる。小学生と中学生は最大9学年の差がある。相応しい施設のサイズも異なるし、体育館、プール、校庭等の利用の調整も困難になる。また、中学生が部活動をしていると小学生が遊ぶ場所を奪われるのではないか。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
108	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	2.人口増加地域ではマンモス校状態になる恐れ人口増加地域において、学校の施設の共同利用をすればマンモス校状態になり、教育環境が悪化しかねない。市外の既存の小中一貫校の中にはマンモス校化し、国会で議論になった学校もある。かつての松戸の学校は、荒れるマンモス校とのたたかひの歴史であったと言っても過言ではなく、マンモス校による教育環境の悪化を再び繰り返してはならない。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
109	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	3.基本的に中学生と小学生を接触させるべきではない中学生と小学生が施設を共同利用して接触する機会が増えると、小学生が中学生から悪影響を受ける心配がある。また、小中一貫の部活動にすれば中学生の負担が大きくなる。同時に、中学生のいじめやしごきが小学生に広がる恐れもある。中学生と小学生を接触させるべきではない。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
110	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	1.東部小と第五中の施設の共同利用に反対する。東部地域は人口増加が予想され(計画案P.41)、「学級数推計結果」(平成28年度第2回 松戸市公共施設再編整備推進審議会・資料より)によれば、約10年後の2030年には東部小が25学級738名、第五中が44学級1315名になると推計されている。両校を合計すると、69学級2053名の超マンモス校状態である。この地域は学校の新規開設が必要な状態であると考えられる。推計通り約2000名の児童生徒で施設の共同利用などすれば教育環境が悪化するのとは明らかで、この地域での小中学校の施設の共同利用には反対する。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
111	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	2.特別支援学級の体制はどうするのか東部小には特別支援学級があるが第五中にはない。特別支援のノウハウのない中学校と施設の共同利用など可能なのか疑問である。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
112	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	3.施設一体型の小中一貫校化には反対する人口増加が予想されている。東部小、第五中の学区で、両校を統廃合し施設一体型小中一貫校を計画しているのであれば、法令の定める標準学級数を大幅に超え、教育環境が悪化するのとは明らかである。施設一体型の小中一貫校化にも反対する。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、個別施設計画の作成等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
113	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:ホール・劇場	音楽関係者の中には、「音響重視型多目的ホール」と銘打たれた文化会館大ホール(1995席)の音響は確かに素晴らしいけれど、このホールを使いこなせる市民音楽団体(アマチュアの管弦楽団や合唱団等)は当市に存在しないに等しいとの意見もあります。 ならば文化会館小ホール(516席)はどうかと言えば、それは「演劇重視型多目的ホール」であり、音響の点では不十分と言われます。また、「音楽・演劇などの舞台芸術を発表できる小劇場」と謳われている市民劇場(332席)も同様(直裁に言えば「中途半端な設備水準」とのことです。そして市民会館ホール(1212席)については本計画案に示されている通り、老朽化の進行から長期的な活用見通しは立て難いと判断されます。とすれば当市には、市民音楽団体が存分に活用できる「中規模ホール」は存在しないに等しく、演奏会を開催する場合は柏市や鎌谷市等近隣自治体の施設の活用を考えざるを得ないのが現状と聞きます。逆に言えば、他の自治体の市民音楽団体が当市の施設を利用することはなく、音楽に関わる「人の流れ」は松戸市外へと流れることを意味しております。これは「文化が香るまちまつど」にとっては看過できない現実ではないかと考えますが如何でしょうか。	ご意見は、担当部局と情報の共有を図るとともに、新拠点ゾーンの検討に合わせ施設機能のあり方を検討して参ります。	無し
114	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:ホール・劇場	本計画(案)の「施設の現状等」に「松戸市公共施設白書(H25.3)」からの引用として、「類似施設(柏市、市川市、船橋市、川口市、所沢市、藤沢市)平均と比較して、施設数ホール定員数とも約1.5倍です。」と記されております。この一文と、3施設に関する再編整備計画を重ね合わせますと、「類似都市よりも潤沢な施設が用意されている」のだから「3施設の統廃合推進に特段の問題はない」との考えが根底におありではないかと想像されます。当市の人口動態や税収見直し等を考えた場合に、「3施設の統廃合」は避けられないことは理解いたしますが、施設数と客席定員数という「目で数えられる物」をもって文化施設の再編整備を考えるのではなく、松戸市がどのような文化政策(たとえば音楽文化振興策)に基づいてその再編整備を行おうとしているのかお示し頂きますと、それぞれの施設に関する計画(案)に対して、どのような意見を申し述べるべきか判断に困るというのが率直なところです。	ご意見は、担当部局と情報の共有を図るとともに、新拠点ゾーンの検討に合わせ施設機能のあり方を検討して参ります。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
115	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	小学校、中学校を9校減らす計画に反対します。 保育園や学校は、少人数で一人一人が大切にされ、保育や教育を受けることが重要である。また、住宅からの通園・通学距離が長くなると不便な上に事故発生の危険性も多くなる。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を用途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。 なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
116	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	小学校や公立保育所の統廃合は絶対にやめてほしい。世界中で学業や子供達を大切にしているのに日本の国は逆走している。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を用途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
117	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:本庁舎	新拠点ゾーン(相模台)への集約後の本庁舎跡地の転用方法を示してもらいたいです。移転自体に異論はないですが、長年市役所本庁舎がある今の場所は移設後も市民のために施設等に活用されることを希望します。	基本方針④有効なストック活用（6頁）で示すように、公共施設再編により生じた余剰資産は、他の用途への転用や貸付・売却など有効活用することとしておりますが、本計画策定時に活用方法を決定することは難しいと考えております。	無し
118	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	学校の統廃合について。この計画でも学校を地域拠点として活用していくとありますが、その学校がなくなってしまうと地域拠点が奪われることになります。市民センターや図書館等を学校施設へ集約・複合化を検討しているようですが、それ自体はよく理解できます。学校を地域の拠点として、市民センター、図書館、それに加えて公民館や児童館的機能を持つ施設も設置してほしいと思います。松戸市は公民館が一つしかありません、児童館も少ないですから。 *また、学校が統廃合されて学区が広がると、子どもたちの通学の安全上の心配が大きくなります。子どもたちの事故・事件が通学途上で起きていることが多いのですから、遠距離通学を子どもたちに強いることは大いに問題です。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を用途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し
119	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	地域住民も高齢化していますから、学校の統廃合により学区が広がってしまうと、公共施設へのアクセスが難しくなります。今以上に移動距離が増えるのは問題です。そういう意味でも学校の統廃合はすべきではありません。現在の小学校区を維持してほしいと思います。たとえ、人口が極端に少なくなるだろう地域でも、様々な公共施設を学校施設に集約していくことで、対応してほしいと思います。過疎地域にこそ そういう対応が必要です。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を用途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し
120	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	学校も30年前に多く作られ建て替えを図る必要があるかもしれないが、耐震性の工事をしたばかりなので修繕を計り今ある学校の施設を地域のコミュニケーションの場と考え 集約することには反対で、どうしても建て替えを必要のある学校から日本の木材を使った学校の数を増やすことにより学生生徒児童の健康の増進にもつながり国からの補助金も多くつけられるのでは？ 学校施設を地域住民の集まり場としてもつかえば、市民センターのかわりにもなるのでは？ 公共施設を作るのに一番大事なのは、作る量より質、特に長く持ち続けられる建物を作り費用対効果の高い施設を作してほしい。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を用途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 なお、統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。	無し
121	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校 分類:保育所	公立保育所をなくしていく方向・学校を統廃合していく方向に反対です。	ご意見は関係部局と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を用途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。	無し
122	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校	小学校のプールの民間活力による集約化というのはどんなかたちになるのでしょうか？ ただでさえ忙しい小学校の授業をどこかに通うことにするのは大変ではないでしょうか？ また、これだけ多くの小学校があるのに、それに対応できる民間があるのか疑問です。	ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
123	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:プール	「新松戸プールは…あり方を検討します」とありますが、現状、50メートルのコースを有するも、実際には遊泳区画が区切られ、50メートルプールとして利用できない状況です。本プールの位置づけを明確にして在り方を検討してほしいと思います。参考に船橋市の市民プールは公式大会対応のプールを有しつつ、レジャープールの機能も備えた形にリニューアルされました。本市においては、例えば運動公園プールを公式大会対応、新松戸プールをレジャー対応とするなどが検討可能と思います。	ご意見は、関係部局と情報の共有を図り、個別施設計画等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
124	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校の統廃合が掲げられているが、古い校舎より新しい校舎設備で勉強するほうが子どもたちもやる気が出ると思う。しかし、一学年3～4学級で一学級30人以下の学校規模が良い。それ以上大きな学校になると、学校行事や学習、生活指導で色々な問題が出てくる。子どものトラブルも多く発生する。騒がしい環境では、子どもの学力は決して伸びない。また、ベテランの教師が定年退職でどんどん学校を去っている現実では、大きな学校を運営するのはますます困難である。プールを改修せず集約化するのとはとんでもない。早急に安全で衛生的なプールに改修すべきで。他の施設のプールに出かけていくなんて時間は今の学校にはない。暑い夏に1,2年生を歩かせて往復するのはどうか。また、往復の安全も含めて、管理職や養護教諭が学校を空けざるを得ない。学校の方で何かあったらどうするのだ。教育環境づくりを経済性やコスト削減を柱に作るのには、大事な子どもを預かる学校ではあってはならない。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じた、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
125	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	小中学校を9校減らすことに反対します。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じた、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。なお、小中学校を9校減らすという記述はございません。	無し
126	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	学校の統廃合ではなく子どもの数の少ない学校を維持してください。ゆつたりとした空間の中で教育されることで、いじめはなくなり、子どもの学力も伸ばすことができます。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じた、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。	無し
127	23～24ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校 分類:中学校	統合を推進していくように「マネジメントの方向性」については見受けられますが、学校の規模はWHOでも言っているとおり100人規模が望ましいと思います。また災害の際の緊急避難の場としても遠く離れていて大きな体育館などより近くて中くらいの体育館がよいと思います。また、子どもたち、生徒たちの日常として、大勢人数がいるのはストレスとなります。こじんまりしてお互いの顔がわかりあえる方が気持ちの安定になります。よって統合には反対です。	ご意見は教育委員会と情報の共有を図った上で、小学校・中学校のマネジメントの方向性として、目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じた、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。	無し
128	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校	「小学校プールはPPP等の…」のところですが、プールについても各学校一つずつあることを望みます。水泳の授業のたびに移動しなければならないのは子どもたちにとってストレスですし、先生方も大変です。いま先生方の労働が過酷だと報道がなされています。なるべく先生方の負担を軽くしてあげてことを望みます。	ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
129	23ページ 施設類型別全体行程表 分類:小学校	小学校プールの民間活力の導入による集約化に反対します。小学生が集団で盛夏の中の移動に危険を感じます。民間に委ねる児童個々の特性を把握できず、水中での指導はむずかしいと思います。	ご意見は、関係部署と情報の共有を図り、先進自治体の事例等を研究し、民間活力の導入等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
130	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:その他教育施設	個別基本方針(売却、借地あり)とマネジメントの方向性とが不整合ではないか。 マネジメントの方向性として「スポーツ施設等の新規機能」のみを挙げるなら、その政策課題の明示が必要。	基本方針④有効なストック活用(6頁)で示すように、公共施設再編により生じたほかの用途への活用(スポーツ施設等の新規機能を含む)を検討した上で、貸付・売却など有効活用していくことを検討します。	無し
131	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:高等学校	市立高等学校(以下「市立高校」)の機能の適正化について、平成31年度より普通科も松戸市外の生徒を受け入れるようになっているが、松戸市の財産である市立高校の役割としていかなるものか。入学競争倍率や、部活動の成績のために市外にまで学区を広げたのであれば本末転倒である。そもそも高等学校とは、法令(主に学習指導要領)に定められた学習カリキュラムを実施する場所であり、部活動のためにあるのではない。様々な将来の希望をもった市民の子が入学できるようにするのが、市の公共施設としての責任である。学区の拡大によって市内の子が入学しにくくなるようなことがあってはならないと考える。	本計画は、再編の方向性を示すものであり、「第4章行動計画」において、施設類型別・分類別にマネジメントの方向性を示しております。頂いたご意見は、教育委員会へ提供させていただきます。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
132	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:保育所	子供は産まないのが悪いと大臣が公の場で発言されました。産みたくても産めない現状をご存じないです。給料は上がりず2人で働いてやっと生活している現状、産む前から保育所探し、見つかっても遠く離れ順番待ちの状態。こんな事では、安心して産むことはできません。子供は国の宝です。狭い所に子供を押し込めて、保育所は足りている等と言わないでください。	保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。 なお、ご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
133	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:保育所	2030年までは、現状のままだが、建て替えが必要な場合は民間保育園にというのは矛盾していると思います。現在の公立保育所の老朽化を検討するのであれば、現状を早急に確認して予算をつけなければ、未来を担う子どもたちの健康維持が出来ないところまで来ていることを認識してほしいと切に思います。古い建物は、上下水道、電気、ガスに関することは命に関わる問題を引き起こします。また、テーブルや椅子なども、ある程度計画的に買い替えができるよう担当課は頑張ってくれていますが、追いついていません。民間保育園の設備と比較し、とても貧弱な環境です。全ての子どもたちが快適に生活できるようにしてほしいと思います。あらゆるものが老朽化する中で、環境整備を頑張っているのは、現場の保育者たちです。疲れていると思います。「子育てしやすい街」と謳うのであれば、自治体が全面的に責任を持つ公立保育所を安心・安全な施設に再編整備することが求められると思います。この老朽化を見逃していたら、10年を持たずに公立保育所の建物は使えなくなってしまう。それを見越しているとしたら、計画とは言えないと思います。	担当部局と連携の上、マネジメントの方向性に則り、長寿命化（修繕工事）を図って参ります。	無し
134	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:保育所	公立保育所を現在17ヶ所を今後9ヶ所に削減する方針案に反対します。フルスペック保育所とし市の財産として、施設及び人材も残してほしい。 小規模保育所と幼稚園の預かり保育で対応とあるが、小規模は0～2歳で終了してしまうため、また改めて入所（園）申し込みをしなくてはならず、保護者にとって負担である。小規模保育園もビル2E等、子供たちにとっては安全とは言えず、戸外に出る機会も少なくなる所も多い。	保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。 なお、ご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
135	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:保育所	公立保育園を8ヶ所減らす計画に反対します。	保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。 なお、ご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
136	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:保育所	「10年間の保育需要を見極めて、2030年以降、17所から9所に削減します。（想定）」に異議があります。	保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。 なお、ご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
137	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:保育所	現施設の長寿命化を図り、原則としての公立保育所の建て替えは行いません（建て替えが必要な場合は民間保育園として建て替える）この言葉は国の言いなりで松戸市独自の考えがありません。「子ども子育て会議」「子どもの未来応援会議」での資料とは、まるで反対方向にすすんでいるように思います。保育を受けることも、保護者、保育士の意見が反映されているとは思いません。公立保育所の運営費が一般財源化になったことが大きな原因のひとつと考えられます。その時に国に意見をあげていなかった松戸市。国の言いなりでは、市民としてはこまります。運営費の一般財源化ではなく、公立保育所にも運営費の復活を国にお願いすることが市長としての役割だと思えます。子どもの発達・成長を保障し、保育をしている保育士の仕事を子守りとしか思っていないのではないのでしょうか？命を預かり、働く親が安心して仕事ができるように支援しています。その保育所をバツさりきることが、松戸市子育てしやすいランキング1位でいいのでしょうか？特に公立保育所は、困難をかかえた親子にとっては、最後の砦として必要な場所です。保育という仕事を子守りとしか思っていない市長にはこどもの未来を託すことが出来ません。財源不足を理由に公立保育所を減らすことには反対です。さて、小規模保育所についてですが、3歳児受け入れで問題がおきている現状があります。保護者の立場から考えると、0歳児～5歳児まで受け入れる認可保育所が必要だと市民の声を聞き入れず、小規模保育所を国のいいなりで増やしているのは、松戸市です。子どもが少なくなったら撤退できる事しか考えていないように思います。又、保育士不足でやりくりしに困難な保育園もあります。保育士不足の対策なしでは、子どもの命は守れません。松戸市でも幼い子どもの死亡事故がありました。過去の教訓を学び保育士確保を必死で取り組むべきです。1ヶ月の期間で市民の声をパブコメで聞くというのには無理があります。今後検討してほしい。財政難を理由に、市の財産を民間（企業）に渡す事には反対です。	保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。 なお、ご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し
138	24ページ 施設類型別全体行程表 分類:保育所	公立保育所を8ヶ所へらすことに反対します。	保育所は、今後10年間の保育需要を見極め、2030年以降を想定したマネジメントの方向性として、少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。 なお、ご意見は、関係部局と情報の共有を図ります。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
139	24ページ 施設類型別全体行程表 分類: 保育所	子どもの成長にとって、とても大事な時期を公的に運営された保育所で過ごしてください。民営化でなく、市がこなうべきです。民営化することで、職員の意識もうすれ、野田市のような無責任な事件をひきおこさねません。	頂いたご意見は、関係部局に提供させていただきます。	無し
140	25ページ 施設類型別全体行程表 分類: 病院施設	松戸市病院運営審議会の答申がでていない段階で、「マネジメントの方向性」に書かれた内容は正しいのか。 公設公営や公設民営のケースしか記載されていないが、独立法人化や売却も可能性は否定されていない。 2～3の方向性を示した上で、いつまでに、結論を出すかすべきではないか。	ご意見を踏まえ、今後様々な可能性を検討して参ります。	無し
141	25ページ 施設類型別全体行程表 分類: 身体障害者施設	施設内の温水プールは県内に2つしかなく、とても素晴らしいと感じます。ただ使われていないのがとても残念です。通園の水療育やマーメイドスイミング以外でほとんど使われていません。 障害のある子が市や民間のプールに入るのはとても難しいので、このプールがもう少し利用しやすい事を望みます。 個人で借りることもできるそうなのですが、資格を持った監視員がいることが条件とのことで、個人レベルでは難しいのが現状です。 他の市営プールのように人員を配置して障害のある子ども気楽にプールを楽しめる施設になってほしいです。	ご意見・ご要望は、担当部局に情報を提供して参ります。	無し
142	30ページ 地域別全体行程表 市域全域 分類: その他集会所施設	市民交流会館についてのアクションプランがない理由はなにか。 新しい施設ではあるが、中長期では、「長寿命化」があるのではないか。	ご意見を踏まえ、地域別全体行程表に下記の内容を追加いたします。 <追加箇所箇所>地域別全体行程表－市域全体－その他集会所施設（30頁） ・市民交流会館は、機能維持を基本として、施設の長寿命化・更新を図ります。 [全体行程表の位置づけ]: 中長期（概ね10年以降に検討・実施）	有り
143	30ページ 地域別全体行程表 市域全域 分類: 市民会館	市民会館について、単独で機能集約とあるが、何との集約かを明示すべき。少なくとも、市民劇場や文化会館でないことは、記載内容から見て取れる。「市民会館と市民劇場の機能集約」なら理解できるが。	市民会館は、今後新拠点ゾーンの検討に合わせて、新拠点ゾーンに導入する機能との集約化を検討して参ります。	無し
144	33ページ 地域別全体行程表 常盤平地域 分類: 高齢者対象施設	常盤平老人福祉センターが、小金原同様に「目標耐用年数を目途に再配置等」を検討します。（集約化や民間施設の活用等）がないのは何故か。 現施設は、未来永劫、手をいれなくてよいということか。	現段階では管理運営形態において、ライフサイクルコスト（LCC）の削減を図って参りますが、施設については個別施設計画で検討して参ります。	無し
145	35ページ 地域別全体行程表 小金原地域	松戸市は近隣の市と比べ公民館が1つ児童館も常盤平に1つ、野菊野こども館と根木内こども館があるだけです。 小金原4丁目から公園の隣に用途が決まっていない広い市有地（空地）があります。この場所に高齢者が気軽にお茶を飲みに行ける、子供は本を読みに行ける小さな図書館のような施設ができたらと希望します。 一日も早く計画をしていただきたいと思います。	頂いたご意見は、関係部局に提供していきます。	無し
146	35ページ 地域別全体行程表 小金原地域 分類: 社会教育施設	松戸市は近隣市に比べ、公民館は1ヶ所（矢切）しかなく、とても少ないと思います。小金原には分館としてのタウンスクール根木内があり、とてもありがたいと思っております。地域における社会教育の場として広く市民に学習したりと、交流の場所として活用できる様に残してもらいたいと思います。根木内タウンスクールの知らない市民もいると思いますので「知らせ」多くの方に活用できるように願ってます。	ご意見は、関係部局と情報の共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
147	35ページ 地域別全体行程表 小金原地域 分類:支所 分類:市民センター 分類:図書館	小金原支所、小金原市民センター、図書館分館は小金原の中心に位置しており、近くには診療所、薬局、郵便局、銀行、体育館、スーパーや小売店など市民の生活に欠かせない施設がある。また高齢者はベンチに座っておしゃべりを楽しんだりして憩いの場にもなっている。小金原は高齢化が進み、坂も多い町である。それなのに学校施設の建て替えに合わせて移設するのは小金原に住む住民のことを大事に考えていない。今の場所に建て替えて、公共施設の役割を果たしてほしい。	第5章3. (1)小金原地域 (43～45頁) に記載のとおり、小金原地域をモデル地域として、地域の皆様が主体となり地域の将来像や公共施設再編に向けた地域ワークショップや地域シンポジウムを開催しております。今後の開催予定は、ポスター掲示やチラシの配布等で案内する予定ですので、これら活動内容をご確認いただき、ご参加を検討いただければ幸いです。	無し
148	35ページ 地域別全体行程表 小金原地域 分類:その他児童施設	小金原幼児教室のマネージメントの方向性(案)をそこで働いている職員に何も告げずに、相談することもせずに発表するのはどうかと思う。市からの助成金を受けているとはいえ、幼児教室を自主運営しているのだから、勝手に再配置(集約化、他施設との複合化等)を発表すべきではない。	小金原幼児教室については、現状の運営形態を鑑みてマネージメントの方向性を削除します。	有り
149	35ページ 地域別全体行程表 小金原地域 分類:高齢者対象施設	小金原老人福祉センターの充実をお願いします。高齢化が進む小金原で、老人福祉センターの役割は大きいと思います。市のモデル地区になるべきで、充実をお願いします。	ご意見は、関係部局と情報の共有を図り、個別施設計画等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
150	38ページ 地域別全体行程表 新松戸地域 分類:市民センター	(新松戸市民センターと交流会館との関連について)基本計画では「市民センターの更新にあたっては、PPP 等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します」とあるが、H24.4の新松戸地域学校跡地有効活用基本計画においては、新松戸市民センターについて「その代替ともなる市民活動拠点機能等の導入を学校跡地で図ることにより、互換性を持たせ、将来的には学校跡地(交流会館)へ一元化する可能性について検討を始めます」となっている。検討した結果か? いつ検討したか。	新松戸市民センターは、構造的にエレベーターを整備することが困難であり、バリアフリー化が課題となっておりますが、環境の変化により、エレベーターの設置工事を含む大規模改修工事を行うことができたため、今後は他の市民センターと同様のマネージメントの方向性で検討して参ります。	無し
151	38ページ 地域別全体行程表 新松戸地域	(松戸市立地適正化計画との関連について)松戸市立地適正化計画の新規誘導施設のうち、高齢者・障害者向け相談センター、児童館機能施設が、何故、基本計画に記載がないのか。	本計画は、既存の公共施設の方向性を示すものであり、立地適正化計画の新規誘導施設は対象に含まれません。	無し
152	40ページ 地域別全体行程表 東部地域	東松戸まちづくり用地活用事業では新規施設として「小中高生のためのコミュニティ・多目的スペース」が提案されていたが、行程表にないことから基本計画では取り下げたと理解してよいか。もし、政策課題として復活するのであれば、具体的な政策課題を明記すべき。	本計画は既存の公共施設の方向性を示すものであり、移転先として東松戸まちづくり用地活用事業を記載しております。なお、東松戸まちづくり用地活用事業の計画に変更はございません。	無し
153	40ページ 地域別全体行程表 東部地域 分類:市民センター 分類:小学校 分類:中学校	市民センター、小中学校の「マネージメントの方向性」が、他地域の人口減少・年少人口減少地域と同じような記述になっているが、これでよいのか。公共施設等総合管理計画では、東部地区は年少人口増の人口推計がでているが。	東部地域の小学校・中学校は、他地域と同様に、児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討する方向性としています。	無し
154	40ページ 地域別全体行程表 東部地域 47ページ 東部地域(東松戸地域)における市民参加による検討プロセスの概要	ファインシティ東松戸のマンションを購入したのは、隣に支所、図書館等の公共施設が出来る予定とパンフレットに記載されましたので決めてになりました。今の東部支所は、駅からはかなり離れていてとても不便。さらにかなり老朽化している。東部スポーツパークも図書館、会議室はエレベータの無い2階で、催しをやるうとしても、階段がネックになり参加者が集まりにくい。早急に公共施設を東松戸に建てて欲しいです。	東松戸まちづくり用地活用事業においては、図書館地域館、東部支所、小中高生の居場所や子どもの学習スペースを有する施設の整備に向け、具体的な設計等の準備を始めます。平成33年度中の施設完成を目指します。	無し
155	40ページ 地域別全体行程表 東部地域 47ページ 東部地域(東松戸地域)における市民参加による検討プロセスの概要	今回の65街区東松戸まちづくり事業の応募事業者による提案に賛成していました。にもかかわらず、一部の不透明な反対の声を反映し提案を不採用とした結果には落胆しています。収支の健全性から見ても全員が満足する施設を作ることは難しく、ある程度の不満が出てくるのは当然だと思います。当初の予定通りの図書館含む複合施設を期限を定めて確実に建設するため、仮に1社入札だとしても最低限の入札価格を上回っていれば提案を採択するスキームを設定し、民間企業の参画意欲を損なわないような仕組みを構築するべきだと思います。松戸市東部地域は子育て世代の流入が著しく、例えば飲食店等の周辺環境が追いついていない現状があるため、先の応募にあったようなカフェ等を併設した公共施設はまちづくりの発展に寄与するものと考えております。よろしくおねがいします。	東松戸まちづくり用地活用事業においては、図書館地域館、東部支所、小中高生の居場所や子どもの学習スペースを有する施設の整備に向け、具体的な設計等の準備を始めます。平成33年度中の施設完成を目指します。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
156	40ページ 地域別全体行程表 東部地域 47ページ 東部地域(東松戸 地域)における市 民参加による検討 プロセスの概要	2017年10月頃から東松戸に住みはじめて、現在0歳の子供を子育て中です。最近では東松戸にある子育て支援センターを利用しています。東松戸に住んでみて一番感じることは働き世代のファミリーが非常に多いことです。そして少子化はどこへ？と思ってしまうほど子供が多くなることです。一つのマンションで平成30年生まれの子供が90人以上いると聞いて驚きました。しかし、これだけ地域の人口が増えて電車の乗り換えも混雑しているのにも関わらず、町としての発展はまいちだと感じています。東部支所が移転し、図書館が入った複合施設ができるという案があると知り、町の発展に期待し楽しみにしておりました。人口が増えて、これからを担う子供達が多くなっているなか何故複合施設の案が進んでいないのでしょうか。図書館は子供達の教育に非常に重要だと感じています。東部スポーツパークは東松戸駅から自転車で行くのに歩道がないうえ車通りが激しい道を行かないといけません。子供達の為にも東松戸用地活用事業を進めてください！確実に地域の人が集まるスポットになります。宜しくお願いします。	東松戸まちづくり用地活用事業においては、図書館地域館、東部支所、小中高生の居場所や子どもの学習スペースを有する施設の整備に向け、具体的な設計等の準備を始めます。 平成33年度中の施設完成を目指します。	無し
157	40ページ 地域別全体行程表 東部地域 47ページ 東部地域(東松戸 地域)における市 民参加による検討 プロセスの概要	パブリックコメントとして、意見させていただきたくメールしました。 当方東松戸在住です。 一昨年前に船橋市より転居して参りました。 東部支所の移転計画があったとのことと白紙になったようですが、マンションや、子育て世帯が増している東松戸。 私も子育て真っ最中の身として述べさせていただきますと、なぜ計画が白紙になったのか、住民自体があまり理解しておらず(おそらく説明不足)、それにより納得しておりません。 平日昼間、このあたりを歩くとベビーカー連れ親子にかなり出くわします。 65街区あたりは、のんびりした雰囲気のもと、子育て世代が多く移り住んできています。 今現在の東部支所、もしくは図書館支部のあたりは、駅からも遠く、場所自体があまり転居されてきた方々には知られておらず、辺鄙な場所にあるため、人通りがないのであまり通りたいと思わず、公共施設のある場所として相応しくありません。 支所や図書館が出来るかと聞いて楽しみに松戸市に転居してきたものとしてはがっかりで、また船橋市に戻りたい、と思うのが正直なところです。 本を借りるのはわざわざ他の市まで通っています。 65街区の当初計画されていた東部支所の移転計画ですが、ぜひもう一度ご検討願いたいです。 他の市でいえば、政令指定都市ですが(たとえば兵庫県神戸市)では、ニュータウンを拠点に展開される公共施設の再編成に乗り出そうとしています。神戸市は、ニュータウン開発や、山部開発を得意としてきています。 もちろんそれは、人口増加(特に子育て世代)に伴うものもあれば、ニュータウン結成後数十年が経ち、利用しやすいまちづくりにつながるため、駅周辺を再編成しようとする動きもあります。 東松戸の65街区は、東松戸駅から徒歩五分圏内でもあり、道は平坦、利便性もよいです。 ぜひこの機会に、65街区東部支所移転の計画の再構築をご検討願います。	東松戸まちづくり用地活用事業においては、図書館地域館、東部支所、小中高生の居場所や子どもの学習スペースを有する施設の整備に向け、具体的な設計等の準備を始めます。 平成33年度中の施設完成を目指します。	無し
158	40ページ 地域別全体行程表 東部地域	地域に密着している施設について 市長が地域の意見を聴くを設定し時間をかけて検討することが必要です。 町会の役員、各会の代表の人たちの意見であり…地域の皆さんの意見を集約していないように思われます。 小中学校は地域に開放され災害避難所としては重要な位置をめています。 しかし、東部地域の小学校は老朽化がひどく、せまく、トイレも洋式ではなく、トイレの故障が多く、先生、職員のみなさんも大変なことと思います。夏は暑く冬が寒く…児童館がない地域はとくに急いで施設改善してほしい。 東部地域は人口が増え、子どもたちも増えています。増えていることはとてもうれしい事です。子どもたちが休日、放課後自由に遊べる児童館を早急に設置してほしい。 現在子どもたち、小中高生は各家庭の庭先、コンビニの喫茶コーナーで過ごしている子どもたちを見受けます。スマホをいじり、貴重な放課後が子どもたちの成長になっているのか、気になります。児童館、指導員を配置する…どの地域も緊急の課題です。 ぜひ、放課後、地域を市長さんまわってみてください。 東部地域は急激に緑地が激減しています。 緑地を残すこと、固定資産税の軽減、手放される農地をできるだけなくし、農家の後継者と懇談する。近隣の近郊都市(例えば松戸市と似ている東京都清瀬市を視察する。立川市の緑地を残そうとする施策)、これ以上の緑地破壊にブレーキをかけてほしい。 市長の松戸市の将来を考えているのか、大型開発をやり大赤字の松戸市になり市民に役に立つのか、その時に市長さんは責任を取ってくれるのか…こんなことも地域で話題になっています。大型開発には時間をかけて検討し、市民に役に立たないものはやめてほしい。もっと地域に足を運び一般市民の声を聴いて欲しい。	小中学校は、個別基本方針に則り、当面は学校施設のメンテナンス、トイレの洋式化等を進めて参ります。 また、東松戸まちづくり用地活用事業においては、図書館地域館、東部支所、小中高生の居場所や子どもの学習スペースを有する施設の整備に向け、具体的な設計等の準備を始めます。 なお、頂いたご意見は多岐にわたっておりますので、関係部局へ情報を提供して参ります。	無し
159	40ページ 地域別全体行程表 東部地域	東松戸は電車での利便性が高く、また昨今の状況から、移動手段として自家用車を活用しない住民が増加していると考え。公共施設についても交通機関の利便性を優先に再配置するべきであると考え。たとえば東松戸においても、図書館、郵便局、役所(分室)、都市銀行などを駅周辺に配置してほしい。	既存の東部支所及び図書館東部分館を東松戸まちづくり用地活用事業として、図書館地域館、東部支所、小中高生の居場所や子どもの学習スペースを有する施設の整備に向け、具体的な設計等の準備を始めます。	無し
160	40ページ 地域別全体行程表 東部地域	東松戸のファインシティ東松戸の敷地南東面隣地には図書館機能など有した松戸市の公共施設の建設計画が予定されているとマンション販売時に売主より説明があり楽しみにしてました。現在の東部支所は老朽化しており、駐車場も狭く、不便です。当マンションは若夫婦も多く公共施設及び郵便局の立地を是非ともお願いします。	東松戸まちづくり用地活用事業においては、図書館地域館、東部支所、小中高生の居場所や子どもの学習スペースを有する施設の整備に向け、具体的な設計等の準備を始めます。 平成33年度中の施設完成を目指します。	無し

	該当箇所	内容	回答	計画への修正
161	40ページ 地域別全体行程表 東部地域 分類: 体育館等	東部スポーツパークについて、現施設の長寿命化を図ると記載がありますが、現施設は図書館施設と一体化した建物であるため、図書館の移転に伴い建物自体の機能が変化することが予測されます。従って、単なる長寿命化ではなく、図書館・会議室部分の改築や、プールも含めたスポーツジムの施設への転換等も選択肢として検討を行って頂きたいと思っております。	ご意見は、関係部局と情報の共有を図り、個別施設計画等、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無し
162	41ページ～ 第5章 モデル地域 における市民参加型 の公共施設再編 の取組	3つの公共施設再編モデル地域については、それぞれの地元の公共施設の再編について、地元住民と話し合いが進められてきたとのこと。しかし、先に述べた東松戸の公共施設建設計画も、地元住民から反対を受けたと聞いています。何年かかけて話し合ったとのことですが、設計図を示されてから、駐車場が無いことが分かった等、地元住民への説明やお知らせのシステムが機能していないのではないかと思います。 小金原地域と新松戸地域も、公共施設再編モデル地域とのことですが、市民はもちろん、その地域にお住まいの住民にも理解されているとは思えません。私は、以前より、松戸市の「公共施設再編」に興味をもって気にかけてきたのですが、それでも、小金原と東松戸の公共施設再編モデル事業については知りませんでした。 新松戸地域については、先日、地域住民との話し合いが行われたと聞いています。しかし、これから「公共施設再編整備基本計画」を作ろうとしている片方で、松戸市は、新松戸駅の東側地域で土地区画整理事業(高層マンション建設を含む)を進めているのです。どうやら、「公共施設再編基本方針」を策定しているあたりで、新松戸駅東側地域の住民へ「まちづくりアンケート」が行われているのです。担当課が違うとはいえ、同じ行政内の話です。 なにしろ、担当者は、東側地域の住民にたいして、道路や駅前広場や高層マンション建設について説明する時に、そこに公共施設(支所や図書館)ができる可能性があるかのような話もしているのです。 昨年の9月議会では継続となり、任期満了で廃案となった「新松戸東側地域の土地区画整理事業の条例」が、この3月市議会にも再提出される予定です。この土地区画整理事業および高層マンション建設について、地元の賛同を集めようとして、地元町会などから要望の多い、魅力的な公共施設の話をご否定しなかったのだと思います。もともと、今では、「公共施設」とは言わず、「公的施設」と表現を変えています。地元住民は公共施設が減っていくことになる再編計画などを知らないで、新たな公共施設建設への期待が残っているのです。公共施設を減らしていくことを、市民に理解してもらえるようにすると明記してください。	公共施設の改修・建替えに必要な財源が不足する見通しであることから、公共施設の再編整備の推進により総量の最適化や公共施設の適正配置を図るとともに、将来的な財政負担の縮減と平準化を図ることとしています。 また、公共施設の再編は、市民の方々のご理解が必要であることから、シンポジウム・ワークショップを通じて意見交換の場を設けて参りたいと考えております。	無し
163	43ページ～ 3. モデル地域に おける市民参加型 の検討プロセスの 概要	新松戸地域についての記載がないのは何故か。 検討プロセスの方向性は示す必要がある。	「モデル地域における検討の基本的な視点(42頁)」に基づいて、新松戸地域の特性を踏まえた検討プロセスを今後検討して参ります。	無し
164	43ページ～ 3. モデル地域に おける市民参加型 の検討プロセスの 概要	計画は過去を参考にしながらも、将来のことを述べるものである。しかし、いづれも、今まで実施されたことしか書かれていない。 これまでの方法(トークイベント、シンポジウム等)だと、市民参加型には不十分なことは、東松戸他で実証されたはず。 市民参加を推進するための、新たな取り組みを明示すべき。 具体的には、 1)意向調査(アンケート・ヒアリング) 2)自治会・町内会に限らない地縁組織の参加 3)地域外も含めた、公募・NPO・有識者の参加 などで構成される検討委員会等 4)有識者、ファシリテーター、コーディネーターの派遣 等	貴重なご意見として、今後の市民参加型の公共施設再編の取り組みの参考とさせていただきます。	無し

松戸市公共施設再編整備基本計画 (案)

平成 年 月
松 戸 市

目次

第1章 計画の目的・位置付け等	- 1 -
1. 計画の目的	- 1 -
2. 計画の位置付け	- 2 -
3. 計画期間	- 3 -
4. 対象施設	- 4 -
第2章 計画の実行	- 5 -
1. 基本的な方針	- 5 -
2. 個別施設計画との連携等	- 11 -
3. 進捗管理	- 13 -
第3章 維持保全	- 15 -
1. 維持保全の考え方	- 15 -
2. 維持保全体制	- 17 -
第4章 行程計画	- 19 -
1. 全体行程表	- 19 -
2. 施設類型別全体行程表（案）	- 20 -
3. 地域別全体行程表（案）	- 29 -
第5章 モデル地域における市民参加型の公共施設再編の取組	- 41 -
1. モデル地域の選定	- 41 -
2. 基本的な考え方	- 42 -
3. モデル地域における市民参加型の検討プロセスの概要	- 43 -
その他	
■ 用語集	-48-

第1章 計画の目的・位置付け等

1. 計画の目的

松戸市（以下、「本市」という。）では、昭和40年代から50年代前半にかけての人口急増期に多くの公共施設を集中的に整備してきましたが、現在、これらの施設の老朽化が進み、今後、建物や設備の大規模改修や建替えが集中的に発生し、本市財政を圧迫することが懸念されているとともに、人口減少社会の到来、大規模災害等への対応など様々な課題が顕在化しています。

このような状況から、本市では、公共施設の再編整備を重点施策と位置付け、公共施設の最適化に向けた取り組みをスタートさせ、平成26年3月には「松戸市公共施設白書」、平成27年7月には「松戸市公共施設再編整備基本方針」、平成29年3月には「松戸市公共施設等総合管理計画」を策定及び公表し、公共施設の実態や取り巻く状況を踏まえ、市民に対し公共施設の再編整備に係る見通しについて情報共有を図っています。

また、公共施設等総合管理計画における将来更新費の試算では、公共施設の改修・建替えに必要な財源が不足する見通しであることから、公共施設の再編整備の推進により総量の最適化や公共施設の適正配置を図るとともに、将来的な財政負担の縮減と平準化を図ることとしています。

上記を踏まえ、公共施設再編整備基本計画（以下、「本計画」という。）は、公共施設の再編整備は将来に向けたまちづくりの礎であるという認識のもと、公共施設の計画的かつ戦略的な再編整備を推進することを目的として策定します。

2. 計画の位置付け

本計画の位置付けについて、下図に示します。

本計画は、国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」及び「松戸市総合計画後期基本計画^{※1}」に基づき、平成 28 年度に策定した本市の具体的な再編整備計画の大きな方針を示す「松戸市公共施設等総合管理計画」を上位計画として位置づけます。

本計画において、公共施設（ハコモノ）の再編整備に係る短期・中長期的な方向性や取り組み内容を横断的に定めることにより、施設分類別や施設ごとに作成される個別施設計画への展開を図ります。

なお、本計画に示す方針等については、各計画との整合を図るとともに、必要に応じて適切に見直しを行います。

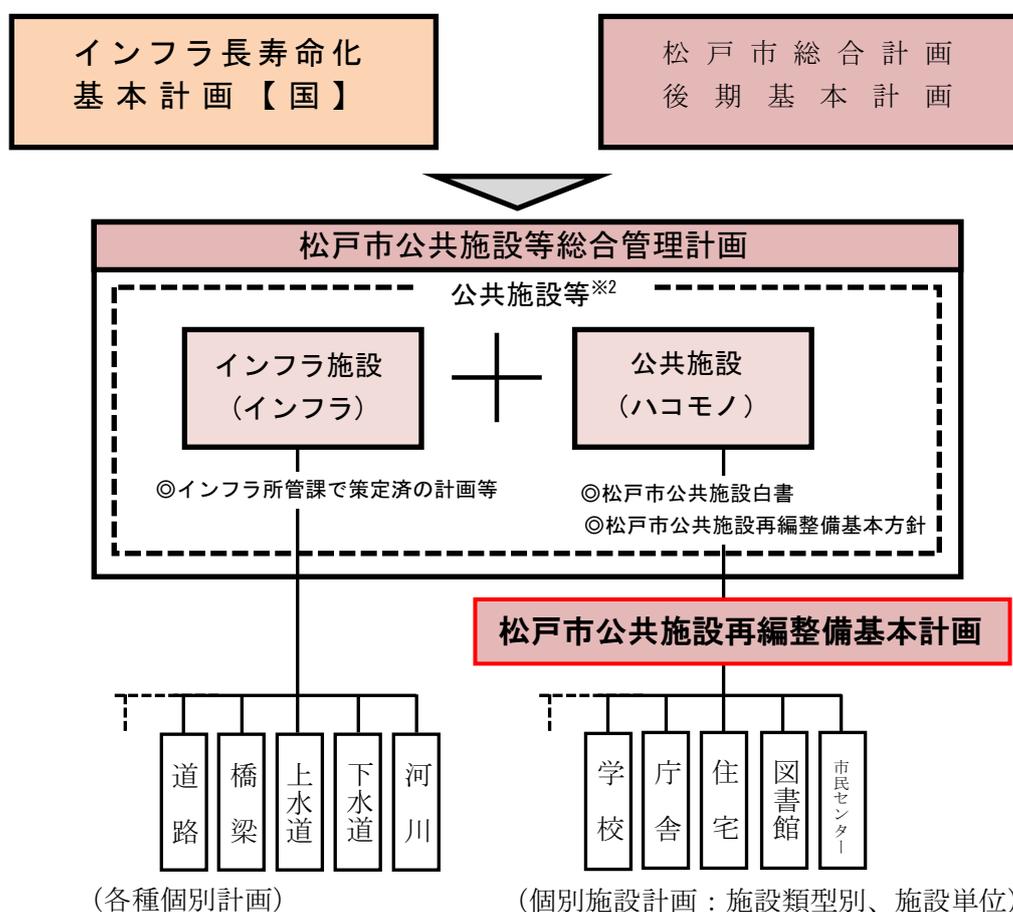


図 1-1 計画体系及び位置付け

※1：松戸市総合計画後期基本計画は、2020 年度（平成 32 年度）までの計画期間となっていますが、その後に策定する(新)松戸市総合計画(仮)とも調整を図りながら実施してまいります。

※2：公共施設等：公共施設、公用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物その他工作物をいう。具体的には、いわゆるハコモノの他、道路、橋りょう等の土木構造物、公営企業の施設（上水道、下水道等）等も含む包括的な概念である。

3. 計画期間

本計画は、公共施設の再編整備に係る重点的な取り組みを早期かつ着実に実行していくことを重視し、10年間（2019年度（平成31年度）～2028年度（平成40年度））を計画期間として定めます。加えて、短期的に検討・実施を行っていく重点的な取り組みと合わせて、将来にわたって継続的に公共施設の再編整備を進めていくために、次期の計画期間を見据えた中長期的な取り組み（概ね10年以降に検討・実施する取り組み）についても定めるものとします。

なお、社会情勢の変化や公共施設等総合管理計画などの関連する計画の策定・改定があった場合には、本計画の進捗状況を検証した上で、適宜見直しを行います。



図 1-2 計画期間

4. 対象施設

本計画の対象は、平成30年10月31日現在の固定資産台帳を基に、道路、橋りょう等のインフラ施設及び防災倉庫等を除いた410施設を対象とします。

表 1-1 公共施設の施設数と延床面積

(平成30年10月31日現在)

大分類	中分類	施設数	延床面積 (㎡)		
			市保有	民間等	
行政サービス	本庁舎	6	28,721.06	24,848.92	3,872.14
	支所	9	3,255.76	2,917.17	338.59
	消防施設	54	19,732.91	19,732.91	0
	その他行政サービス	8	12,967.46	7,468.46	5,499.00
集会	市民センター	17	19,030.05	19,030.05	0
	その他集会施設	2	3,313.25	3,313.25	0
文化	図書館	21	5,071.97	5,071.97	0
	社会教育施設	5	5,946.18	5,946.18	0
	ホール・劇場	3	37,245.59	37,245.59	0
	博物館等	5	7,073.83	7,073.83	0
教育	小学校	45	304,378.08	304,378.08	0
	中学校	20	177,569.11	177,569.11	0
	高等学校	1	16,513.08	16,513.08	0
	その他教育施設	2	6,434.00	6,434.00	0
児童	放課後児童クラブ	45	4,978.84	4,814.84	0
	保育所	17	14,855.56	13,745.32	1,110.24
	その他児童施設	20	1,806.77	1,176.95	629.82
福祉	高齢者対象施設	7	4,484.01	4,484.01	0
	身体障害者対象施設	3	8,033.13	8,033.13	0
保健・医療	病院施設	11	68,296.50	68,296.50	0
	保健センター	4	6,087.00	6,087.00	0
スポーツ	体育館等	8	30,191.20	30,191.20	0
	競技場、球場	3	3,759.61	3,759.61	0
	プール	2	1,967.48	1,967.48	0
公園	公園管理施設等	12	3,168.76	3,168.76	0
住宅	市営住宅	23	99,845.03	84,254.59	15,590.44
環境	クリーンセンター	5	43,904.46	43,904.46	0
	資源リサイクルセンター	2	1,660.30	1,660.30	0
	処分場	1	96.46	96.46	0
その他	自転車駐車場	19	13,179.63	13,179.63	0
	自動車駐車場	1	7,226.40	7,226.40	0
	斎場等	5	4,416.99	4,416.99	0
	その他	24	10,623.84	10,623.84	0
公共施設全体		410	975,834.30	948,630.07	27,040.23

※市保有の延床面積は行政財産、普通財産の面積を示し、民間等の延床面積はリース、民間建物等の面積を示す。

※複合施設で施設専有の延床面積が把握できない場合は、建物を所管している施設の延床面積に計上している。

第2章 計画の実行

1. 基本的な方針

(1) 公共施設の現状と課題

※松戸市公共施設等総合管理計画より

1) 施設の老朽化

本市の7割以上の公共施設は、整備後30年以上を経過し老朽化が進んでおり、今後、集中的に多額の更新等経費（大規模改修や建替え費用）が発生すると見込まれます。

- ・ 老朽化に伴う大規模改修や建替えへの適切な対応が必要となることから、計画的な予防保全等により建物の長寿命化を図るとともに、耐震化やバリアフリー化を行う建物を適切に選定して費用の節減に努めながら安全で安心して利用できる公共施設サービスを提供することが必要です。

2) 施設の配置状況

本市が、これまでに整備を行ってきた市域全域を対象とした施設と対象地域を意識して地域別に配置した施設それぞれの特性を踏まえ、再編整備の手法や時期等を検討していく必要があります。

- ・ 市域全域を対象とする施設は、建物の立地や提供サービスを踏まえ、改修・建替えの時期までの間において、効果的・効率的な再編整備の手法等について検討を行うことが必要です。
- ・ 市内各地域に配置された小学校と中学校は、地域別に配置した施設の合計延床面積の大半を占めていることから、地域拠点としての建物の有効活用等について検討を行うことが必要です。

3) 人口動向への対応

市内各地域の人口増減傾向、年齢構成、市民ニーズ等は、公共施設を集中的に整備した高度経済成長期と比べて変化しているため、将来的な人口動向を踏まえ適切に対応していく必要があります。

- ・ 地域別におおむね各種公共施設が配置されていますが、将来的な地域別の人口動向に対応した建物利用や転用を検討し、適切な提供サービスと効率的かつ市民ニーズに的確に対応した公共施設とすることが必要です。

4) 財政運営への配慮

生産年齢人口の減少による税収の減、老年人口の増加による社会保障費の増等、社会経済情勢の変化に対応した財政運営が求められています。

- ・ 指定管理者制度の活用や外部委託などにより、民間のノウハウの活用とコスト削減を推進するとともに民間施設との適切な役割分担について検討を進めていくことが必要です。
- ・ 使用料収入の適正水準について検討を行い、適切な使用料の徴収により受益者負担を浸透し、公共施設の健全な運営に結び付けることが必要です。

(2) 公共施設再編整備に関する基本方針

公共施設の再編を進めていくため、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設再編整備に向けた取り組みについて、以下の4点を基本方針として掲げます。

【基本方針】 ※公共施設等総合管理計画をもとに一部見直し

①公共施設総量の適正化

将来的な人口動向に配慮し、公共施設の利便性を高めつつ、公共施設の延床面積の5割以上を占める教育施設の適正規模化や多機能化等により、総量の最適化を図ります。

②公共施設の適正配置

既存公共施設は、建物性能や施設機能等に注目するだけでなく、コミュニティや人口構成など地域性も考慮し、地域ごとの公共施設の適正量と機能を見極めた上で、適正配置を図ります。

③新たな施設整備

新規の施設は、既存施設の有効活用や民間施設の活用等の検討も行った上で、新たな政策課題や地域別の人口動向等から必要と認められる場合には整備を行います。

④有効なストック活用

公共施設の再編整備により生じた余剰資産は、他の用途への活用を検討した上で、今後利用見込みのない建物・用地は、良好なコミュニティの維持に配慮した貸付け・売却などを実施し、有効活用を図ります。

(3) 市民との情報共有

公共施設は市民サービスの提供の場であるとの視点に立ち、利用者や地元住民の方への影響を配慮し、適時・適切な情報提供を行い認識の共有に努めます。

また、地域性を考慮したシンポジウムやワークショップ等、市民参加型の公共施設再編整備に向けて、地域のまちづくり活動を支援し、その活動の検討結果を公共施設再編整備の参考にします。

(4) 民間活力（PPP）の導入

公共施設再編整備の推進にあたって、民間による整備（改修・更新）、維持管理・運営が可能なサービスを有する公共施設については、効率的かつ効果的に社会資本を整備するとともに、市民に対する低廉かつ良好なサービスの提供を確保するため、積極的に PPP^{※1}等の民間活力の導入を検討します。

PPP等の民間活力の導入にあたっては、「松戸市 PPP/PFI^{※2}手法導入優先的検討規程」に基づいて、対象事業の選定、PPP/PFIの導入検討等を図っていきます。

※1 PPP：Public-Private-Partnershipの略で、官民が連携して公共サービスの提供を行うスキームのこと。

PFIは、PPPの代表的な手法の一つであり、PFIの他、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営（DBO）方式、包括的民間委託等も含まれる。

※2 PFI：Private-Finance-Initiativeの略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法である。

【松戸市 PPP/PFI 手法導入優先的検討規程】 ※一部抜粋

（優先的検討の開始時期）

第4条 新たに公共施設等の整備等を行うために基本構想、基本計画等を策定する場合及び公共施設等の運営等の見直しを行う場合のほか、次に掲げる場合その他の公共施設等の整備等の方針を検討する場合に、併せて優先的検討を行うものとする。

- (1) 松戸市公共施設再編整備基本計画の「個別施設計画」を策定又は改定を行うとき
- (2) 「公営企業の経営に当たっての留意事項について」（平成26年8月29日総務省自治財政局通知）第2の「経営戦略」の策定又は改定を行うとき
- (3) 第二号に掲げるもののほか、公営企業の経営の効率化に関する取組を検討する場合
- (4) 公有地の未利用資産等の有効活用を検討する場合
- (5) 公共施設等の集約化又は複合化等を検討する場合

（優先的検討の対象とする事業）

第5条 次の各号に該当する公共施設整備事業を優先的検討の対象とする。

- (1) 次のいずれかに該当する事業その他民間事業者の資金、経営能力及び技術的能力を活用する効果が認められる公共施設整備事業
 - ア 建築物又はプラントの整備等に関する事業
 - イ 利用料金の徴収を行う公共施設整備事業
- (2) 次のいずれかの事業費基準を満たす公共施設整備事業
なお、この基準に該当しない事業であっても、必要に応じて導入を検討する。
 - ア 事業費の総額が10億円以上の公共施設整備事業（建設、製造又は改修を含むものに限る。）
 - イ 単年度の事業費が1億円以上の公共施設整備事業（運営等のみを行うものに限る。）

（対象事業の例外）

第6条 前条の規定にかかわらず、次に掲げる公共施設整備事業を優先的検討の対象から除くものとする。

- (1) 既に PPP/PFI 手法の導入が前提とされている公共施設整備事業
- (2) 競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）に基づく市場化テストの導入が前提とされている公共施設整備事業
- (3) 民間事業者が実施することが法的に制限されている公共施設整備事業
- (4) 災害復旧事業等、緊急に実施する必要がある公共施設整備事業

(5) 多面的な評価の実施

個別施設計画の作成に先立ち、公共施設カルテを作成し、その中で公共施設のハード面やソフト面の現状について、多面的な評価を実施します。

公共施設評価は、既存施設の性能を適切に評価するとともに、施設の運営等にかかるコスト、利用状況等の把握により、再編整備に向けた公共施設総量の適正水準の設定やサービス水準の向上策の検討に活用することを目的に実施します。なお、実施に当たっては「建物性能」「施設機能」「財務」の3つの視点（評価軸）から、評価項目、評価指標を設定し、公共施設カルテにおいて「基礎評価」並びに「総合評価」を行います。

また、評価項目や評価指標の設定は、公平性、適正性、客観性、柔軟性、明確性を担保することとし、市民の皆様にご理解いただき、共にご検討いただけるように努めてまいります。

1) 評価の視点

次の3つの視点から既存公共施設の状況について評価します。

・ハード評価

ア) 建物性能

全ての建物の劣化状況や安全性の確保について、建物の物理的特性や整備内容（劣化、健全度、耐震、バリアフリー化等）などの項目を定め、それぞれの項目ごとに評価指標を示して評価を行います。

・ソフト評価

ア) 施設機能

施設分類別に施設が提供するサービス内容や利用状況について、稼働率や収容能力、アクセス条件などの項目を定め、それぞれの項目ごとに評価指標を示して評価を行います。

イ) 財務

全ての施設の維持管理、事業運営及び収支の状況について、維持管理や運営コストに関するデータ、受益者負担の実績などの項目を定め、それぞれの項目ごとに評価指標を示して評価を行います。

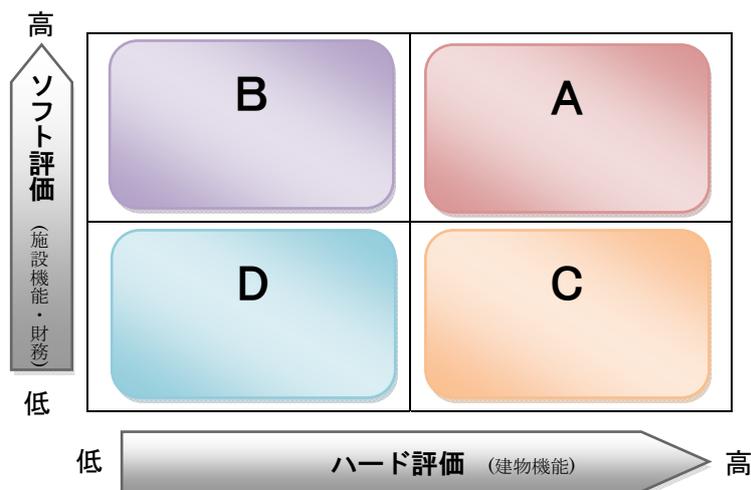
2) 評価の手法（基礎評価と総合評価）

基礎評価と総合評価による公共施設評価は、公共施設カルテの中で以下のとおり進めることとし、公共施設の再編整備に向けた分析・検討材料とします。

ア) 基礎評価

3つの視点から求めた評価データを一覧表として集計した上で、評価データの原単位化（1人当たり面積等）や得点化（偏差値等の算出）により、定量的（客観的）に分析する基礎評価を行います。

基礎評価は、絶対評価（評価データについて基準への適合性を評価するもの）と相対評価（評価データを施設間比較により評価するもの）を評価項目の性質によって使い分けを行うこととし、地域間、施設間での比較をグラフ等を作成して可視化します。



評価結果	再編整備の方向性
A	【ハード評価：高 ソフト評価：高】 ・施設の維持・活用を基本とする。 ・集約化・複合化の受け入れ対象として検討する。
B	【ハード評価：低 ソフト評価：高】 ・改修、建替え等により現状の施設サービスを維持する。
C	【ハード評価：高 ソフト評価：低】 ・転用や民間活用等による管理運営の効率化を検討する。 ・転用後の集約化・複合化の受け入れ対象として検討する。
D	【ハード評価：低 ソフト評価：低】 ・集約化、複合化、施設廃止等を優先的に検討する。

図 2-1 施設評価と再編整備の方向性 (イメージ)

イ) 総合評価

総合評価は、基礎評価の結果を基に、地域や政策上の課題等、数値化が難しい定性的な要素や整備を行った場合の地域への波及効果、将来コスト等を加味し、総合的な観点から施設全体の優先順位や施設同士の効率的な組み合わせ等について評価を行い、施設機能や提供サービスの維持・向上や再編整備に向けた検討・判断材料として活用します。

ただし、地域性や施設の設置目的（公共サービスとしての維持が前提となる施設等）によって評価の基準や考え方が異なることについて留意し、それを提示していく必要があります。

(6) 再編整備の手法

再編整備の手法については、下表に示した一例のように、既存施設の有効活用、新規建物整備への制限など状況に応じた再編整備を検討・実施し、ソフト・ハードの両面から施設としての効率性の向上を図ります。

表 2-1 再編の取り組みの一例

方法	イメージ	説明
集約		同一用途の複数施設を統合し、一体の施設として整備する。
複合		異なる用途の公共施設を統合し、これらの施設の機能を有した複合施設を整備する。
転用		既存の公共施設を改修し、他の施設として整備する。
民間活用		民間が整備した施設に公共が賃料を払ってテナントとして入居する。
		既存施設の管理運営方法の変更やPFI等を活用した事業手法を導入する。

※出典：松戸市公共施設等総合管理計画

2. 個別施設計画との連携等

(1) 全体計画と個別施設計画との連携

本計画は、上位計画である「松戸市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づいて、公共施設の再編整備に係る短期・中長期的な方向性や取り組み内容を横断的に定めることにより、施設分類別や施設ごとに作成される個別施設計画への展開を図ります。

本計画及び今後所管課が作成する個別施設計画（案）については、資産マネジメント推進部門と所管課が連携してPDCAサイクルによる進捗管理を行うことで、適宜計画の見直し・拡充を図ります。

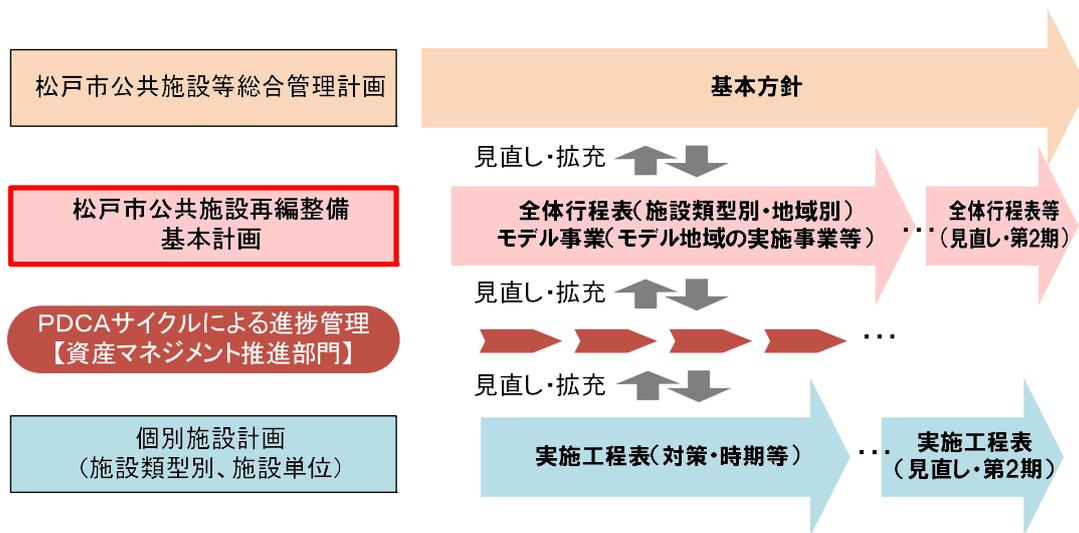


図 2-2 公共施設再編整備基本計画と個別施設計画の連携

(2) 個別施設計画の作成方法

1) 事前準備

本計画の全体行程表に基づいて、個別施設の事業を計画・実施する場合には、これに必要な手続き項目（設計、工事、協議、その他の調整等）とそれらの所要期間や手順、コスト等の洗い出しを行います。

ただし、実施事業等の開始の当初設定は、コストの平準化や効率性、社会情勢、計画の進捗状況などにより変更する必要があるため、これを踏まえて準備する必要があります。

2) 個別施設計画の作成

各施設の所管課は資産マネジメント推進部門と協議のうえ、具体的に取り組むべき実施事業等の内容を定め、所管施設全体で調整を図りながら個別施設計画（案）を作成します。

個別施設に係る具体的な対策内容、実施時期及び対策費用（コスト）は、各所管課が個別施設計画で定めるものとします。

資産マネジメント推進部門は、所管課から提出された個別施設計画（案）について、本計画との整合や進捗管理に係る確認を行い、その結果を適宜所管課にフィードバックします。

各施設の所管課は、個別施設計画（案）を必要に応じて修正し、次期の個別施設計画としてと

りまとめを行います。

なお、公共施設等の再編整備や統廃合に絡む整備については、国やその諮問機関等から手引きや報告等、又は指針が示されており、個別施設計画に係る実施事業等の設定においては、これらの趣旨を踏まえた対応を図ります。

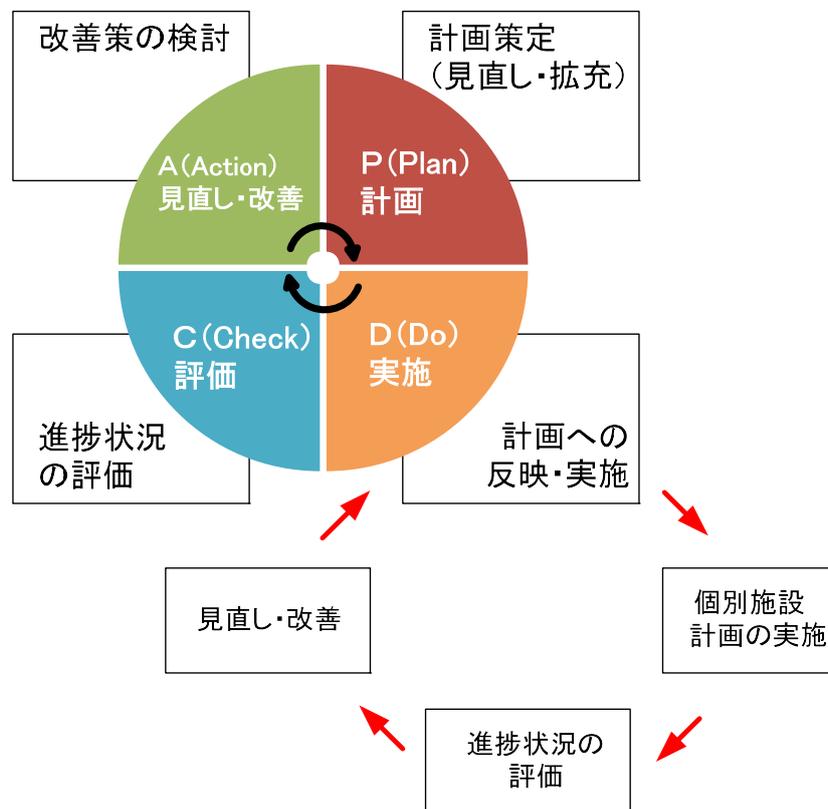
3. 進捗管理

(1) 進捗管理の仕組み

公共施設カルテを整備し、情報の一元化により、共通の物差しで各施設の比較が可能となり、再編整備を進めるうえでの基礎データとして活用、施設の評価や情報の見える化による維持管理コストの縮減につなげていきます。

なお、施設データは、定期的にフォローアップを継続し、施設データを更新・蓄積し、施設総量・総量削減の状況、コスト削減額や利用状況等を把握するとともに、再編整備に向けた取り組みの実効性の検証、進捗管理に活用します。

また、本計画を効果的に推進するため、進捗状況の評価や改善策等を松戸市公共施設再編整備推進審議会で調査審議を行い、これらの検討状況や内容に関する情報を公開し、講演会、シンポジウム、ワークショップなどを開催して周知するとともに、市民の皆様と共に考え、検討しながら進めてまいります。



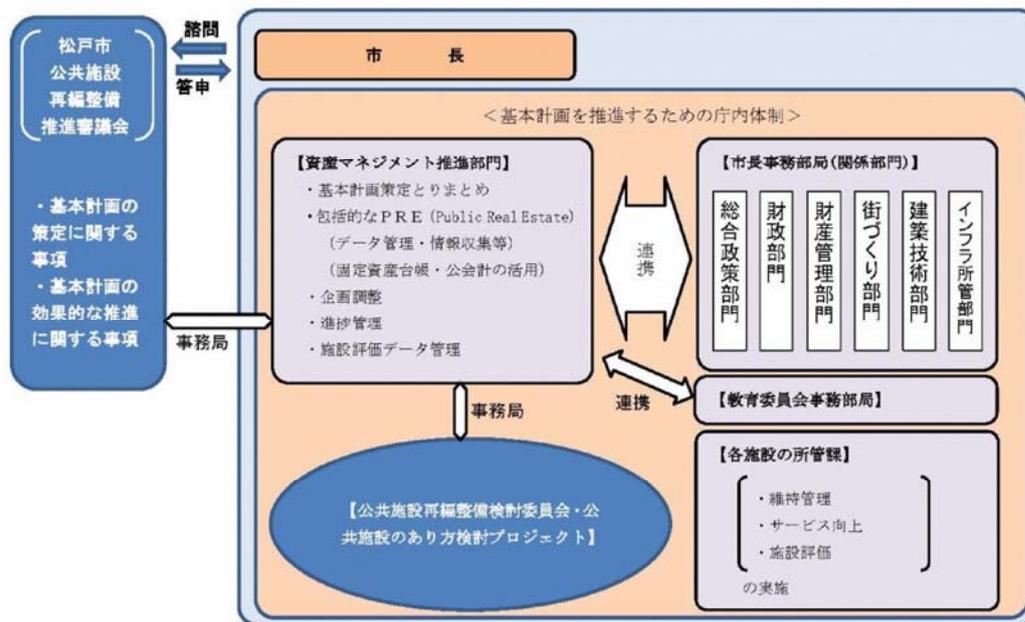
本計画期間内に2回程度、PDCAサイクルによる進捗管理を実施することとします。
また、個別施設計画は所管課でPDCAサイクルによる進捗管理を実施することとします。

図 2-3 公共施設再編整備基本計画と個別施設計画の進捗管理

(2) 進捗管理の体制

1) 全体計画の管理

本計画の進捗管理は、資産マネジメント推進部門が、市長事務局（関係部門）や教育委員会事務局、各施設の所管課との連携の下で公共施設全体の視点に立って統括的に実施します。



※出典：松戸市公共施設等総合管理計画より

図 2-4 公共施設再編整備の実現に向けた推進体制

2) 個別施設計画の管理

再編整備に必要となる個別の実施事業等は、各施設の所管課が作成した個別施設計画に基づいて、各所管課が中心となって実施します。

また、資産マネジメント推進部門は、個別施設計画に係る企画調整、個別施設計画の進捗把握、施設評価のデータ管理、情報収集等について、市長事務局の関連部門や教育委員会事務局と連携して全体の進捗管理を行います。

3) 進捗状況の評価

本計画及び実施事業等の進捗状況の評価については、公共施設再編整備検討委員会や公共施設のあり方検討プロジェクトの中で庁内の横断的な情報共有及び調整を図りながら、実施内容や達成度について総合的な視点から評価します。

4) 成果の公表

本計画の進捗状況の評価結果について取りまとめを行い、市のホームページ等で公表します。

第3章 維持保全

1. 維持保全の考え方

(1) 維持保全の基本的な考え方

公共建築物は、竣工後から経年的に劣化が生じるため、適正な維持保全を実施しない場合には本来の機能が低下して、目標耐用年数以前に建替えなければならない水準に達してしまうこととなります。

本計画では、原則として安心・安全の確保や劣化の回復など機能不全の回避を最優先とします。また、不具合が顕在化する前に修繕等の対策を行う予防保全の考え方を基本として、建物の点検・調査、運営データの分析などにより、建物の状態監視を継続的に行って施設データを蓄積していくことで、最適な保全措置を講じていきます。

大規模改修は、施設や設備の陳腐化によって利用率の低下や施設サービスの提供に支障をきたす場合や積み残しとなっている修繕の一括施工が効率的な場合など、対象施設の状況を鑑みて、個別施設計画に位置付けた上で実施することを基本とし、目標耐用年数や関連事業・対策の設定時期に留意して、実施内容を設定することで、財政負担の抑制を図ります。

また、公共建築物の維持保全においても、公共施設等総合管理計画で定めた公共建築物に関する下記の7つの実施方針を遵守して実行します。

- ① 点検・診断等の実施方針
- ② 維持管理・改修・修繕等の実施方針
- ③ 安全確保の実施方針
- ④ 耐震化の実施方針
- ⑤ 長寿命化の実施方針
- ⑥ 統合や廃止の実施方針
- ⑦ サービス水準向上の実施方針

【公共施設等総合管理計画における公共施設等の管理に関する基本的な考え方（公共建築物）】 ※抜粋

① 点検・診断等の実施方針

建物の維持管理には、日常の清掃、定期的な保守点検、劣化部分の修繕、法により義務づけられている維持管理・検査等があります。

本市では、各施設管理者が建築関係技術職員とともに安全点検や様々な点検等を実施して、建物の状況を把握し、適切な改修や修繕等を計画的に進めるべく施設の維持管理に努めていきます。

② 維持管理・改修・修繕等の実施方針

毎年、施設管理の実務者を対象に維持管理、日常管理の説明会等を開催して管理意識や知識の普及を図っています。

改修・修繕等の予算化にあたっては、法定点検を始めとした諸点検の結果や利用者からの要望等により、緊急度を勘案しながら対応をしていきます。

③ 安全確保の実施方針

今後、集中的に大規模改修・建替えへの対応が必要となることから、計画的な予防保全等により建物の長寿命化を図るとともに、耐震化やバリアフリー化する建物を適切に選定して費用の節減に努めながら安全で安心して利用できる公共施設サービスを提供してまいります。

④ 耐震化の実施方針

現在の耐震基準は、昭和 56 年の建築基準法改正により定められました。それ以前に建築した建物については、基準を満たしていない可能性があることから、個別に耐震診断を行い、必要に応じ耐震改修を行うことにより、耐震性能の確保を図っていく必要があります。

耐震性能は、耐震診断によって得られた構造耐震指標値（以下、「Is 値」という。）により評価されます。一般的には、この Is 値が 0.6 未満の建築物については耐震補強の必要があると判断されます。

本市では、「松戸市耐震改修促進計画」に基づく「市有建築物の耐震化プログラム」により特定建築物（市営住宅を除きます。）及び震災時に応急活動拠点となる建築物については、大地震動に対しても耐震性能に余裕を持たせることを目標とし、Is 値が 0.7 未満の建築物についても耐震補強の対象としています。

耐震化未対応の建物については、計画的に耐震改修を進めていく予定となっておりますが、老朽化に伴う修繕・建替え時期も考慮しながら、整備を進めていきます。

⑤ 長寿命化の実施方針

建物の建替え時まで、利用者が安全・安心に利用できるよう、耐震化の検討や適切な維持保全を図っていきます。

既存の建物の健全度が保たれているものは、適切な長寿命化策を検討し、建替え時期の延伸を図ります。

⑥ 統合や廃止の実施方針

今後、利用の見込めない建物・用地は、貸付け、売却などにより処分を実施し、利活用を図ります。

既存建物における事務スペース等の使用にあたっては、庁内間の横断的な調整により、これまで以上に効率的に使用し、過不足の解消に努めます。

なお、建物の除却を伴う場合には、財政負担を平準化するため、除却債等の活用を検討します。

⑦ サービス水準向上の実施方針

各施設に対する市民・利用者のニーズを把握し、施設機能や提供サービスの維持・向上に向けて対応することで、市民の様々な活動を支える公共施設としての利便性の向上に努めます。

維持管理やサービス提供において民間ノウハウを活用することや適時・適切な保全活動の実施、環境に配慮した省エネ対応の推進などにより、公共施設の維持管理コストの縮減を図ります。

更なるサービス向上に資するよう、民間の類似サービスにおける利用料や公共施設の維持管理コストに見合った料金設定など、施設利用者のサービス享受に対する適切な受益者負担を検討します。

(2) 維持保全の目標

公共施設等総合管理計画における将来更新費の試算では、公共施設の改修・建替えに必要な財源が不足する見通しであることを踏まえ、再編整備の実施による総量の最適化とともに、包括的民間委託など積極的に民間活力の導入を検討し、維持保全費用の削減を図ることを目標とします。

2. 維持保全体制

(1) 維持保全の仕組み

公共建築物にかかる維持保全は、資産マネジメント推進部門と各施設の所管課がそれぞれの役割に応じて点検や診断、運営状態を把握し、公共施設カルテ等により一元化された情報を基に、政策的な必要性を加味しながら、実施内容及び実施時期を決定し、適宜個別施設計画に反映します。

(2) 資産マネジメント推進部門の役割

1) 保全情報の管理・提供

公共施設カルテの情報更新、施設データの運用管理及び個別施設の状態に関する情報提供を行います。

なお、施設データについては、固定資産台帳等との整合や施設データを一元管理するシステムの構築が必要です。

2) 日常点検・法定点検情報の収集

施設保全部門及び各施設の所管課が実施する点検情報を収集し、一元管理します。

3) 施設評価

収集した各所管課からのデータや各施設の所管課へのヒアリング等に基づき、実施すべき維持保全の対象と内容を洗い出し、優先順位付けと概算コストの把握を行います。また、この結果については、各施設の所管課にフィードバックするとともに、財政への連携を図るため、財務部門に報告を行います。

(3) 施設保全部門及び各施設の所管課の役割

1) 日常点検・法定点検の実施

公共施設（公共建築物）の施設・設備に係る日常点検を行うとともに、法定点検等の施設点検・調査を適切に実施し、その結果を資産マネジメント推進部門に報告します。

(4) 各施設の所管課の役割

1) 個別施設計画の作成・運用

前項で規定した方法に基づき、所管施設の個別施設計画の作成を行うとともに、個別施設計画に基づいた運用（詳細設計、工事発注等）を行います。

2) 運営状態の把握

維持管理コストを調査し、施設データにこれらデータを蓄積し、その結果を資産マネジメント推進部門に報告します。

3) 維持保全の実施に係る予算要求

資産マネジメント推進部門が実施する施設評価の結果に基づき、維持保全実施に必要な予算要求の手続き等を行います。

4) 維持保全の実施管理

工事等委託書に基づき、維持保全実施に伴う営繕実務を実行します。

第4章 行程計画

1. 全体行程表

(1) 全体行程表の趣旨

全体行程表は、計画期間における個別施設の再編整備の方向性について、公共施設全体で網羅的に示すロードマップであり、これをもとに再編整備の実行を図ります。

全体行程表は、公共施設の現状整理結果や、公共施設等総合管理計画における取り組み方針、及び市内の関連計画等をもとに、主要なマネジメントの方向性について検討を行い、行程表形式で整理します。

全体行程表の計画期間は、「短期（概ね 10 年以内に検討・実施）」と「中長期（概ね 10 年以上に検討・実施）」に区分して、各主要な施策の事業実施の大まかな流れを整理しました。

(2) 全体行程表の構成

全体行程表の作成にあたっては、下記の視点に基づき、施設類型別の全体行程表と地域別の全体行程表の 2 パターンの作成を行いました。

種別	活用の視点
施設類型別全体行程表	施設類型別に整理することで、市内で担当となる所管課を明確にするとともに、所管課が本計画に基づいて今後実施が想定される個別施設計画や個別事業の実施に向けた検討や進捗管理に活用する。
地域別全体行程表	市域全域を対象とする施設及び市内 9 地域別に対象地域を意識して配置した施設について、個別施設単位で明示されているマネジメントの方向性を地域単位で明確にすることで、市民参加手続きを通じた地域との合意形成に向けた取り組みの検討など、地域マネジメントの推進に活用する。

2. 施設類型別全体行程表（案）

施設類型別の全体行程表（案）について、次頁以降に示します。

なお、施設類型の区分については、公共施設等総合管理計画における施設類型（大分類・中分類）に準拠します。

■ 施設類型別全体行程表（案）

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性（案）	全体行程表	
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以上に検討・実施)
行政サービス施設	本庁舎	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(大半の棟が建設後30年以上を経過)	市役所庁舎 ・新拠点ゾーン(相模台)の中で検討しています。	●市役所庁舎は、庁舎機能の維持を基本として、新拠点ゾーン(相模台)の検討に合わせて更新と機能集約を図ります。(PPP導入を検討)		
	支所	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(8支所中6支所が建設後30年以上を経過)	支所 ・目標耐用年数を目途に再配置を検討します。(集約化や民間施設の活用等)	●東部支所は、東松戸まちづくり用地活用事業による複合施設への機能移転と旧施設の活用を検討します。 ●矢切支所は、総合福祉会館と二十世紀が丘消防署の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。 ●東部支所及び矢切支所以外の支所については、目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。(集約化や民間施設の活用等)	 	
	消防施設	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(消防局庁舎、消防署の大半が建設後30年以上を経過)	消防局 ・現施設の長寿命化・更新を図ります。 二十世紀が丘消防署 ・総合福祉会館と矢切支所の複合化による建替えを図ります。 消防署 ・3方面本部10消防署の配置を基本に、現施設の長寿命化・更新を図ります。 消防センター、消防訓練センター ・個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ・消防センター(消防団)については、軽量化による更新を図ります。	●消防局は、機能維持を基本として、施設の長寿命化・更新を図ります。 ●二十世紀が丘消防署は、総合福祉会館と矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。 ●消防センター、消防訓練センターは、機能維持を基本として、優先度を検討の上、現施設の長寿命化・更新を図ります。(消防センターの更新は軽量化による建替え)	 	
	その他行政サービス施設	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ＜勤労会館・女性センター＞ ・市民センターと類似する集会機能を有しています。 ・老朽化が進行しています。(建設後30年以上を経過)	その他行政サービス施設 ・目標耐用年数を目途に再配置を検討します。(集約化や民間施設の活用等)	●勤労会館・女性センターは、機能確保のあり方を検討します。		
集会施設	市民センター	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・稼働率が高い時間帯等ありますが、施設全体の稼働率は低い状況です。 ・市民センターの多くが図書館分館と併設しており、それらは8割以上が建設後30年以上を経過しています。	市民センター ・目標耐用年数を目途に再配置を検討します。(集約化や民間施設の活用等) ・学校施設等との集約・複合化を図ります。(災害時における防災拠点(収容避難所)としても期待できる) ・軽量化による更新を図ります。 ・事業手法を検討します。(民間活力導入など)	●市民センターの更新に当たっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ●明市民センターは民間施設へ移転します。 ●運営方法を検討します。	 (2019年度中の移転予定) 	

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性(案)	全体行程表																									
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以上に検討・実施)																								
	その他集会施設	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ＜まつど市民活動サポートセンター＞ ・市民センターと類似する集会機能を有しています。 ・稼働率が低い状況です。 ・老朽化が進行しています。(建設後30年以上を経過)	まつど市民活動サポートセンター ・総合福祉会館の老朽化に伴う、建替えにて複合化を図ります。	●まつど市民活動サポートセンター(総合福祉会館内)は、総合福祉会館と二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。																										
文化施設	図書館	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・類似都市と比較して、施設数は2倍ですが、蔵書数は半分程度です。 ・図書館分館は併設施設であり、8割以上が建設後30年以上を経過しています。(分館の多くが市民センターとの複合施設)	【参考:松戸市図書館整備計画(H27.5)抜粋】 第6章 施設整備及び管理運営の考え方 (1) 施設整備 ●中央館等の具体的な図書館整備の計画については、今後、公共施設の再編等も含め、松戸市の他の計画に合わせて総合的な視点で検討します。 ①規模及び施設の構成等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>構成</th> <th>規模</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央館</td> <td>調査・研究支援機能 課題解決支援機能 交流・学習支援機能 収集・保存機能</td> <td>蔵書100万冊以上 書架・閲覧席のほか 交流及び、生涯学習支援に必要なスペース等</td> </tr> <tr> <td>地域館</td> <td>課題解決支援・地域交流機能 貸出・情報提供機能</td> <td>蔵書5万冊以上</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td>貸出・情報提供機能</td> <td>蔵書5万冊未満</td> </tr> </tbody> </table> ②配置 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>配置</th> <th>利用圏域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央館</td> <td>図書館サービスの中核施設として「にぎわい」と「交流」を重視し、多くの人が集まる松戸駅周辺に整備(松戸駅周辺の整備計画との整合性を図る)</td> <td>市内全域</td> </tr> <tr> <td>地域館</td> <td>比較的広域の利用を想定し、公共交通機関からの利便性を考慮する</td> <td>2km以上</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td>日常生活圏内での利用を想定</td> <td>2km未満</td> </tr> </tbody> </table> ●市民の視点に立った運営を進めるとともに、市民参加のしくみを検討します。 ●図書館像を実現するためのサービス内容や運営体制の見直し、施設の老朽化や本市の財政事情を踏まえた継続的かつ安定的な図書館経営などについて、多角的に検討します。 ①市民の声を反映した運営 ②市民との協働 ③効果的・効率的な管理運営 ④図書館評価 ⑤図書館運営に関する情報提供 ⑥危機管理 図書館本館 ・新拠点ゾーン(相模台)の中で検討します。	施設区分	構成	規模	中央館	調査・研究支援機能 課題解決支援機能 交流・学習支援機能 収集・保存機能	蔵書100万冊以上 書架・閲覧席のほか 交流及び、生涯学習支援に必要なスペース等	地域館	課題解決支援・地域交流機能 貸出・情報提供機能	蔵書5万冊以上	分館	貸出・情報提供機能	蔵書5万冊未満	施設区分	配置	利用圏域	中央館	図書館サービスの中核施設として「にぎわい」と「交流」を重視し、多くの人が集まる松戸駅周辺に整備(松戸駅周辺の整備計画との整合性を図る)	市内全域	地域館	比較的広域の利用を想定し、公共交通機関からの利便性を考慮する	2km以上	分館	日常生活圏内での利用を想定	2km未満	●図書館本館は、新拠点ゾーン(相模台)の検討に合わせて更新を図ります。(PPP導入を検討) ●学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。 ●管理運営形態を検討します。(指定管理者制度等) ●図書館東部分館は東松戸まちづくり用地活用事業による複合施設へ地域館として拡張移転します。	 	
施設区分	構成	規模																												
中央館	調査・研究支援機能 課題解決支援機能 交流・学習支援機能 収集・保存機能	蔵書100万冊以上 書架・閲覧席のほか 交流及び、生涯学習支援に必要なスペース等																												
地域館	課題解決支援・地域交流機能 貸出・情報提供機能	蔵書5万冊以上																												
分館	貸出・情報提供機能	蔵書5万冊未満																												
施設区分	配置	利用圏域																												
中央館	図書館サービスの中核施設として「にぎわい」と「交流」を重視し、多くの人が集まる松戸駅周辺に整備(松戸駅周辺の整備計画との整合性を図る)	市内全域																												
地域館	比較的広域の利用を想定し、公共交通機関からの利便性を考慮する	2km以上																												
分館	日常生活圏内での利用を想定	2km未満																												

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性(案)	全体行程表	
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以上に検討・実施)
	社会教育施設	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ＜公民館、タウンスクール根木内、青少年会館、青少年会館樋野口分館＞ ・市民センターと類似する集会機能を有しています。 ・青少年会館樋野口分館は、稼働率が低い状況です。 ・公民館、タウンスクール根木内、青少年会館は、老朽化が進行しています。(建設後30年以上を経過)	公民館 ・総合福祉会館の老朽化に伴う、建替えにて複合化を図ります。 社会教育施設(青少年会館ほか) ・個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ・目標耐用年数を目途に、需要動向に応じて、社会教育機能や規模の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ● 公民館(総合福祉会館内)は、総合福祉会館と二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。 ● 青少年会館は、新松戸プールを含めた近隣公共施設との複合化と合わせて機能確保のあり方を検討します。 ● 管理運営形態を検討します。(指定管理者制度等) 		
	ホール・劇場	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・類似都市(柏市、市川市、船橋市、川口市、所沢市、藤沢市)平均と比較して、施設数、ホール定員数とも約1.5倍です。 ・3施設中2施設は老朽化が進行しています。(市民会館:建設後50年以上、市民劇場:建設後30年以上)	市民会館 ・新拠点ゾーン(相模台)の中で検討します。 文化会館 ・現施設の長寿命化・更新を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民会館は、新拠点ゾーン(相模台)の検討に合わせて更新と機能集約を図ります。(PPP導入を検討) ● 市民劇場は、目標耐用年数を目途に、統廃合・用途転用を検討します。(PPP導入を検討、興業目的に応じたホール機能の見直し等) ● 文化会館は、個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ● 管理運営形態を検討します。(PPP・指定管理者制度等) 		
	博物館等	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・歴史的建造物(木造)を効率的に保存します。(戸定邸、松雲亭、旧齋藤邸※) ※登録有形文化財(建造物)	博物館 ・現施設の長寿命化・更新を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 戸定邸、旧齋藤邸等は、維持管理・改修の効率化により保存します。 ● 博物館は効率的な維持保全を行い、建替え時期の延伸を図ります。 ● 管理運営形態を検討します。(指定管理者制度等) 		
教育施設	小学校	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・老朽化が進行しています。 【松戸市公共施設等総合管理計画(H29.3)】 ・一部地域(本庁、東部)以外で人口減が予想されています。	公立小中学校 ・軽量化による建替えと長寿命化を組み合わせて再整備を検討します。 ・統廃合を検討します。(2030年度以降に向けて検討) ▶社会情勢の変化や地域の実情に合わせた統廃合を検討します。 ▶学校の更新に当たっては、「長寿命化」ではなく、「軽量化による建替え」を検討します。 ▶長寿命化は、財源の平準化を図ることを目的とします。 ▶統廃合となる学校は、「地域の施設」との複合化を図り、「総合型スポーツ・教育・福祉・コミュニティ施設」として、地域における多世代交流の核となるよう、方向性を研究します。 ・学校施設の共同利用を検討します。 学校施設等(地域に密着した施設) ・当面、学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ・今後10年後から本格化する小中学校の建替え時期に地域の施設、図書館、会議室等を校内に設置し、学校と施設(地域密着)の複合化を図ります。 ・当面は、学校施設のメンテナンス、トイレの洋式化等を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当面は、学校施設の維持(メンテナンス)とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 ● 学校の更新に当たっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設(市民センター、図書館等)との複合化を検討します。 ● 東部小学校・第五中学校において、施設の共同利用を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。 		

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性(案)	全体行程表	
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以降に検討・実施)
	中学校	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・ 老朽化が進行しています。 【松戸市公共施設等総合管理計画(H29.3)】 ・ 一部地域(本庁、東部)以外で人口減が予想されています。		<ul style="list-style-type: none"> ● 当面は、学校施設の維持(メンテナンス)とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。 ● 学校の更新に当たっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設(市民センター、図書館等)との複合化を検討します。 ● 東部小学校・第五中学校において、施設の共同利用を検討します。 		
	高等学校	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・ 老朽化が進行しています。	市立高等学校 ・ 市立高等学校の単位制への変更に合わせて検討しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 市立高等学校の単位制への変更に合わせて、規模や機能の適正化を図ります。 		
	その他教育施設	学校跡地を有効活用します。 (旧根木内東小学校、旧古ヶ崎南小学校)	その他教育施設 ・ 用途廃止後の各施設の有効活用を検討しています。(売却、借地、転用、PPP導入等)	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ施設等の新規機能として個別に検討します。 		
児童施設	放課後児童クラブ	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・ 45施設中31施設は、小学校の余裕教室に設置され、老朽化が進行しています。	放課後児童クラブ ・ 1学区につき1施設を原則に設置します。 ・ 今後10年後から本格化する小学校の建替えに合わせて検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当面は、放課後児童クラブの維持を基本に、長寿命化を図ります。 ● 小学校の再編計画と合わせて、再配置を検討します。 		
	保育所	【公共施設データより】 ・ 公立保育所(17所)の老朽化が進行しています。	公立保育所 ・ 10年間(2030年頃まで)は現状維持します。 ・ 今後10年間の保育需要を見極めて、2030年以降、17所から9所に削減します。(想定) (将来的な方向性としては、「維持する保育所」と「閉所・民営化または、他の児童施設への転用」する施設を明確にする必要がある。) ▶ フルスペック保育所：動向を慎重に見極め整備 ▶ 小規模保育所と幼稚園の預かり保育で対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。(建替えが必要な場合は民間保育園として建替え) ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所(園)の計画的な定員管理による再配置を検討します。(民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等) 		
	その他児童施設	【公共施設データより】 ・ 一部施設で老朽化が進行しています。(常盤平児童福祉館、小金原幼児教室)	【参考：子ども総合計画(H27.3)、子どもの未来応援プラン(H30.3)】 児童館機能施設 ・ 児童館、中高生の居場所等の整備を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存施設については、少子化の進展など、今後の児童数の動向や需要を踏まえた上で、目標耐用年数を目途に再配置を検討します。(集約化、他施設との複合化等) ● 児童館機能施設の整備は、他施設の整備等に合わせて統合等も含めて個別に検討します。 		

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性(案)	全体行程表	
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以上に検討・実施)
福祉施設	高齢者対象施設	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・ 老朽化が進行しています。(約6割が建設後30年以上を経過)	高齢者対象施設 ・ 目標耐用年数を目的に、需要動向に応じて、高齢者福祉機能や規模の適正化を図ります。 矢切老人福祉センター ・ 総合福祉会館の老朽化に伴う、建替えにて複合化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 矢切老人福祉センター(総合福祉会館内)は、総合福祉会館と二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。 ● 管理運営形態を検討します。(PPP・指定管理者制度、民営化等) ● 六実高柳老人福祉センターは、現清掃施設建設に伴う諸経過のうえに建設されたため、新たな清掃施設整備に併せ、需要動向に応じて、現施設の長寿命化・更新または他機能施設の整備を検討します。 		
	身体障害者対象施設	[公共施設データより] ・ 旧生きがい福祉センターは、老朽化が進行しています。	こども発達センター、障害者福祉センター ・ 目標耐用年数を目的に、需要動向に応じて、障害者福祉機能や規模の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● こども発達センターと障害者福祉センターは、健康福祉会館の改修に合わせて規模や配置等を検討します。 ● 旧生きがい福祉センターは、施設管理を含む今後のあり方を検討します。 		
保健・医療施設	病院施設	[公共施設データより] ・ 病院施設(松戸市立総合医療センターを除く)の老朽化が進行しています。(大半の棟が建設後30年以上を経過)	<松戸市病院運営審議会> ・ 「松戸市立総合医療センター」を中心とした松戸市病院事業のあり方を検討します。 松戸市立総合医療センター／東松戸病院・梨香苑	<ul style="list-style-type: none"> ● 東松戸病院・梨香苑は、目標耐用年数を目的に、需要動向に応じて、新設した松戸市立総合医療センターとの機能連携や集約化など、公共医療・保健機能の必要規模の適正化を図ります。 ● 民間機関のサービス状況を踏まえた管理運営形態を検討します。(指定管理者制度、民営化等) 		
	保健センター	[公共施設データより] ・ 4施設中3施設(常盤平保健福祉センター、常盤平保健福祉センター六実保健室、小金保健福祉センター)は、他の公共施設等との複合施設です。	保健センター ・ 目標耐用年数を目的に、需要動向に応じて、公共医療・保健機能の必要規模の適正化を図ります。(統廃合、規模縮小等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ● 常盤平保健福祉センターは、健康福祉会館の改修に合わせ、規模や配置等を検討します。 		
スポーツ施設	体育館等	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・ 一部施設は稼働率が低い状況です。 ・ 老朽化が進行しています。(約5割が建設後30年以上を経過)	【松戸市公共施設等総合管理計画(H29.3)】 (1) 施設整備 ● 中核施設を中心にコアとなる機能を集中させるとともに、地域的均衡を考慮しつつ必要な施設を適正に配置します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ● 新規機能として、新種目、サッカー場等について個別に検討します。 		
	競技場、球場	[公共施設データより] ・ 老朽化が進行しています。(3施設全てが建設後40年以上を経過)	①松戸運動公園を中核施設として位置づけ、スポーツ中核機能の拡充を図ります。 ・ 建物等の建替えには高額な経費を要することから、老朽化した既存施設の耐震・長寿命化(空調・LED化)を図り、中長期の再整備に向けた検討を進めます。 ②地域の各種スポーツ施設の有効利用を促進します。 ・ 地域の体育館、体育室、テニスコート、野球場、プール、多目的グラウンドや、学校体育施設などをネットワーク化し、施設の有効利用を促進します。 ・ これらの施設については、中長期的に建物性能や施設機能等に着眼した多面的な評価を行い、本市における施設の適正量を見極めた上で、必要な改修整備を行います。 優先順位としては利用者の安全対策、防災拠点としての機能維持を最優先とし、その後大規模な改修を行ってこなかった施設の整備を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新松戸プールは、青少年会館を含む近隣公共施設との複合化と合わせて、機能確保のあり方を検討します。 ● 管理運営形態を検討します。(民営化、PPP・指定管理者制度等) ● クリーンセンター(体育室・温水プール)は、現清掃施設建設に伴う諸経過のうえに建設されたため、新たな清掃施設整備に併せ、需要動向に応じて、現施設の長寿命化・更新または他機能施設の整備を検討します。 		

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性(案)	全体行程表	
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以上に検討・実施)
	プール	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(新松戸プールは建設後30年以上、運動公園プールは建設後40年以上を経過)	(2) 管理運営 ●民間事業者のノウハウを活用する指定管理者制度を有料施設で既に導入しておりますが、さらに多くの機会に大学や民間企業、NPO等とのスポーツ振興における連携を図ります。 ●学校体育施設のさらなる有効活用を図るため管理区分を明確にして、利用者全員が管理運営を行えるよう運営面での諸条件の整備を行います。 ●市内の公共スポーツ施設が不足していることから、民間施設との役割分担と連携を図ります。 スポーツ施設 ・目標耐用年数を目途に、需要動向に応じて、各施設の機能や規模の適正化を図ります。(PPP導入を検討)。			
公園施設	公園管理施設等	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(12施設中3施設が建設後30年以上を経過)	公園管理施設等 ・目標耐用年数を目途に、付属する公園の需要動向に応じて、各施設の機能や規模の適正化を図ります。	●個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ●管理運営形態を検討します。(Park-PFI・設置管理許可制度・PPP・指定管理者制度等)		
住宅施設	市営住宅	【松戸市公共施設白書(H25.3)】 ・23施設のうち6施設は民間住宅等の借上げ方式で実施しています。 ・市が保有する市営住宅は老朽化が進行しています。(約6割が建設後30年以上を経過)	(1) 施設整備 ●市営住宅の戸数を確保していくため、改修などを随時行っていくなど、既存ストックを活用していきます。 ●老朽化した市営住宅については、耐震改修などの対応策を実施するとともに、一部住宅については、住替えを検討していきます。 ●住替えのための政策空家を実施しながら、一定程度の戸数を確保していくとともに、借上住宅の確保や家賃補助(民間賃貸住宅やUR賃貸住宅などの活用)、住宅手当などを検討し、不足が生じないように努めていきます。 (2) 管理運営 ①修繕対応 ●標準修繕周期を踏まえて定期的な点検を行い、必要に応じて適切な時期に予防保全的な修繕等を行うことにより、居住性、安全性等の維持・向上を図り、長期的に活用します。 ②居住性向上型 ●地域の住環境向上に寄与する住まいづくりを実現するため、市営住宅の外壁の景観向上及び落下防止を図るなど外壁改修を実施します。 ③福祉対応型 ●安全で快適な高齢入居者等の住まいづくりを実現するためにバリアフリー化を進めます。 ④長寿命化 ●今後長期的活用を図るべき住棟においては、耐久性の向上や維持管理の容易性向上等の観点から、予防保全的な改善を行います。	●現施設の長寿命化を図り、市営住宅の更新(建替え)は行いません。 ●目標耐用年数を目途に、URや民間住宅を活用し、統廃合を図ります。(借上げ方式の拡充等)		

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性(案)	全体行程表	
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以上に検討・実施)
環境施設	クリーンセンター	[公共施設データより] ・ 老朽化が進行しています。(大半の施設が建設後30年以上を経過)	<p><焼却処理></p> <p>■クリーンセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基幹的整備(平成20年度から平成21年度まで)をすでに終えており、平成31年度まで稼働してまいります。 ● 稼働停止後、焼却処理施設等の清掃施設の建替えを検討してまいります。 <p>■和名ヶ谷クリーンセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基幹的整備(平成24年度から平成26年度まで)、強じん化整備工事(平成30年度から平成31年度まで)を実施し、2029年度(平成41年度)までの稼働を目指します。 <p>■ごみ中継施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クリーンセンターの稼働停止後、市内の焼却施設は、和名ヶ谷クリーンセンター1施設になるため、焼却処理を近隣市、民間事業者へ協力を求めます。 <p>■六和クリーンセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 休止している現在の建築物を解体します。解体後、跡地には仮称リサイクルプラザ(粗大ごみ等処理施設)の建設を進めます。 <p><圧縮梱包処理></p> <p>■日暮クリーンセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基幹的整備を平成30年度から平成31年度にかけて実施してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみの広域処理の検討を進めるとともに、ごみ処理体制の見直しを行い、集約化などを含む更新を図ります。 ● 管理運営形態を検討します。(広域連携、PPP等) ● 粗大ごみ処理機能の集約を図るため、仮称リサイクルプラザ(粗大ごみ等処理施設)の建設を進めます。(PPP導入を検討) ● 「燃やせるごみ」を近隣市・民間事業者へ搬出するためのごみ中継施設の建設を進めます。 ● 目標耐用年数を目途に、日暮クリーンセンターの機能の維持を基本として、長寿命化を図ります。 	    	<p>(2020年3月完成予定)</p> 
	資源リサイクルセンター	[公共施設データより] ・ 老朽化が進行しています。(資源リサイクルセンター)	<p><資源選別処理></p> <p>■資源リサイクルセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常および定期的な点検整備を実施し、施設の適正な処理能力を確保してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源リサイクルセンターの機能は、新設する仮称リサイクルプラザ(粗大ごみ等処理施設)に機能集約を図ります。 		
	処分場	[公共施設データより] ・ 水処理施設の老朽化が進行しています。(日暮最終処分場)	<p>【参考:松戸市ごみ処理基本計画(H30.3一部改定)抜粋】</p> <p>■日暮最終処分場</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 周辺環境に配慮した適正な維持管理の下、埋め立て処分を行ってまいります。また、跡地利用計画についても検討してまいります。 <p>■直営最終処分場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 直営最終処分場の確保の可能性について検討してまいります。 <p>■広域最終処分場の建設促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近隣自治体との連携を図り、国や県に対して働きかけを行ってまいります。 <p>■民間最終処分場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間事業者並びに関係自治体との良好な関係の維持を図り、民間最終処分場の安定的な確保に努めてまいります。 			

施設類型	分類	施設の現状等 ※白書では市民利用施設のみ掲載のため、公共施設データより拡充・整理	個別基本方針 (公共施設等総合管理計画の施設種別ごとの管理計画や関連計画等の方針)	マネジメントの方向性(案)	全体行程表	
					短期 (概ね10年以内に検討・実施)	中長期 (概ね10年以降に検討・実施)
その他施設	自転車駐車場	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(大半の施設が建設後30年以上を経過)	自転車駐車場 ・目標耐用年数を目的に、各駅での需要動向や民間自転車駐車場の整備状況に応じて、規模の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。 ● 管理運営形態を検討します。(PPP・指定管理者制度・民営化等) 		
	自動車駐車場	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(松戸駅西口地下駐車場が建設後30年以上を経過)	【参考:松戸市における駐車場整備に関する基本計画(H24.3)抜粋】 ・都市計画駐車場として、恒久性が担保された松戸駅西口駐車場は、その必要性を踏まえ、今後も機能を保つため適切な維持管理に努めるものとする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現施設の維持を基本として、長寿命化・更新を図ります。 ● 管理運営形態を検討します。(PPP・指定管理者制度等) 		
	斎場等	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(大半の施設が建設後30年以上を経過)	斎場等(主:斎場・北山市民会館) ・現施設の長寿命化・更新を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現施設の長寿命化・更新を図ります。(PPP導入を検討) ● 管理運営形態を検討します。(広域連携、PPP・指定管理者制度等) 		
	その他	[公共施設データより] ・老朽化が進行しています。(大半の施設が建設後30年以上を経過)	その他の施設 ・目標耐用年数を目的に、各施設の需要を踏まえて、統廃合・規模の適正化を図ります。 総合福祉会館 ・老朽化に伴い、複合化による建替えを図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化を図ります。 ● 総合福祉会館は、二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて集約化を図ります。 		

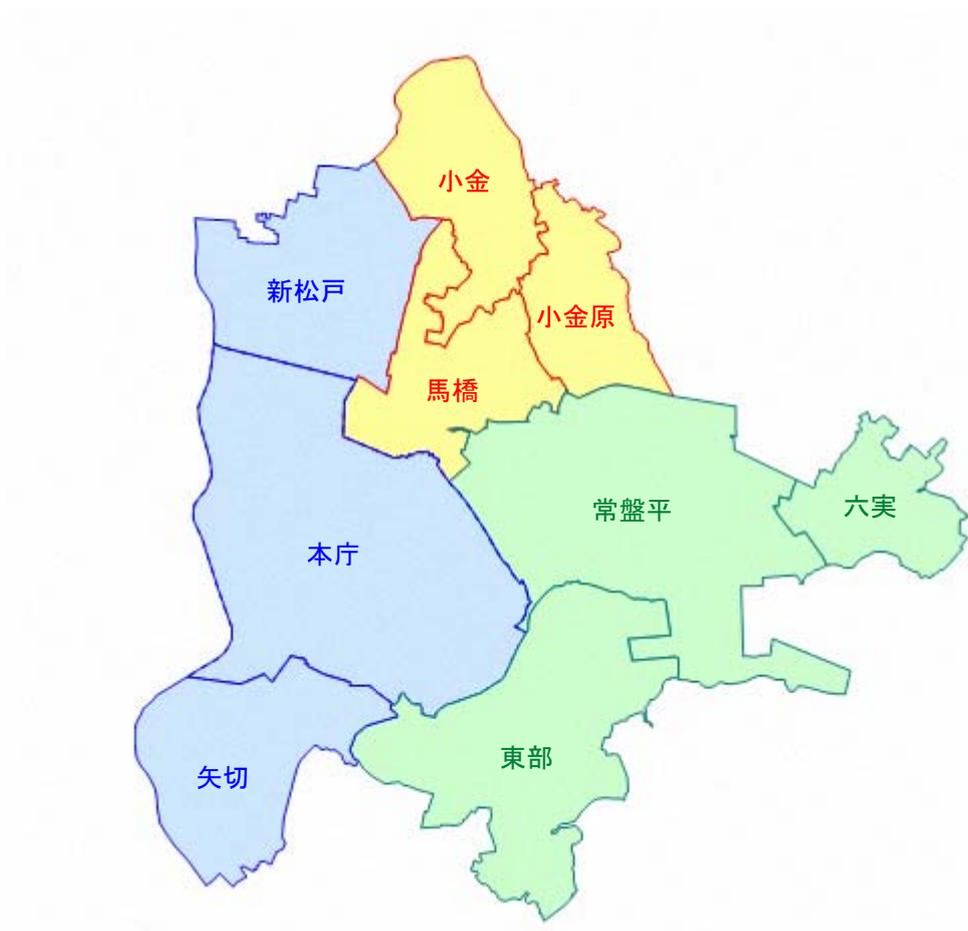
3. 地域別全体行程表（案）

地域別の全体行程表（案）について、次頁以降に示します。

地域別の全体行程表（案）の策定に当たっては、前項の施設類型別の全体行程表（案）において、個別施設単位でマネジメントの方向性を示している個別施設を対象として、市域全域を対象とする施設及び対象地域を意識して地域別に配置した施設について整理を行いました。

なお、地域の区分については、松戸市公共施設白書（平成 25 年 3 月）、松戸市公共施設再編整備基本方針（平成 27 年 7 月）等と同様に、9 地域（本庁、常盤平、小金、小金原、六実、馬橋、新松戸、矢切、東部）を対象としました。

【地域区分図】



■ 地域別全体行程表（案）

対象地域	市域全域を対象とする主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表	
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）
市域全域	本庁舎	市役所庁舎	● 庁舎機能の維持を基本として、新拠点ゾーン（相模台）の検討に合わせて更新と機能集約を図ります。（PPP導入を検討）	→	
	支所	行政サービスセンター	● 松戸駅改良工事に合わせて集約化や民間施設の活用等を検討します。	→	
	消防施設	消防局、消防訓練センター	● 消防局は、機能維持を基本として、施設の長寿命化・更新を図ります。 ● 消防訓練センターは機能維持を基本として、優先度を検討の上、現施設の長寿命化・更新を図ります。	→	→
	その他行政サービス施設	勤労会館、女性センター	● 機能確保のあり方を検討します。		→
	その他集会施設	まつど市民活動サポートセンター、市民交流会館	● まつど市民活動サポートセンターは総合福祉会館と二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。 ● 市民交流会館は、機能維持を基本として、施設の長寿命化・更新を図ります。	→	→
	図書館	図書館本館、子ども読書推進センター	● 図書館本館は新拠点ゾーン（相模台）の検討に合わせて更新を図ります。（PPP導入を検討）	→	
	社会教育施設	青少年会館、青少年会館樋野口分館、公民館	● 青少年会館は新松戸プールを含めた近隣公共施設との複合化と合わせて機能確保のあり方を検討します。 ● 公民館は総合福祉会館と二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。	→	→
	ホール・劇場	市民会館、市民劇場、文化会館	● 市民会館は新拠点ゾーン（相模台）の検討に合わせて更新と機能集約を図ります。（PPP導入を検討） ● 市民劇場は目標耐用年数を目途に、統廃合・用途転用を検討します。（PPP導入を検討、興業目的に応じたホール機能の見直し等） ● 文化会館は個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。	→	→
	博物館等	戸定邸、戸定歴史館、博物館、旧齋藤邸	● 戸定邸、旧齋藤邸は維持管理・改修の効率化により保存します。 ● 博物館は効率的な維持保全を行い、建替え時期の延伸を図ります。	→	→
	高等学校	市立松戸高等学校	● 市立高等学校の単位制への変更に合わせて、規模や機能の適正化を図ります。	→	
	高齢者対象施設	シニア交流センター	● 目標耐用年数を目途に、需要動向に応じて、高齢者福祉機能や規模の適正化を図ります。		→
	身体障害者対象施設	こども発達センター、障害者福祉センター	● 健康福祉会館の改修に合わせて規模や配置等を検討します。	→	
	病院施設	市立総合医療センター、東松戸病院・梨香苑	● 東松戸病院・梨香苑は、目標耐用年数を目途に、需要動向に応じて、新設した松戸市立総合医療センターとの機能連携や集約化など、公共医療・保健機能の必要規模の適正化を図ります。	→	→

対象地域	市域全域を対象とする主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表	
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）
市域全域	体育館等	運動公園体育館、柿ノ木台公園体育館、常盤平体育館、小金原体育館	● 個々の状況を見ながら優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。		
	プール	運動公園プール、新松戸プール	● 新松戸プールは隣接する青少年会館を含む近隣公共施設との複合化と合わせて、機能確保のあり方を検討します。		
	住宅施設	シルバー中金杉	● 現施設の長寿命化を図り、市営住宅の更新（建替え）は行いません。 ● 目標耐用年数を目途に、URや民間住宅を活用し、統廃合を図ります。（借上げ方式の拡充等）		
	クリーンセンター	和名ヶ谷クリーンセンター、日暮クリーンセンター、クリーンセンター、東部クリーンセンター、六和クリーンセンター	● ごみの広域処理の検討を進めるとともに、ごみ処理体制の見直しを行い、集約化などを含む更新を図ります。 ● 粗大ごみ処理機能の集約を図るため、仮称リサイクルプラザ（粗大ごみ等処理施設）の建設を進めます。（PPP導入を検討） ● 「燃やせるごみ」を近隣市・民間事業者へ搬出するためのごみ中継施設の建設を進めます。	 (2020年3月完成予定)	
	自動車駐車場	松戸駅西口地下駐車場	● 現施設の維持を基本として、長寿命化・更新を図ります。		
	斎場等	斎場、北山市民会館	● 現施設の長寿命化・更新を図ります。（PPP導入を検討）		
	その他	総合福祉会館	● 二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて集約化を図ります。		

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表																															
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）																														
本庁地域	消防施設	中央消防署、西口消防署	● 機能維持を基本として、個々の状況を見ながら、優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。なお、中央消防署は平成30年度に建替えたため、予防保全を前提に適切な維持管理を図ります。																																
	市民センター	明市民センター、稔台市民センター、古ヶ崎市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。 ● 明市民センターは、民間施設へ移転します。	 (2019年度中の移転予定)																															
	図書館	図書館明分館、図書館稔台分館、図書館古ヶ崎分館、図書館和名ヶ谷分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。																																
	小学校	中部小学校、北部小学校、相模台小学校、南部小学校、稔台小学校、上本郷小学校、松ヶ丘小学校、古ヶ崎小学校、寒風台小学校、和名ヶ谷小学校、上本郷第二小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。	 																															
	中学校	第一中学校、古ヶ崎中学校、和名ヶ谷中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。	 																															
	保育所	松ヶ丘保育所、北松戸保育所、古ヶ崎保育所、古ヶ崎第二保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）	 																															
	高齢者対象施設	野菊野敬老ホーム	● 管理運営形態を検討します。（PPP・指定管理者制度、民営化等）																																
	保健センター	中央保健福祉センター	● 現施設の長寿命化・更新を図ります。																																
	体育館等	和名ヶ谷スポーツセンター	● 和名ヶ谷スポーツセンターは、現清掃施設建設に伴う諸経過のうえに建設されており、今後は現施設の長寿命化を図ります。																																
	<p>【参考】本庁地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> <th>分類</th> <th>施設名</th> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本庁舎</td> <td>市役所庁舎</td> <td>図書館</td> <td>図書館本館、子ども読書推進センター</td> <td>体育館等</td> <td>運動公園体育館、柿ノ木台公園体育館</td> </tr> <tr> <td>支所</td> <td>行政サービスセンター</td> <td>社会教育施設</td> <td>青少年会館榎野口分館</td> <td>プール</td> <td>運動公園プール</td> </tr> <tr> <td>消防施設</td> <td>消防局</td> <td>ホール・劇場</td> <td>市民会館、市民劇場</td> <td>クリーンセンター</td> <td>和名ヶ谷クリーンセンター</td> </tr> <tr> <td>その他行政サービス施設</td> <td>勤労会館、女性センター</td> <td>博物館等</td> <td>戸定邸、戸定歴史館</td> <td>自動車駐車場</td> <td>松戸駅西口地下駐車場</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	分類	施設名	分類	施設名	本庁舎	市役所庁舎	図書館	図書館本館、子ども読書推進センター	体育館等	運動公園体育館、柿ノ木台公園体育館	支所	行政サービスセンター	社会教育施設	青少年会館榎野口分館	プール	運動公園プール	消防施設	消防局	ホール・劇場	市民会館、市民劇場	クリーンセンター	和名ヶ谷クリーンセンター	その他行政サービス施設	勤労会館、女性センター	博物館等	戸定邸、戸定歴史館	自動車駐車場
分類	施設名	分類	施設名	分類	施設名																														
本庁舎	市役所庁舎	図書館	図書館本館、子ども読書推進センター	体育館等	運動公園体育館、柿ノ木台公園体育館																														
支所	行政サービスセンター	社会教育施設	青少年会館榎野口分館	プール	運動公園プール																														
消防施設	消防局	ホール・劇場	市民会館、市民劇場	クリーンセンター	和名ヶ谷クリーンセンター																														
その他行政サービス施設	勤労会館、女性センター	博物館等	戸定邸、戸定歴史館	自動車駐車場	松戸駅西口地下駐車場																														

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表																					
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）																				
常盤平地域	支所	常盤平支所	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等）																						
	消防施設	五香消防署	● 機能維持を基本として、個々の状況を見ながら、優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。																						
	市民センター	常盤平市民センター、八柱市民センター、五香市民センター、松飛台市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。																						
	図書館	図書館常盤平分館、図書館八柱分館、図書館松飛台分館、図書館五香分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。																						
	小学校	高木小学校、常盤平第一小学校、常盤平第三小学校、常盤平第二小学校、松飛台小学校、牧野原小学校、金ヶ作小学校、松飛台第二小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。																						
	中学校	第四中学校、第六中学校、常盤平中学校、牧野原中学校、金ヶ作中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。																						
	保育所	八柱保育所、松飛台保育所、牧の原保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）																						
	その他児童施設	常盤平児童福祉館	● 少子化の進展など、今後の児童数の動向や需要を踏まえた上で、目標耐用年数を目途に再配置を検討します。（集約化、他施設との複合化等）																						
	高齢者対象施設	常盤平老人福祉センター	● 管理運営形態を検討します。（PPP・指定管理者制度、民営化等）																						
	保健センター	常盤平保健福祉センター	● 健康福祉会館の改修に合わせ、規模や配置等を検討します。																						
<p>【参考】常盤平地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール・劇場</td> <td>文化会館</td> <td>体育館等</td> <td>常盤平体育館</td> </tr> <tr> <td>博物館等</td> <td>博物館</td> <td>クリーンセンター</td> <td>日暮クリーンセンター</td> </tr> <tr> <td>身体障害者施設</td> <td>こども発達センター、障害者福祉センター</td> <td>斎場等</td> <td>斎場、北山市民会館</td> </tr> <tr> <td>病院施設</td> <td>松戸市立総合医療センター</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	分類	施設名	ホール・劇場	文化会館	体育館等	常盤平体育館	博物館等	博物館	クリーンセンター	日暮クリーンセンター	身体障害者施設	こども発達センター、障害者福祉センター	斎場等	斎場、北山市民会館	病院施設	松戸市立総合医療センター		
分類	施設名	分類	施設名																						
ホール・劇場	文化会館	体育館等	常盤平体育館																						
博物館等	博物館	クリーンセンター	日暮クリーンセンター																						
身体障害者施設	こども発達センター、障害者福祉センター	斎場等	斎場、北山市民会館																						
病院施設	松戸市立総合医療センター																								

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表					
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）				
小金地域	支所	小金支所	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等）						
	消防施設	小金消防署、大金平消防署	● 機能維持を基本として、個々の状況を見ながら、優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。						
	市民センター	小金市民センター、小金北市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。						
	図書館	図書館小金分館、図書館小金北分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。						
	小学校	小金小学校、小金北小学校、殿平賀小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。						
	中学校	小金南中学校、小金北中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。						
	保育所	小金北保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）						
	保健センター	小金保健福祉センター	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等）						
<p>【参考】小金地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅施設</td> <td>シルバー中金杉</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	住宅施設	シルバー中金杉
分類	施設名								
住宅施設	シルバー中金杉								

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表					
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）				
小金原地域	支所	小金原支所	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等）						
	市民センター	小金原市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。						
	図書館	図書館小金原分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。						
	社会教育施設	タウンスクール根木内	● 目標耐用年数を目途に、需要動向に応じて、社会教育機能や規模の適正化を図ります。						
	小学校	根木内小学校、栗ヶ沢小学校、貝の花小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。						
	中学校	栗ヶ沢中学校、根木内中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。						
	保育所	小金原保育所、コアラ保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）						
	高齢者対象施設	小金原老人福祉センター	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等） ● 管理運営形態を検討します。（PPP・指定管理者制度、民営化等）						
<p>【参考】小金原地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館等</td> <td>小金原体育館</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	体育館等	小金原体育館
分類	施設名								
体育館等	小金原体育館								

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表					
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）				
六実地域	支所	六実支所	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等）						
	消防施設	六実消防署	● 機能維持を基本として、個々の状況を見ながら、優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。						
	市民センター	六実市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。						
	図書館	図書館六実分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。						
	小学校	高木第二小学校、六実小学校、六実第二小学校、六実第三小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。						
	中学校	六実中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。						
	保育所	六実保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）						
	高齢者対象施設	六実高柳老人福祉センター	● 現清掃施設建設に伴う諸経過のうえに建設された六実高柳老人福祉センターは、新たな清掃施設整備に併せ、需要動向に応じて、現施設の長寿命化・更新または多機能施設の整備を検討します。						
	保健センター	常盤平保健福祉センター六実保健室	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等）						
	体育館等	クリーンセンター（体育室・温水プール）	● 現清掃施設建設に伴う諸経過のうえに建設されたクリーンセンター（体育室・温水プール）は、新たな清掃施設整備に併せ、需要動向に応じて、現施設の長寿命化・更新または多機能施設の整備を検討します。						
<p>【参考】六実地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリーンセンター</td> <td>クリーンセンター</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	クリーンセンター	クリーンセンター
分類	施設名								
クリーンセンター	クリーンセンター								

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表					
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）				
馬橋地域	支所	馬橋支所	● 既存ストックの活用を含め検討します。（民間施設の活用）						
	消防施設	八ヶ崎消防署、馬橋消防署	● 機能維持を基本として、個々の状況を見ながら、優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。						
	市民センター	馬橋東市民センター、八ヶ崎市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。						
	図書館	図書館馬橋東分館、図書館八ヶ崎分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。						
	小学校	幸谷小学校、八ヶ崎小学校、八ヶ崎第二小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。						
	中学校	第三中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。						
<p>【参考】馬橋地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防施設</td> <td>消防訓練センター</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	消防施設	消防訓練センター
分類	施設名								
消防施設	消防訓練センター								

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表													
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）												
新松戸地域	支所	新松戸支所	● 目標耐用年数を目途に再配置等を検討します。（集約化や民間施設の活用等）														
	市民センター	新松戸市民センター、馬橋市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。														
	図書館	図書館新松戸分館、図書館馬橋分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。														
	小学校	旭町小学校、馬橋北小学校、横須賀小学校、新松戸南小学校、馬橋小学校、新松戸西小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。														
	中学校	小金中学校、新松戸南中学校、旭町中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。														
	保育所	新松戸中央保育所、新松戸南部保育所、新松戸北保育所、馬橋西保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）														
<p>【参考】新松戸地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他集会施設</td> <td>市民交流会館</td> </tr> <tr> <td>社会教育施設</td> <td>青少年会館</td> </tr> <tr> <td>高齢者対象施設</td> <td>シニア交流センター</td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>新松戸プール</td> </tr> <tr> <td>クリーンセンター</td> <td>六和クリーンセンター</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	その他集会施設	市民交流会館	社会教育施設	青少年会館	高齢者対象施設	シニア交流センター	プール	新松戸プール	クリーンセンター	六和クリーンセンター
分類	施設名																
その他集会施設	市民交流会館																
社会教育施設	青少年会館																
高齢者対象施設	シニア交流センター																
プール	新松戸プール																
クリーンセンター	六和クリーンセンター																

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表									
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）								
矢切地域	支所	矢切支所	● 総合福祉会館と二十世紀が丘消防署の複合化による建替えに合わせて集約化を図ります。										
	消防署	二十世紀が丘消防署	● 総合福祉会館と矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。										
	市民センター	二十世紀が丘市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。										
	図書館	図書館矢切分館、図書館二十世紀が丘分館	● 学校施設の建替えに合わせて、図書館分館が併設した市民センターとの複合化を図る場合は、学校図書館との一体的整備の可能性について検討します。 ● 図書館矢切分館は、総合福祉会館と二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。										
	小学校	矢切小学校、柿ノ木台小学校、大橋小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。										
	中学校	第二中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。										
	保育所	二十世紀が丘保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）										
	高齢者対象施設	矢切老人福祉センター	● 総合福祉会館と二十世紀が丘消防署・矢切支所の複合化による建替えに合わせて、集約化を図ります。 ● 管理運営形態を検討します。（PPP・指定管理者制度、民営化等）										
<p>【参考】矢切地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>その他集会施設</td> <td>まつど市民活動サポートセンター</td> </tr> <tr> <td>社会教育施設</td> <td>公民館</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>総合福祉会館</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	その他集会施設	まつど市民活動サポートセンター	社会教育施設	公民館	その他	総合福祉会館
分類	施設名												
その他集会施設	まつど市民活動サポートセンター												
社会教育施設	公民館												
その他	総合福祉会館												

対象地域	対象地域を意識して配置した主な公共施設		マネジメントの方向性（案）	全体行程表											
				短期 （概ね10年以内に検討・実施）	中長期 （概ね10年以上に検討・実施）										
東部地域	支所	東部支所	● 東松戸まちづくり用地活用事業による複合施設への機能移転と旧施設の活用を検討します。	→											
	消防施設	東部消防署	● 機能維持を基本として、個々の状況を見ながら、優先順位を検討し、現施設の長寿命化・更新を図ります。	→	→										
	市民センター	東部市民センター	● 市民センターの更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、学校施設等との複合化を検討します。 ● 運営方法を検討します。	→	→										
	図書館	図書館東部分館	● 東松戸まちづくり用地活用事業による複合施設へ地域館として拡張移転します。	→											
	小学校	東部小学校、梨香台小学校、河原塚小学校、東松戸小学校	● 当面は、学校施設の維持（メンテナンス）とともに、空き教室や空きスペースの活用等による学校施設の開放を進め、地域の拠点とします。 ● 目標耐用年数を目途に、各地域での児童生徒数の動向や地域の実情に応じて、学校数及び規模等を勘案した再配置を検討します。	→	→										
	中学校	第五中学校、河原塚中学校	● 学校の更新にあたっては、PPP等によるコスト削減を図るとともに、地域の多世代交流の拠点として地域に密着化した施設（市民センター、図書館等）との複合化を検討します。 ● 小学校プールは、PPP等の民間活力の導入による集約化を検討します。 ● 東部小学校・第五中学校において、施設の共同利用を検討します。	→	→										
	保育所	梨香台保育所	● 現施設の長寿命化を図り、原則として公立保育所の建替えは行いません。（建替えが必要な場合は民間保育園として建替える） ● 少子化の進展など、今後の児童数の動向に応じた保育所（園）の計画的な定員管理による再配置を検討します。（民営化、他の児童施設への転用、小規模保育所や幼稚園の預かり保育の活用等）	→	→										
	高齢者対象施設	東部老人福祉センター	● 東部老人福祉センター・東部スポーツパークは、し尿処理施設建設に伴う諸経過のうえに建設されており、今後は現施設の長寿命化を図ります。	→											
	体育館等	東部スポーツパーク		→											
<p>【参考】東部地域における市域全域を対象とする主な公共施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>施設名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博物館等</td> <td>旧齋藤邸</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>市立松戸高等学校</td> </tr> <tr> <td>病院等</td> <td>東松戸病院・梨香苑</td> </tr> <tr> <td>クリーンセンター</td> <td>東部クリーンセンター</td> </tr> </tbody> </table>						分類	施設名	博物館等	旧齋藤邸	高等学校	市立松戸高等学校	病院等	東松戸病院・梨香苑	クリーンセンター	東部クリーンセンター
分類	施設名														
博物館等	旧齋藤邸														
高等学校	市立松戸高等学校														
病院等	東松戸病院・梨香苑														
クリーンセンター	東部クリーンセンター														

第5章 モデル地域における市民参加型の公共施設再編の取組

1. モデル地域の選定

本市では、地域単位で公共施設再編整備の推進を図っていくため、平成 28 年度の松戸市公共施設再編整備推進審議会において、人口動向や施設保有状況などで特徴的な状況を有する、小金原地域・新松戸地域・東部地域（東松戸地域）の 3 地域をモデル地域として決めました。

- ・小金原地域：将来的な人口減少が見込まれ施設量が比較的多い（旧ニュータウンエリア）
- ・新松戸地域：人口が概ね横ばいであり施設量が平均的な状況（既成市街地）
- ・東部地域（東松戸地域）：今後人口の増加が見込まれ施設量が比較的少ない（新興住宅地）

【モデル地域位置図】



上記を踏まえ、モデル地域において市民参加による公共施設再編に向けた主な検討経緯について、過年度より検討が進められている小金原地域と東部地域（東松戸地域）を対象として、次頁以降に整理します。

2. 基本的な考え方

モデル地域の公共施設再編については、これからの 50 年を見据えた公共施設のあり方や将来像について、学官連携による公共施設マネジメントシンポジウムの開催など幅広い議論を行ってまいりました。

公共施設再編にあたっては、地域性を踏まえた公共施設マネジメントの実現を図るため、各モデル地域において、市民参加型による公共施設再編モデルの検討を行い、リーディング事業として円滑に推進していくことが重要です。

また、モデル地域での検討プロセスを活かし、地域性を踏まえた上で市内の他地域に展開してまいります。

【モデル地域における検討の基本的視点】

市民参加による公共施設再編における地域まちづくりの機運を高めることを主眼に、地域シンポジウムやワークショップを開催するなど、産学官民の連携により、公共施設の利活用を検討します。

3. モデル地域における市民参加型の検討プロセスの概要

(1) 小金原地域

1) 小金原地域における検討プロセスの概要

小金原地域においては、平成 28 年度以降、松戸市と小金原地域の地元組織との連携により、公共施設の再編をテーマとし、様々な市民参加型のワークショップやシンポジウムを企画・実施してきました。これに伴い、単独町会では解決できない、あるいは小金原地域全体に関わる課題等に積極的に関わり解決策を検討する趣旨で、地域のまちづくり活動組織（小金原地区会まちづくり部）が発足しました。その後は、小金原地区会まちづくり部が主体となり、地域団体、地域住民や市と連携しながら各種取り組みの企画・運営を実施しています。

これら取り組みを通じて、地域住民がまちづくりに対して主体的に意見を発信するようになってきており、地域の将来像や地域の中心部のあり方、学校施設の再編のあり方等について議論が進んでいます。さらには、小金原地区会まちづくり部から公共施設再編（学校再編）について、地域側から具体的な提案が行われるなど、地域が主体となった具体的な議論・検討が行われつつあることから、今後も持続可能な地域まちづくり活動の実施・運営に向けた取り組みが期待されます。

2) 小金原地域における推進体制

モデル地域である小金原地域においては、地元の町内会等を中心に、地域のまちづくり活動組織（小金原地区会まちづくり部）が平成 29 年 5 月に立ち上げられ、上記のとおり、市と地域のまちづくり活動組織との共催により、地域の将来像や公共施設再編に向けた地域ワークショップや地域シンポジウムの開催を通じて、地域意見の把握・共有を図っています。

これら小金原地域における市民参加プロセスや、市の資産マネジメント推進部門と地域のまちづくり活動組織との連携を中心とした体制を一つのモデルとして、各地域でのコミュニティの状況や地域性等を勘案の上で、今後、地域単位での市民参加による公共施設再編やモデル事業の推進を図っていくことが期待されます。

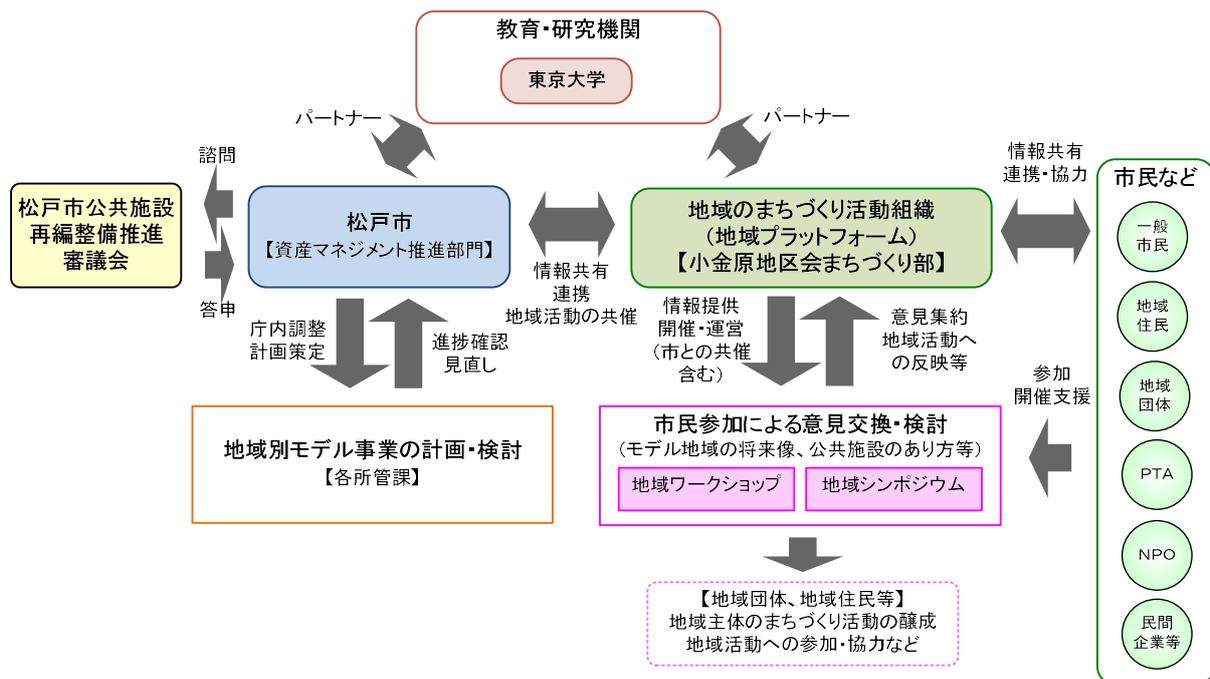


図 5-1 小金原地域における市民参加による推進体制

【小金原地域における市民参加による検討プロセスの概要】

実施時期		内容	検討経過
平成 28年度	5月27日	東京大学村山研究室のメンバーで小金原地域を対象とするワークショップを実施	東京大学都市計画研究室(村山准教授)を中心に、松戸市の公共施設再編整備に関わるモデル地域の骨格及び想定される内容を検討するために、大学研究室のメンバーで小金原地域を対象にワークショップを実施。
	7月13日	合同意見交換会 (千葉大学、東京藝術大学、松戸市)	千葉大学(柳澤要教授)、東京藝術大学(藤村龍至准教授)と松戸市の協働事業として立ち上げ。 千葉大学柳澤研究室及び東京藝術大学の3年生の課題として小金原地域及び東部地域(東松戸地域)を取り上げ、合同意見交換会を開催した。 千葉大学からは、東松戸まちづくり用地(65 街区)を対象として、低層案・高層案・分棟案とタイプ別のスタディを行った。東京藝術大学からは、小金原市民センターと比較しながら、タウンセンターのあり方や 50 年という時間の考え方について、提案模型等をもとに問いかけや議論を行った。
	9月7日	公共施設マネジメントシンポジウム 『タウンセンターの 50 年』	松戸市、千葉大学、東京藝術大学の連携による公共施設マネジメントシンポジウムを開催した。 基調講演では、柳沢潤氏(建築家/関東学院大学准教授)より、事例を交えて市民参加や公民連携など、いまの時代の新しい公共施設のあり方を講演した。 ディスカッションでは、公共施設再編におけるモデル地域に選定されている、全地域のなかで先んじて高齢化・人口減少が見込まれる小金原地域、市内で一番新しい駅があつてマンション建設等により人口増加が見込まれる東部地域(東松戸地域)という両極端な2つの地域におけるタウンセンターのあり方、施設像などについて幅広い議論を行った。これからの50年を見据え、これからの暮らしのために人々が集う公共建築のあり方について、具体的な事例や学官連携での取り組みの発表を通じて、公共建築の思想をカタチに反映しながら、幅広く議論を進めた。
	9月8日 ~9月11日	シンポジウムの開催に合わせ、学生製作の建築模型の展示会を開催	シンポジウム開催に合わせて松戸市文化ホールにて、学生製作の建築模型の展示会を開催し、最終日には模型製作者によるギャラリートークを開催した。
	2月5日	H28 公共施設マネジメントワークショップ@小金原 『公共施設再編から考えるコミュニティの未来』	地域に則した公共施設マネジメントを実現するために、地域の方々でワークショップを実施。 小金原地域における「現在のハコモノの課題と可能性」「未来(2030年)のシナリオ」について議論を行った。
平成 29年度	5月	『小金原地区会まちづくり部』が発足	小金原連合町会総会において、単独町会では解決できない、あるいは小金原地域全体に関わる課題等に積極的に関わり解決策を検討する趣旨で設立。
	12月10日	H29 公共施設マネジメントワークショップ@小金原 『みんなで考える小金原の未来』	継続的な地域まちづくり活動につなげていくため、若い世代を含めて参加してもらえるワークショップとして、地域の活性化や多世代交流につなげていくことを目的に実施。 小金原地域を題材に、公共施設再編のあり方と地域の将来像についてワークショップ形式で地域住民の方と意見交換や議論を行った。

実施時期		内容	検討経過
	2月4日	公共施設マネジメントシンポジウム 06 in 小金原 『鳩山に学ぶ。』	藤村龍至氏が主宰を務める RFA が事業運営面に力を入れて施設の管理運営を実施している鳩山町コミュニティ・マルシェを題材として、当該施設のコーディネーターの菅沼朋香氏とともに、「持続可能な郊外住環境に必要な空間像」や「公共施設運営」をテーマに基調講演、パネルディスカッションを行った。埼玉県・鳩山町の事例をもとに、ニュータウンの将来、地域の活力の維持に必要なことなど、参加者と議論を行った。
	3月4日	小金原まちづくり懇談会 2018 『誰もが安心して暮らしていけることのできる社会づくり』	「行政と地域住民、民間企業と地域住民がつくる地域共生社会」をテーマとして、大阪府箕面市北芝地区でのまちづくり活動について、NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝(事務局長:池谷啓介氏)より多様性、参加型まちづくり、住民参加等の講演とトークセッションを行った。
平成 30 年度	9月16日	H30 小金原地域ワークショップ 『公共施設将来シナリオを見直して、地域のみんなで小金原に活気を取り戻す』 H30 第 1 回小金原地域ワークショップ	平成 29 年度に引き続き、地域の活性化や多世代交流につなげていくこと等を目的に実施。 「小金原地域のウリ(セールスポイント)」を検討した上で、「再び活気を取り戻すための公共施設のあり方」について、ワークショップ形式で議論を行った。 小金原地区会まちづくり部より小金原地域の小・中学校の再編(案)が提示された。
	10月21日	H30 第 2 回小金原地域ワークショップ	第 1 回で挙げた公共施設のあり方についての意見を踏まえ、「小金原地域のこれからの学校施設の利活用方法(これからの学校に必要なこと、実現・継続するための工夫)」や、「小金原地域の学校再編の方向性(3案(A～C案)をケーススタディとして、良いと思う案とその理由)」について、ワークショップ形式で議論を行った。

(2) 東部地域（東松戸地域）

1) 東部地域（東松戸地域）における検討プロセスの概要

東部地域（東松戸地域）においては、旧紙敷土地区画整理事業 65 街区の東松戸まちづくり用地を検討題材として、平成 28 年度より個別プロジェクトベースでの検討を進めています。

東部地域（東松戸地域）の地域性として、近年移住してきた住民が多い地域であることから、小金原地域のように、地域組織との連携によるワークショップ等の開催は難しい見通しであったため、学官連携※による検討結果をシンポジウムやトークイベント等による市民参加手続きを通じて市民に情報発信する形で検討を進めてきました。

東松戸まちづくり用地では、地域のまちづくりの視点から公共施設の再編整備における市民参画の考え方を重視し、施設整備計画においては学官連携により、展示会及びパブリックミーティング等の市民参画型施設計画手法を導入して事業推進を検討してきました。

※学官連携：公共施設マネジメントを検討するにあたり、千葉大学（柳澤要教授）と東京藝術大学（藤村龍至准教授）と松戸市との連携事業。千葉大学柳澤要研究室の研究課題及び、東京藝術大学 3 年生の設計課題として、学生製作の建築模型の展示会及びギャラリートークを開催した。

2) 東部地域（東松戸地域）における推進体制

東部地域（東松戸地域）においては、地域の実情に応じた施設を計画するため、検討段階からトークイベントやシンポジウムを通して、まちづくりの情報を提供し、住民の意見を集約・反映するとともに千葉大学と東京藝術大学との学官連携により総合的に推進していきます。

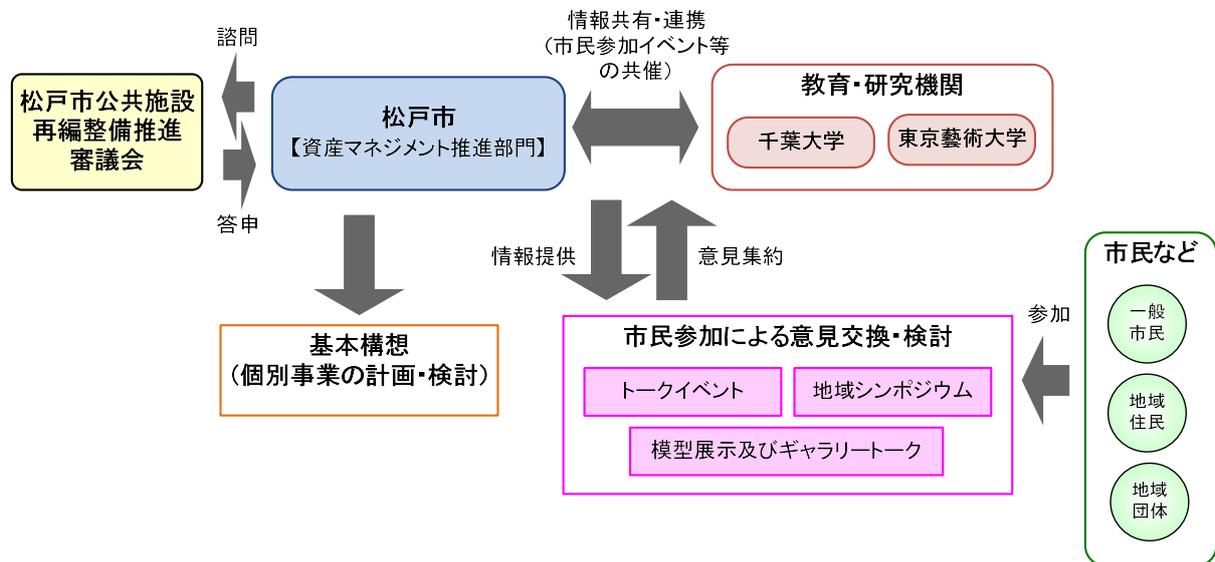


図 5-2 東部地域（東松戸地域）における市民参加による推進体制

【東部地域（東松戸地域）における市民参加による検討プロセスの概要】

実施時期	内容	検討経過
平成 28 年度	7 月 13 日	<p>千葉大学(柳澤要教授)、東京藝術大学(藤村龍至准教授)と松戸市の協働事業として立ち上げ。</p> <p>千葉大学柳澤研究室及び東京藝術大学の3年生の課題として小金原地域及び東部地域(東松戸地域)を取り上げ、合同意見交換会を開催した。</p> <p>千葉大学からは、東松戸まちづくり用地(65 街区)を対象として、低層案・高層案・分棟案とタイプ別のスタディを行った。東京藝術大学からは、小金原市民センターと比較しながら、タウンセンターのあり方や 50 年という時間の考え方について、提案模型等をもとに問いかけや議論を行った。</p>
	9 月 7 日	<p>松戸市、千葉大学、東京藝術大学の連携による公共施設マネジメントシンポジウムを開催した。</p> <p>基調講演では、柳沢潤氏(建築家/関東学院大学准教授)より、事例を交えて市民参加や公民連携など、いまの時代の新しい公共施設のあり方を講演した。</p> <p>ディスカッションでは、公共施設再編におけるモデル地域に選定されている、全地域のなかで先んじて高齢化・人口減少する小金原地域、市内で一番新しい駅があってマンション建設等により人口増加が見込まれる東部地域(東松戸地域)という両極端な2つの地域におけるタウンセンターのあり方、施設像などについて幅広い議論を行った。</p>
	9 月 8 日 ~9 月 11 日	<p>シンポジウムの開催に合わせ、学生製作の建築模型の展示会を開催</p> <p>これからの 50 年を見据え、これからの暮らしのために人々が集う公共建築のあり方について、具体的な事例や学官連携での取り組みの発表を通じて、公共建築の思想をカタチに反映しながら、幅広く議論を進めた。</p> <p>シンポジウム開催に合わせて松戸市文化ホールにて、学生製作の建築模型の展示会を開催し、最終日には模型製作者によるギャラリートークを開催した。</p>
	12 月 17 日~ 12 月 18 日	<p>東松戸まちづくり用地の利活用に関する模型展示会</p> <p>東松戸まちづくり用地の利活用について、千葉大学と東京藝術大学の学生が4つの機能(支所機能、図書館機能、コミュニティ機能、子育て支援機能)を有した公共施設をイメージして制作した模型をキッカケに近隣住民の方と共に考える機会をつくるため、東部支所において模型展示会を行った。</p>
	1 月 28 日	<p>ひがまつトークイベント 『まちを支える未来のハコモノ vol.1』</p> <p>これまで大学と市で進めてきた学官連携の取り組みのレビューとこれからの地域施設のあり方や公民連携にフォーカスした事業の進め方について議論を行った。</p>
	2 月 11 日	<p>ひがまつトークイベント 『まちを支える未来のハコモノ vol.2』</p> <p>地域施設の基本構想(案)の考え方について、建築と施設運営の専門家である、常世田良氏(立命館大教授)、柳澤要氏(千葉大学教授)、藤村龍至氏(建築家/東京藝術大学准教授)をゲストに迎え、参加者を交えたトークセッションを実施した。</p>
平成 29 年度	5 月 ~12 月	<p>東松戸まちづくり用地活用事業(事業者募集手続き)</p> <p>民間事業者のアイデアやノウハウを求めることを主眼に、公募型プロポーザル方式により公民連携型の事業手法による東松戸まちづくり用地活用事業の実施にあたり、平成 29 年 5 月に実施方針を公表し、平成 29 年 8 月に募集要項等の公表を行い、事業者選定手続きを行った。</p>

■用語集

	用語	説明
ア行	圧縮梱包処理	リサイクルするプラスチックを圧縮・梱包すること。
	インフラ	インフラストラクチャー (infra-structure) の略。公共施設のうち、都市活動を支える道路・橋りょうなどの交通施設や公園、上下水道などの施設の総称。
	営繕	建物を新築・増築したり、改善・修繕したりすること。Or 建造物を造ったり修理したりすること。
カ行	改修	劣化した建築物、部位、部材などの機能を原状もしくはそれ以上に改善すること。
	稼働率	各公共施設が提供する貸室の年間の提供区分総数に対する利用区分総数の割合を示す。
	借上げ公営住宅	住宅(建物)を賃借して、公営住宅として運用するもの。
	基幹的整備	燃烧(熔融)設備、燃烧ガス冷却設備、排ガス処理設備等、ごみ焼却処理施設を構成する重要な設備や機器について、概ね 10 年～15 年ごとに実施する大規模な整備。
	既成市街地	公共施設の整備や土地の高度利用といった市街地としての開発が既に行われている地域のこと。
	強じん化整備	今後の施設負荷増加に対応するための改修工事並びに大規模災害時にも円滑なごみ処理を可能とするための整備のこと。
	ケーススタディ	具体的な事例を詳しく調べ、分析・研究して一般的な法則などを発見しようとする方法のこと。
	広域連携	必要な市民サービスを安定的・継続的に提供していくために、近隣市と広域的な連携を行うこと。
	公共施設再編整備検討委員会	公共施設再編に関し必要な事項等を協議及び調整するために庁内において設置された委員会のこと。
	公共施設再編整備推進審議会	松戸市公共施設再編整備推進審議会条例に基づいて松戸市公共施設再編整備基本計画の効果的な推進に関する事項等を調査審議するため、設置された市長の附属機関のこと。

	用語	説明
	公共施設等	公共施設、公用施設その他の該当地方公共団体が所有する建築物その他工作物をいう。具体的には、いわゆるハコモノの他、道路、橋りょう等の土木構造物、公営企業の施設(上水道、下水道等)等も含む包括的な概念である。
	公共施設あり方検討プロジェクト	公共施設再編整備検討委員会の下部組織として、公共施設再編に関し必要な事項等について個別的・専門的事項の調査を行うために設置された検討プロジェクトのこと。
	更新	老朽化等に伴い機能が低下した施設等を建替え、同程度の機能に再整備すること。
	公設民営(DBO)方式	公設民営方式は、国や地方公共団体が公共施設を設置し、維持管理・運営を民間事業者に行わせる方式のこと。 DBO(Design Build Operate)は、公共が資金調達を行い、設計・建設、維持管理・運営を民間事業者に長期包括的に委託する方式のこと。
サ行	産学官民の連携	民間企業、学校、官公庁、地域住民等の4者が互いに協力し、連携しあって事業や研究活動を推進すること。
	資産マネジメント	施設管理における施設マネジメント(アセットマネジメント)は、施設の状態を評価し、適切な維持管理を行うとともに、ライフサイクルコストや中長期的な事業量の平準化などを勘案し、計画的かつ効率的に資産管理する方法のこと。
	市場化テスト	透明・中立・公正な競争条件の下、公共サービスの提供について、官民競争入札を実施し、価格と質の面で、より優れた主体が落札し、公共サービスを提供していく官民競争入札制度のこと。
	指定管理者制度	平成15年9月の地方自治法改正により導入された制度で、これまでは公共的な団体等に限定されていた公の施設の管理運営を、民間企業やNPO法人なども含めた幅広い団体に委ねることが可能となった。 この制度の活用により、民間企業やNPO法人などがもつ様々なノウハウを公の施設の管理運営に活用し、市民サービスの向上と経費の縮減を図ることが期待されている。 なお、指定管理者制度を導入しても、公の施設の設置目的は変わるものではなく、市には施設の設置者としての責任があるため、指定管理者に施設の管理運営を委ねた後も、指定管理者が管理運営を適切に行っているかチェックしていく必要がある。
	児童館機能施設	児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設に該当しない、児童館の機能を備えた施設。
	諮問	公共施設再編整備推進審議会において、有識者に意見を求めること。

	用語	説明
	受益者負担	公共事業に必要な経費にあてるため、当該公共事業の施設利用者(受益者)に料金を負担してもらうこと。
	修繕	機能・性能を原状まで回復させること。
	収容避難所	災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定期間の避難生活を行うための施設のこと。
	竣工	工事が完了して建造物ができあがること。
	小規模保育所	地域の保育ニーズにきめ細かく対応するために、2015年「子ども・子育て支援法」により認められた認可保育所で、0-3歳未満を対象とした、定員が6人以上9人以下の少数で行う保育である。
	除却債	地方財政法に基づき、公共施設・公用施設・その他の当該地方公共団体が所有する建築物・その他の工作物の解体撤去に要する経費の財源に充てるための地方債。
	新拠点ゾーン(相模台)	官舎跡地や松戸中央公園等の一体開発により、ランドマークとなる多機能拠点づくりを行う、新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点(ゾーン)のこと。
	新興住宅地	新たに開発した住宅地のこと。
	シンポジウム	公開の場において、あるテーマについて各分野の専門家等が聴衆の前で意見を述べて、その後参加者と質疑応答を行う形式の討論会のこと。
	政策空家	入居者の退去後、大規模修繕もしくは改造、または用途廃止を行うためなど政策的に入居者の募集を行っていない空家。
	設置管理許可制度	都市公園法に基づいて、民間事業者が公園管理者へ使用料を支払い、都市公園内において収益施設等を設置・管理運営できる制度のこと。
タ行	耐用年数	資産において利用が可能な年数のこと。本計画においては、標準的な耐用年数とされる60年を採用している。
	タウンセンター	公共施設や商業施設等を含めた一体的な区域のこと。
	長寿命化	予防保全型の施設管理において、施設の使用期間の延伸のための点検、維持管理、修繕等の取り組みを示す。
	陳腐化	古くなること。効率が悪くなること。
	答申	公共施設再編整備推進審議会において、詰問を受けた事項について松戸市長に意見や事情を詳しく述べること。
	登録有形文化財	平成8年10月の文化財保護法改正によって、保存及び活用についての措置が特に必要とされる文化財建造物を文化財登録原簿に登録すること。

	用語	説明
ナ行	ニュータウン	都市の郊外に新たに開発された市街地のこと。
ハ行	Park-PFI	都市公園法に基づいて、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
	バリアフリー	障害者や高齢者などが日常生活を送るうえでの妨げとなる、様々な障壁(バリア)を取り除くこと。
	PFI	Private-Finance-Initiative の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法である。
	PPP	Public-Private-Partnership の略で、官民が連携して公共サービスの提供を行うスキームのこと。PFI は、PPP の代表的な手法の一つであり、PFI の他、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営(DBO)方式、包括的民間委託等も含まれる。
	東松戸まちづくり用地活用事業	旧松戸市土地開発公社により松戸市立病院の建設事業用地として取得された旧紙敷土地区画整理事業 65 街区について、地域の将来像を見据えた東松戸地域のまちづくりへの貢献に寄与する土地活用を図るもの。
	フィードバック	物事への反応や結果を見て、改良・調整を加えること。
	フォローアップ	ある事柄を徹底させるために、あとあとまでよく面倒をみたり、追跡調査をしたりすること。
	プラットフォーム	物事を行う上で基礎となる部分のこと。
	フルスペック保育所	0～5 歳児を対象とした保育所のこと。
	プロセス	検討する上での過程や方法のこと。
	包括的民間委託	都市基盤施設等の公共サービスの提供において行政側が行う業務のうち、複数の施設や業務内容を一括して民間事業者に委託するもの。民間ノウハウの活用の観点から、複数年の包括契約とすることが通例である。
	法定点検	ここでは、建築基準法の 12 条点検を指し、安全性や適法性を確保するために、専門の調査官や検査官により建築物等を定期的に調査・検査し、特定行政庁に報告すること。

	用語	説明
ヤ行	UR 賃貸住宅	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）が管理する賃貸住宅のこと。
	予防保全	構造物や建築物の損傷が顕在化する前に予防的に対策を行う管理手法のこと。一般に、予防保全を行うことで、構造物や建築物の寿命が長くなることから、ライフサイクルコストの縮減が期待される。
ラ行	リーディング事業	事業を進める上で、核となり先導的な役割を果たす事業のこと。
ワ行	ワークショップ	立場や経験等が異なる様々な人が集まり、共同作業や意見交換を行うことで相互の理解を図りながら、知恵や創意工夫により意見をまとめていく手法のこと。

參考資料

目 次

1	モデル地域における市民参加型の公共施設再編の取組の詳細.....	-1-
1-1	小金原地域における市民参加による検討プロセスの内容.....	-1-
1-2	小金原地域におけるモデル事業の検討.....	-14-
1-3	東部地域(東松戸地域)における市民参加による検討プロセスの内容.....	-26-
2	公共施設カルテ.....	-31-
3	現地調査結果報告書(公共施設カルテ対象施設).....	-34-
4	松戸市公共施設再編整備基本計画(案) 対象施設一覧.....	-36-

1 モデル地域における市民参加型の公共施設再編の取組の詳細

1-1. 小金原地域における市民参加による検討プロセスの内容

実施時期	内容	
平成 28 年度	5月27日	東京大学村山研究室のメンバーで小金原地域を対象とするワークショップを実施
	7月13日	合同意見交換会(千葉大学、東京藝術大学、松戸市)
	9月7日	公共施設マネジメントシンポジウム 『タウンセンターの50年』
	9月8日～ 9月11日	シンポジウムの開催に合わせ、学生製作の建築模型の展示会を開催
	2月5日	H28 公共施設マネジメントワークショップ@小金原 『公共施設再編から考えるコミュニティの未来』
平成 29 年度	5月	『小金原地区会まちづくり部』が発足
	12月10日	H29 公共施設マネジメントワークショップ@小金原 『みんなで考える小金原の未来』
	2月4日	公共施設マネジメントシンポジウム 06 in 小金原 『鳩山に学ぶ。』
	3月4日	小金原まちづくり懇談会 2018 『誰もが安心して暮らしつづけることのできる社会づくり』
平成 30 年度	9月16日	H30 小金原地域ワークショップ 『公共施設の将来シナリオを見直して、地域みんなで小金原に活気を取り戻す』 H30 第1回小金原地域ワークショップ
	10月21日	H30 第2回小金原地域ワークショップ

(1) モデル地域計画に関する検討（実施日：平成 28 年 5 月 27 日）

東京大学都市計画研究室（村山准教授）を中心に、松戸市の公共施設再編整備に関わるモデル地域の骨格及び想定される内容を検討するために、大学研究員のメンバーで小金原地域を対象にワークショップを実施しました。

以下に、小金原地域の可能性や課題を踏まえたモデル地域計画に関する検討結果を掲載します。

■検討結果 2：モデル地域計画の骨格（案）

◆計画の性格

- ・モデル地域の公共施設に支えられる街とそこでの暮らしの将来像を共有するもの
- ・地域の多様な主体による諸活動・ビジネスを育成（インキュベート）し、それらの方向性を示すもの（生活に必要なサービス等の全てを行政や民間企業に頼るのは現実的でないので、地域活動・地域ビジネスを新たに育成する必要がある。）
- ・公共施設の再編整備や民間施設（UR団地含む）の空きスペースの活用と地域の様々なニーズをつなぐ
- ・行政の計画ではなく、地域の多様な主体が共有する計画（みんなで実現していく）

◆計画策定に必要な情報等（小金原地区での検討に基づく）

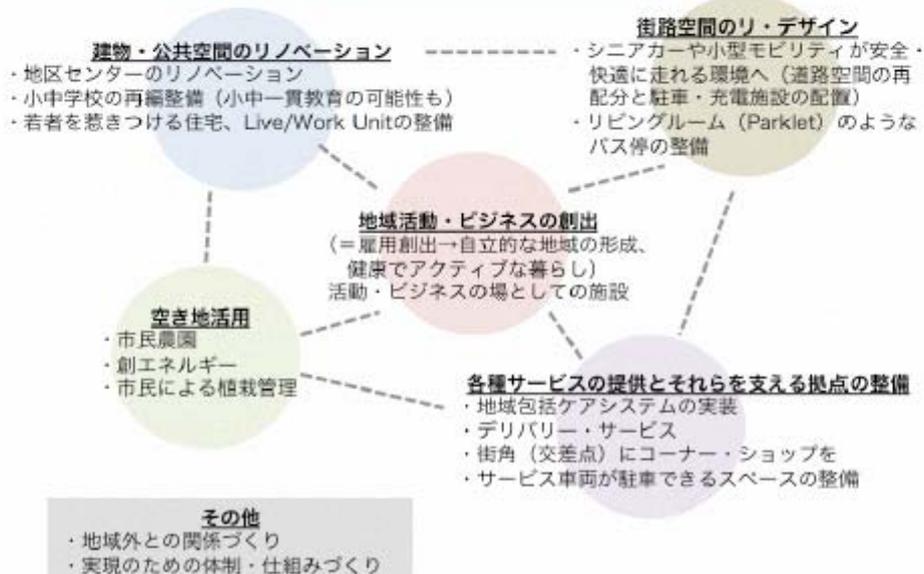
- ・住民の世帯構成に関するデータ
- ・買い物などの外出行動（目的地・交通手段・頻度等）に関するデータ
- ・住民が求めている施設やサービス
- ・市民活動の実態
- ・地域内の民間施設の内容と立地に関するデータ
- ・公共施設・不動産の活用実態
- ・空き家・空き地のデータ
- ・坂道や階段（高低差）、段差等のデータ

◆想定される計画の項目（小金原地区での検討に基づく）

極端に偏った超高齢社会→若者を呼び込む戦略（東京に通勤しなくても良い層をターゲットに）

街の物的環境とそこでの暮らしが伝わる将来像

- ・健康都市、アクティブ・シティ、エコ・ディストリクト等の分かりやすい街のイメージ
- ・街での暮らしのイメージ（子ども、若者、中高年、高齢者の多様なライフスタイル）



(2) 公共施設マネジメントシンポジウム（実施日：平成 28 年 9 月 7 日）

●シンポジウム テーマ：タウンセンターの 50 年

松戸市、千葉大学、東京藝術大学の連携による公共施設マネジメントシンポジウムを開催しました。千葉大学建築学科および東京藝術大学建築学科に協力を依頼し、松戸市の今後の地域施設のあり方について、検討を進めました。

基調講演では、柳沢潤氏（建築家、関東学院大学准教授）より、事例を交えて市民が主体的に施設の設計段階や運営段階に関わることや、地域にふさわしい公民連携の施設の作り方など、今の時代の新しい公共施設のあり方を講演いただきました。

ディスカッションでは、公共施設再編におけるモデル地域に選定されている、全地域のなかで先んじて高齢化・人口減少が見込まれる小金原地域、市内で一番新しい駅があってマンション建設等により人口増加が見込まれる東部地域（東松戸地域）という両極端な2つの地域におけるタウンセンターのあり方、施設像などについて幅広い議論を行いました。

【公共施設マネジメントシンポジウム『タウンセンターの 50 年』】



●**建築模型の展示会（実施日：平成28年9月8日～平成28年9月11日）**

シンポジウム開催に合わせて松戸市文化ホールにて、東部地域（東松戸地域）及び小金原地域を対象として東京藝術大学の学生が製作した建築模型の展示会を開催しました。

最終日には、会場において模型製作者（東京藝術大学建築科の学生）が模型等の解説を行い、ギャラリートークを開催しました。

【模型展示及びギャラリートーク】



(4) H29 公共施設マネジメントワークショップ@小金原 (実施日：平成 29 年 12 月 10 日)

平成 28 年度に実施した小金原地域の公共施設マネジメントワークショップ (H29.2.5 開催) に つづき、発足した小金原地区会まちづくり部の活動を活かし、継続的な地域まちづくり活動につ なげていくため、若い世代を中心に参加してもらえるワークショップを実施し、地域の活性化や 多世代交流につなげていくことを目的に実施しました。

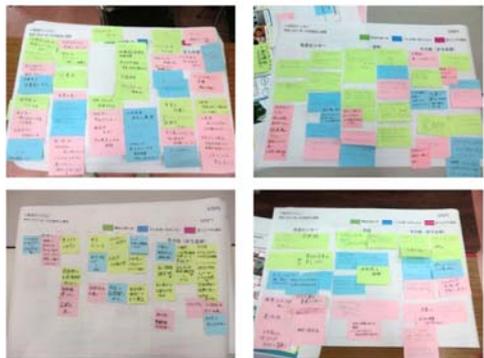
小金原地域を題材に、公共施設の配置や既存施設の利活用方法、教育・福祉・地域活動等の拠 点整備、といった公共施設再編のあり方と地域の将来像についてワークショップ形式で地域住民 の方と意見交換や議論を行いました。

<開催結果の概要>

【テーマ】みんなで考える小金原の未来

WS1「小金原のハコモノの現在(2017)」STEP1

小金原のハコモノの
・現状の使い方 ・こんな使い方がしたい ・使う上での課題
について意見交換を行いました。



	市民センター	学校	その他(まち全体)
現状の使い方	<ul style="list-style-type: none"> 図書館 会議室 駐車場が使いにくい、少ない 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドが開放されている 空き教室をタウンスクールとして利用 防災イベント 	<ul style="list-style-type: none"> 公園で夏祭り 団地周辺の犯罪が多い 中央商店街がさみしい
こんな使い方がしたい	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場を増やしてほしい くつろげるカフェがほしい 規模を大きくしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の図書館を使いたい 廃校を市民利用施設に転用 空き教室を利用したい 	<ul style="list-style-type: none"> 育児しているママとシニア層の交流 情報が集約された場所がほしい
使う上での課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化 高齢者は申込みが困難 (PC予約のため) 飲食スペースがない 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンド利用上のルールが曖昧 市の規定による制限が厳しい 	<ul style="list-style-type: none"> 交通が不便 まちづくり部の活動がわからない 坂が多い(高齢者が外にできない)

WS2「小金原のハコモノ2030年シナリオ」STEP2

シナリオカードをもとに、2030年に起こりうる可能性と課題を議論し、小金原で前向きなシナリオに繋がるアイデアを出しました。

◆シナリオカード



ハコモノ関連



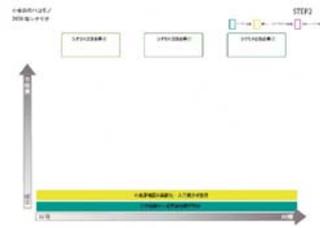
暮らし・ライフスタイル関連



技術・サービス関連

◆多く出たシナリオカード

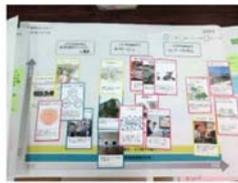
- ・公共交通サービスが撤退
- ・空き教室が大量発生
- ・空き家が大量発生
- ・アクティブシニア
- ・自動運転バス
- ・在宅勤務が一般化
- ・自治会活動の担い手不足
- ・地域包括ケアシステム



- #### ◆1班のシナリオの決め手
- ①コミュニティバスの充実・整備
 - ②買い物場所の充実
 - ③地域包括ケアシステム



- #### ◆2班のシナリオの決め手
- ①若い世代を増やす
 - ②産業・働く機会を増やす
 - ③空きスペースの有効活用



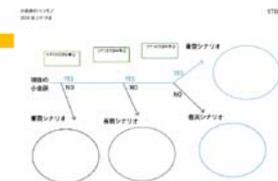
- #### ◆3班のシナリオの決め手
- ①地域包括ケアシステムの構築
 - ②技術の向上
 - ③エネルギーの効率化



- #### ◆4班のシナリオの決め手
- ①コミュニティビジネスの展開
 - ②アクティブシニアやお母さんが活躍する場づくり
 - ③3世代が安心して住めるまちづくり

WS2「小金原のハコモノ2030年シナリオ」STEP3

STEP2で検討したシナリオを実現するうえで何が一番重要か、それぞれのシナリオの分岐点となる決め手を議論し、「最高を想定した青空シナリオ」から「最悪を想定した豪雨シナリオ」を考えました。



- #### 1班のシナリオの決め手
- ①コミュニティバスの充実・整備
 - ②買い物場所の充実
 - ③地域包括ケアシステム



- #### 2班のシナリオの決め手
- ①若い世代を増やす
 - ②産業・働く機会を増やす
 - ③空きスペースの有効活用



- #### 3班のシナリオの決め手
- ①地域包括ケアシステムの構築
 - ②技術の向上
 - ③エネルギーの効率化



- #### 4班のシナリオの決め手
- ①コミュニティビジネスの展開
 - ②アクティブシニアやお母さんが活躍する場づくり
 - ③3世代が安心して住めるまちづくり

主な内容

豪雨シナリオ



主な内容

青空シナリオ



(5) 公共施設マネジメントシンポジウム 06 in 小金原 (実施日：平成 30 年 2 月 4 日)

テーマ：鳩山に学ぶ。

埼玉県・鳩山町の事例をもとに、ニュータウンの将来に備え、今考えるべき具体的なトピックを事例とともに提示し、市民が愛着のある地域がこの先も活力を維持していくために、何が必要なのか、何ができるのか、地域を自律的に経営していく発想でコミュニティの未来を考えていきます。



藤村龍至氏が主宰を務める RFA が事業運営面に力を入れて施設の管理運営を実施している鳩山町コミュニティ・マルシェを題材として、当該施設のコーディネーターの菅沼朋香氏とともに、「持続可能な郊外住環境に必要な空間像」や「公共施設運営」をテーマに基調講演を行いました。

パネルディスカッションでは、小金原と鳩山町の類似点（交通アクセスや都心との距離等）、子育て世帯の働き方等について参加者と議論を交わしました。

(6) 小金原まちづくり懇談会 2018 (実施日：平成 30 年 3 月 4 日)

テーマ：「誰もが安心して暮らしていけることのできる社会づくり」
～行政と地域住民、民間企業と地域住民がつくる地域共生社会～



大阪府箕面市北芝地区でのまちづくり活動について、NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝（事務局長：池谷啓介氏）より多様性、参加型まちづくり、住民参加等について、講演いただきました。

また、小金原地域の印象や地域活動における失敗と教訓、若者に地域活動に参加してもらうための工夫等について、参加者とトークセッションを行いました。

(7) 平成30年度 第1回小金原ワークショップ（実施日：平成30年9月16日）
 ～公共施設の将来シナリオを見直して、地域のみんなで小金原に活気を取り戻す～

「小金原地域のウリ（セールスポイント）」を検討した上で、「再び活気を取り戻すための公共施設のあり方」について、ワークショップ形式で議論を行いました。

<開催結果の概要>

● グループワーク（導入編） 松戸市×小金原地区会まちづくり部

■ 主な意見(小金原のウリは?)

施設の充実	インフラの充実	自然環境	地域コミュニティ
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校施設が多い ● 病院が多い ● 町の中心に公共施設が多い ● 高齢者向けの施設が整っている。 ● 施設がコンパクトにまとまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● インフラが整っている ● 道が広い ● 歩道が多い ● 駅へのアクセスが複数 ● 見通しが良い ● 夜道が明るい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園が多い ● 緑がきれい ● 空気がきれい ● 桜がきれい ● 公園が充実している ● 並木道がきれい 	<ul style="list-style-type: none"> ● お年寄りが元気 ● 地域イベントが多い ● 参加しやすい行事が多い ● 元気な高齢者が多い ● 人が優しい ● 町会組織が充実している

■ 各班の意見(小金原のキャッチフレーズは?)

班名	キャッチフレーズ
1班	子育てがしやすい町に（子供を育てる環境を整えよう！）
2班	ゆったり豊かな桜の街・太陽と緑と健康の小金原
3班	草木が香るやさしい街
4班	広い空の下、子どもたちが住み続けたい街！小金原！！
5班	豊かな自然と便利な環境 楽しく住み続けていきたい街
6班	温かみのある・親しみのある・安全な・住みやすい・縄文人も住んだ街

4

● グループワーク（検討編） 小金原地域の小・中学校 松戸市×小金原地区会まちづくり部

● 小金原地域の小・中学校
 小金原地域の小・中学校の対策と理由について検討しました。
 ⇒小金原地区会まちづくり部より小金原地域の小・中学校の再編（案）が提示されました。

■ 主な意見

他機能との複合化	学校施設の統廃合	学校の空きスペースの活用	その他
複合施設として利用	小学校を統合する 中学校を統合する	空き教室を集会所や学童として活用する	防災設備を充実させる
民間保育所、高齢者向け施設と複合する	小中一貫校化する	学校施設を地域活動の場として活用する	塗装や改修をしっかりと行う
校舎を使ったベンチャー企業と工房を誘致する	合併後、跡地に会社を誘致する	町全体の遊び場、運動場として機能させる	中学校を減築する
	合併後、跡地にリーススペースを設置する		廃校跡地を複合施設として活用する
	市内または他市の学校も含めた再編計画		
	統廃合には反対である		

5

● グループワーク（検討編）

松戸市×小金原地区会まちづくり部

● 小金原市民センターなど中心部の公共施設

小金原市民センターなど中心部の公共施設の対策と理由について検討しました。



■ 主な意見

小金原市民センター	小金原公園	小金原中央商店街	その他
地元商店街との融合	児童館・子ども向け施設をつくる	子どもたちの商店街	保育所の駐車場を30分無料にする(送迎の為)
各学校跡地へ機能を分散する	公園は潰さないでほしい	地元の商品を守る施設を導入する	バス停にコミュニティ案内所を設ける
民間事業者を導入する	体育館と保育所を公園内に移転する	商店街の一部を保育園にする	小金原体育館に民間スポーツクラブを導入する
図書館を移転し、大きな図書館を建設する		東側に店舗を集約し、西側は駐車場にする	

● グループワーク（検討編）

松戸市×小金原地区会まちづくり部

● その他小金原地域の公共施設

その他小金原地域の公共施設の対策と理由について検討しました。



■ 主な意見

- ・ コミュニティバスの導入
- ・ 小金原団地の再開発
- ・ 自転車用道路の整備
- ・ ユーカリ学園跡地、職業訓練センター跡地を公園と憩いの場にする
- ・ 地域のランドマークが必要
- ・ 近隣に進出する大型ショッピングモールの影響を踏まえた対応が必要

● ワークショップ講評

松戸市×小金原地区会まちづくり部

● ワークショップ講評要旨（東京大学村山准教授より）

一言でいうと小金原力を感じたワークショップでした。特に良かった点は以下の三点です。



- 1.これまでの状態を維持するということではなく、人口減少や少子高齢化が進む、**これからの状況の変化に対応し、街を良くしていくことについて前向きな議論がなされたこと。**
- 2.**公共施設のみではなく、商店街、バスターミナル、公園、駐車場など全体的な再編を検討する必要性についての議論や、付近の大型ショッピングセンターとの共存等について問題提起がなされたこと。**
- 3.市が管理する公共施設の床面積の削減が求められる中で公共施設再編について**具体的な施設を対象に具体的な議論がなされたこと。**

案に挙げた再編パターンのメリット・デメリット等についての**丁寧な議論を引き続きこのような場で続けていってほしい**と思います。

(8) 平成 30 年度 第 2 回小金原ワークショップ（実施日：平成 30 年 10 月 21 日）

第 1 回で挙げた公共施設のあり方についての意見を踏まえ、「小金原地域のこれからの学校施設の利活用方法（これからの学校に必要なこと、実現・継続するための工夫）」や、「小金原地域の学校再編の方向性（3 案（A～C 案）をケーススタディとして、良いと思う案とその理由）」について、ワークショップ形式で議論を行いました。

<開催結果の概要>

● グループワーク第 1 部（主な意見）

■ これからの学校に必要なコト

学校施設の活用				学校跡地の活用
日常利用	習い事・サークル	子育て・福祉	はたらく場所	
自習室として活用 (地域へも開放)	グラウンドを開放する (スポーツ教室)	保育園を導入 学童クラブを導入	地元で起業する人へ事務所として貸し出す	道の駅とする
地域団体の会議 (町会など)に利用	音楽室を開放する (音楽教室・カラオケ)	特別養護老人ホームを導入	オフィスを導入	高齢者住宅として活用
こどもの遊び場とする (雨の日の遊び場)	民間の講座を誘致 (DIY・料理教室等)	デイホーム	レストランを導入	農業を行い、食育学習の場とする
図書館の地域開放	ボランティアの学習塾	子どもと高齢者が交流する場とする	NPO・ボランティアの拠点	民間施設として活用 (水族館・温泉等)
地域コミュニティの拠点 (サロン、多目的スペース)	温水プールを導入し 地域に開放する	子ども食堂を導入	行政手続きの窓口	地域ビジネスの拠点 (物産店・加工工場)

■ 実現・継続するための工夫

- 既存の学校施設（校庭・教室）を有効活用する
- 市の施設を安く提供する（施設使用料の見直し）
- 廃校（学校跡地）を有効活用する
- 出来ることは市民が主体的に取り組む
- 学校を複合化する
- 学校の管理は地域と先生が行う
- 学校を地域へ開放する
- 施設を管理する団体（NPO等）を設立する
- 児童、生徒と地域住民で動線（入口）を分ける
- 地域雇用の促進（子育て世代・高齢者等）
- 学校施設を区切る（学校教育/地域開放）
- 受付場所や連絡先を統一し、明瞭にする
- 学校利用の規制緩和
- 市が法的な許可（認可）を申請する

4

● グループワーク第 2 部（主な意見） A案

■ A案の概要

- 小学校・中学校をそれぞれ統合することで小学校 2 校、中学校 1 校とする。
- 新中学校は小金原公園に整備する。

■ 利活用のポイント

- 学校の統合（新設）に伴い、多機能化や複合化が期待される。
- 廃校に伴う跡地利用などが考えられる（3 校）。
- 空き教室の発生は少ないと想定される。



■ 各班の投票数 1 班: 3 票、2 班: 4 票、3 班: 3 票、4 班: 1 票、5 班: 1 票、6 班: 2 票

■ A案が良いと思う主な理由

<公共施設の再編に関する事>

- 統廃合に伴って**学校跡地を活用**することが出来るため。
- 新設に伴って**多機能化**が期待できるため。(温水プール・保育施設・防災拠点・学童・スポーツ施設等)
- 空き教室を活用**することが出来るため。(補習・町内の会議)
- 細々とした**改修よりも効率が良い**(持続性がある)ため。
- 統廃合により、**設備の充実した学校を整備**することができるため。

<学校教育に関する事>

- 幅広い関わり**を持つことができるため。
- 一定の**児童・生徒数を確保**することができるため。

■ 補足・改善策

- スクールバス**や**コミュニティバス**を導入する。
- 小金原団地の活用**(住宅を高層化し、空き地に学校を新設)
- 中学校跡地に**大学を誘致**する。
- 小中一貫校**とする。

5

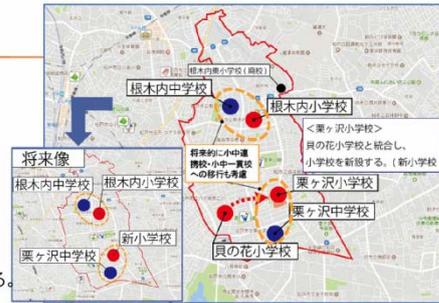
● グループワーク第2部（主な意見）B案

■ B案の概要

- ・小金原地域の北部と南部にそれぞれ小学校、中学校を1校ずつ設ける。
(将来的に小中連携校や小中一貫校への移行も考慮)

■ 利活用のポイント

- ・学校の統合（新設）に伴い、多機能化や小・中学校間の連携が期待される。
- ・廃校に伴う跡地利用などが考えられる（1校）。
- ・存続する小中学校（3校）で空き教室の発生が想定される。



- 各班の投票数 1班: 5票、2班: 5票、3班: 3票、4班: 2票、5班: 5票、6班: 2票

■ B案が良いと思う主な理由

<公共施設の再編に関する事>

- ・統廃合に伴って**学校跡地を活用**することが出来るため。(民泊・商店街および市民センターの移転等)
- ・新設に伴って**多機能化**が期待できるため。(保育施設・学童等)
- ・**空き教室を有効活用**できるため。(地域のコミュニティ拠点等)
- ・A案やC案と比較し、**建て替えコストおよび管理コストの両方を抑えられる**と考えられるため。

<学校教育に関する事>

- ・**小学校と中学校が連携**することで**低学年・高学年間の交流**が生まれるため。
- ・**小中一貫校は教育に良い**ため。
- ・**学区を大きく変更せずに児童・生徒数を確保**できるため。

■ 補足・改善策

- ・**小中一貫校**とする。(さらに、幼稚園・保育園の機能も追加する。)
- ・以前廃校となった**根木内東学校をモデルケースとして有効活用**する。

6

● グループワーク第2部（主な意見）C案

■ C案の概要

- ・現在の学校をできる限り維持し、空きスペースの利活用等を検討する。

■ 利活用のポイント

- ・学校の統合（新設）は行われぬ。
- ・すべての学校を維持するため、廃校は発生しない。
- ・存続する小中学校（5校）に空き教室の発生が想定される。



- 各班の投票数 1班: 1票、2班: 0票、3班: 5票、4班: 4票、5班: 2票、6班: 4票

■ C案が良いと思う主な理由

<公共施設の再編に関する事>

- ・**空き教室を有効活用**できるため。(学童、保育施設等)
- ・学校施設を**各地域の避難所として活用**できるため。
- ・現状の施設を有効活用すれば、**学校の 신설・取り壊しにかかる費用が発生しない**ため。

<学校教育に関する事>

- ・小人数学級とすることで**教育の質、学校環境の向上**につながるため。
- ・**通学距離を維持**することができるため。(不審者・交通事故から子どもを守ることができる)
- ・**通学環境は居住地を選択するうえでの指標**であるため。
- ・**児童、生徒数の増加に備えて現在の教室数を維持**するべきであるため。
- ・**学校と地域の間関係を維持**することができるため。

■ 補足・改善策

- ・部活動などで**人数を要する際には他校と連携し、合同で実施**する。

7

1-2. 小金原地域におけるモデル事業の検討

モデル事業は、公共施設再編に向けた早期に実現可能な事業を対象として、事業の実現性や期待される効果及び実施に向けた課題などを検討することで、公共施設再編のリーディング事業として早期に推進することが重要です。これを踏まえて、下記の視点でモデル事業の抽出・検討を行うものとします。

【モデル事業検討の視点】

- ▶ モデル地域（小金原地域、新松戸地域、東部地域（東松戸地域））を対象に、今後具体的な事業展開が期待される事業を対象に検討します。
- ▶ 検討内容として、参考事例の整理、導入機能・規模の設定や、概算コスト及び民活によるコスト削減効果の概算等、今後の事業化を見据えた概略検討を行うことで、事業化検討に円滑につなげられるものとします。

ここでは、前項の小金原地域における市民参加による検討プロセスにおいて、公共施設のあり方を検討する中で検討プロジェクトの候補の一つとして挙げられている「小金原市民センター等※のリノベーションの検討」を取り上げてモデル事業の検討を行うものとします。

※小金原市民センター等は、小金原支所、図書館小金原分館、小金原老人福祉センターを含む

(1) 小金原地域における小金原市民センター等のリノベーション検討

【モデル事業の検討内容】

小金原地域の拠点的な役割を有する一方で築後 40 年以上を経過して老朽化が進行している小金原市民センター等を対象に、地域人口の減少や高齢化の進行、地域コミュニティの維持など、将来的な地域ニーズを踏まえた改修内容や改修に伴う概略コスト及び民活手法等について、概略検討する。

a. 対象施設の概要

以下に小金原市民センター等の概要を示す。

小金原市民センター等は、小金原地域の中心部に位置しており、周辺は UR 小金原団地など住宅地に囲まれている。

表 1 対象施設の概要

施設名	小金原市民センター等
所在地	松戸市小金原 6 丁目
延床面積	1,880.52 m ²
敷地面積	1,780 m ²
施設形態	複合施設
用途地域	近隣商業地域
建ぺい率／容積率	80％／200％
構造／階数	鉄筋コンクリート造／地上 2 階建
竣工年	昭和 51 年（1976 年）
耐震化実施状況	耐震診断：実施済み、耐震改修：不要



地図出典：やさシティマップ（松戸市地図情報提供サービス）

図1 施設周辺地図

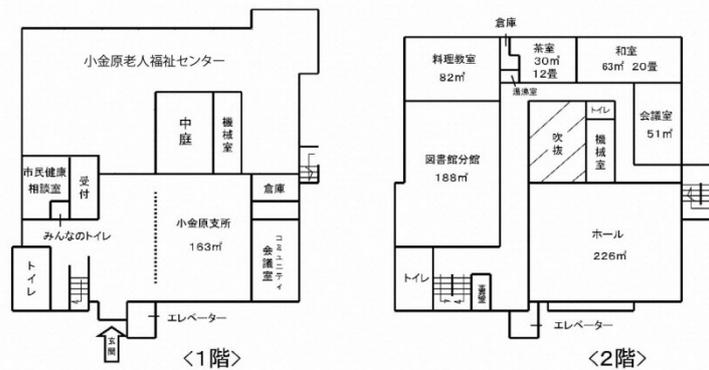


図2 施設平面図

b. 施設の老朽化状況

小金原市民センター等は築後 42 年を経過しており、老朽化が進行している。外壁の一部にひび等が見られるが、大きな損傷は見られない状況である。

耐震化の状況については、耐震診断で耐震改修が不要であることが確認されている。

【外観】



【外壁】



【屋上 1】



【屋上 2】



図3 小金原市民センターの施設写真

c. 周辺の主な公共施設の立地状況

小金原市民センターから半径 500m 圏内に立地する公共施設を以下に示す。
 小金原市民センター周辺に公共施設が集積されている。

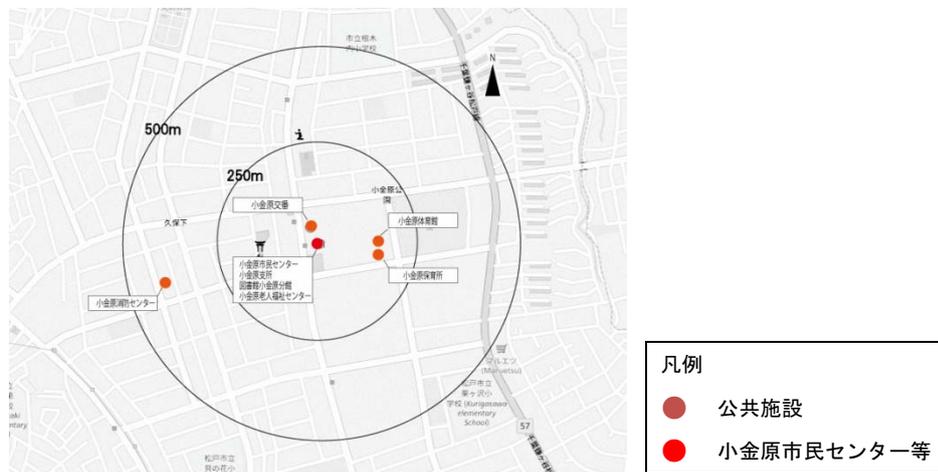


図 4 周辺の公共施設

d. 周辺の主な生活利便施設等の立地状況

小金原市民センターから半径 500m 圏内に立地する物販施設、飲食施設、住宅、福祉施設を以下に示す。小金原市民センター周辺に多くの民間施設が立地している。

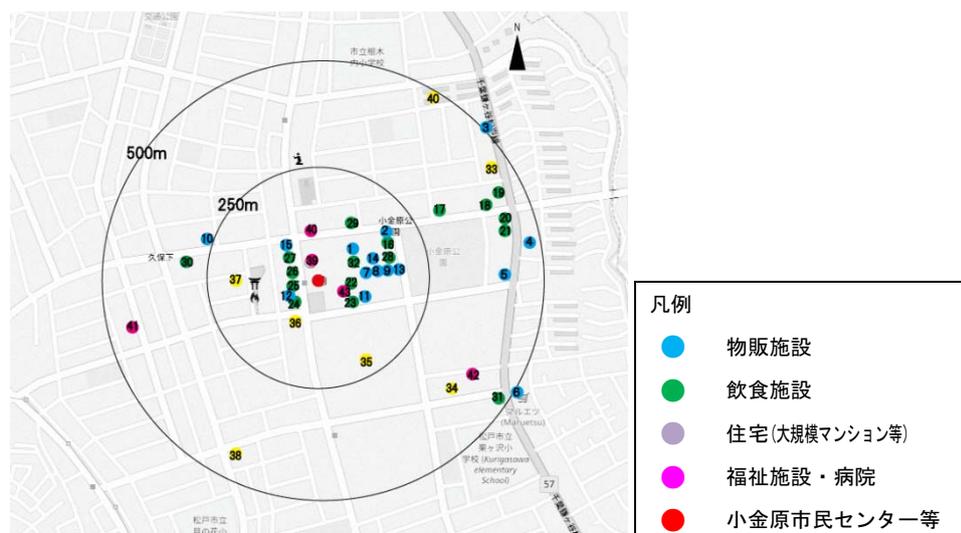


図 5 周辺の生活利便施設

表2 周辺の生活利便施設

(平成30年3月1日現在)

No	施設名	分類
1	リブレ京成小金原店	物販施設
2	ダガシヤ・ダイチャン	
3	セブン-イレブン 松戸小金原団地店	
4	銀座山形屋	
5	デイリーヤマザキ 松戸小金原店	
6	マルエツ 小金原店	
7	サンドラッグ小金原店	
8	薬 マツモトキヨシ 小金原店	
9	今日和 小金原店	
10	プチマドカ 小金原4丁目店	
11	中央食糧(耐米庵)	
12	ほっかほっか弁当かまど小金原店	
13	タケノウチ	
14	一汁三菜	
15	ミニストップ 松戸小金原店	
16	味楽(みらく)	
17	美食王国	
18	(有)肉のたむら	
19	マイルド	
20	楽だこ	
21	和処 魚禅	
22	ベーカリー モール	
23	そば処 ゆたかや	
24	はる	
25	串揚げ工房穂	
26	大衆DINING縁	
27	華屋与兵衛小金原店	
28	R's	
29	はま寿司 松戸小金原店	
30	ミカワヤ 小金原店	
31	ASIAN INDIAN DINING&CAFE LEEMA	
32	名菜酒家 珍来	住宅
33	小金原第7コーポラス	
34	小金原第3コーポラス	
35	小金原団地	
36	ラフィース・ナミキ	
37	清水マンション	
38	レオパレスフオンティース	福祉施設・病院・診療所
39	医療法人 小金原診療所	
40	老人ホームシーハーツ小金原公園	
41	湯原産婦人科医院	
42	富岡産婦人科	
43	小金原診療所	

e. 小金原市民センターのコスト状況

年間で約 134 百万円の支出があり、約 56 百万円の使用料収入があることから、実質的に年間 77 百万円の支出負担額が生じている。

表 3 小金原市民センターのコスト概況

	年度平均 (千円/年) (H26~H28 平均)	市民 1 人当たり (円/年)	利用者 1 人当たり (円/年)
支出 (C)	134,241	277.6	2,176
維持管理費	95,410	197.3	1,546
運営費	38,831	80.3	629
収入 (D)	56,578	117.0	917
支出－収入 (C-D)	77,663	160.6	1,259

f. 小金原市民センターの使用料収入

市内在住者は、下表の使用料金、市外在住者は、下表使用料金の 2 倍となっている。

また、市内在住者で営利目的に使用する利用者は、下表使用料金の 3 倍、市外在住者で営利目的に使用する利用者は下表使用料金の 4.5 倍となっている。

表 4 小金原市民センターの使用料

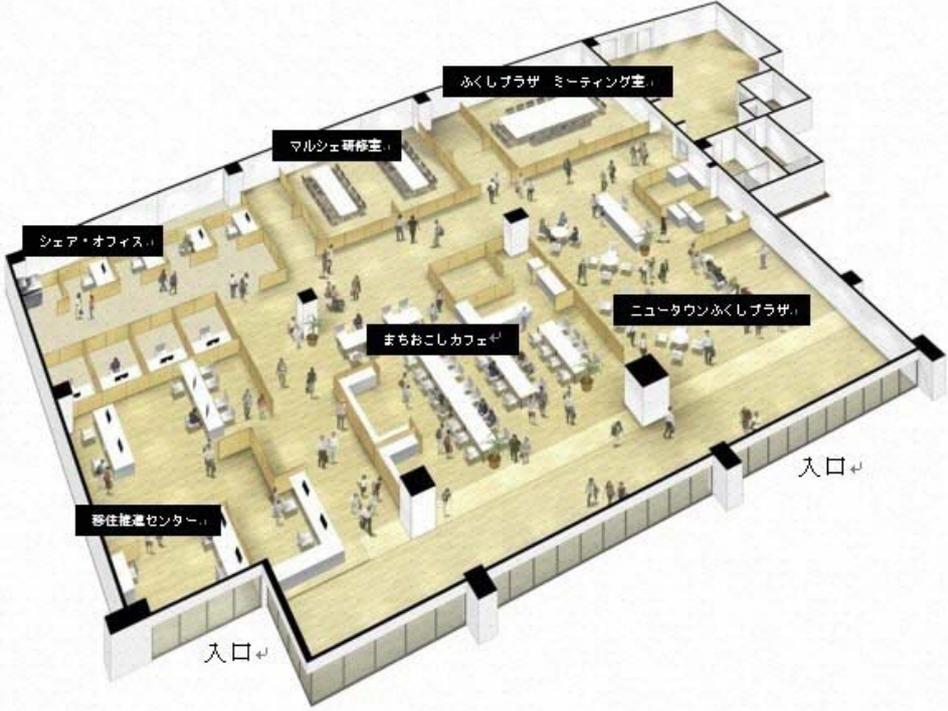
施設	1 時間当たりの使用料金 (円)	
	昼間 (9 時~17 時)	夜間 (17 時~21 時)
ホール	700	910
会議室	270	370
和室	210	270
料理教室	430	640
茶室	270	370

(2) 市民利用施設のリノベーションに関する参考事例

PPP等の民活手法により、市民利用施設の改修(リノベーション)又は運営を行っている事例を以下に整理する。

表5 民間活力を導入した事例の概要

事例	概要
鳩山町コミュニティ・マルシェ (埼玉県鳩山町)	● 鳩山ニュータウンのタウンセンター内に、官民複合施設として整備したコミュニティセンター(集会所、店舗、事務所で構成)の1階部分の旧物販ゾーン(旧西友リビング館)を地域のコミュニティ施設に再利用。
徳島県青少年センター (徳島県)	● 建築後30年が経過しており、施設面及び機能面で根本的な見直しを行い、現在の青少年施策の機能は残しつつ、時代の変化に対応した新たな機能を集約し、県民の総合サービス拠点として再編。
立川市旧庁舎施設活用事業 (東京都立川市)	● 市庁舎の新築移転に伴い未利用になった旧庁舎施設等を改修し、「子育て支援施設」「まんがぱーく(漫画図書館)」「市民活動支援施設」が複合する賑わい拠点に再編。

名称	①鳩山町コミュニティ・マルシェ（埼玉県鳩山町）																									
写真	 <p>※出典：鳩山町 HP</p>																									
施設概要	<p>● 鳩山ニュータウンのタウンセンター内に、官民複合施設として整備したコミュニティセンター（集会所、店舗、事務所で構成）の1階部分の旧物販ゾーン（旧西友リビング館）の再利用施設。</p> <table border="1" data-bbox="392 678 1430 1229"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>延床面積</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移住推進センター</td> <td>約 80 m²</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクシステムを活用した各種情報の収集及び提供を行い、町への移住に関する相談、支援を実施。 暮らしに関する公益的サービスの研究及び提供。 </td> </tr> <tr> <td>ニュータウンふくしプラザ</td> <td>約 140 m²</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の推進、拠り所づくり、ボランティア活動の支援、各種相談支援事業、地域見守り支援ネットワークに関することを実施。 </td> </tr> <tr> <td>まちおこしカフェ</td> <td>約 110 m²</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 飲食物（地域特産品に限る）の販売、地域特産品の展示及び販売。 地域交流及び地域の振興を目的とする事業の実施。 </td> </tr> <tr> <td>シェア・オフィス</td> <td>約 70 m²</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 仕事や学習の場を提供することにより、新たな起業を支援。 </td> </tr> <tr> <td>マルシェ研修室</td> <td>約 40 m²</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 各種資源を活かした多世代の活躍の促進を図るために各種研修等を開催 </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>約 346 m²</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約 786 m²</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 		施設名	延床面積	事業内容	移住推進センター	約 80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクシステムを活用した各種情報の収集及び提供を行い、町への移住に関する相談、支援を実施。 暮らしに関する公益的サービスの研究及び提供。 	ニュータウンふくしプラザ	約 140 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の推進、拠り所づくり、ボランティア活動の支援、各種相談支援事業、地域見守り支援ネットワークに関することを実施。 	まちおこしカフェ	約 110 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 飲食物（地域特産品に限る）の販売、地域特産品の展示及び販売。 地域交流及び地域の振興を目的とする事業の実施。 	シェア・オフィス	約 70 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 仕事や学習の場を提供することにより、新たな起業を支援。 	マルシェ研修室	約 40 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 各種資源を活かした多世代の活躍の促進を図るために各種研修等を開催 	その他	約 346 m ²	—	合計	約 786 m ²	—
施設名	延床面積	事業内容																								
移住推進センター	約 80 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクシステムを活用した各種情報の収集及び提供を行い、町への移住に関する相談、支援を実施。 暮らしに関する公益的サービスの研究及び提供。 																								
ニュータウンふくしプラザ	約 140 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の推進、拠り所づくり、ボランティア活動の支援、各種相談支援事業、地域見守り支援ネットワークに関することを実施。 																								
まちおこしカフェ	約 110 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 飲食物（地域特産品に限る）の販売、地域特産品の展示及び販売。 地域交流及び地域の振興を目的とする事業の実施。 																								
シェア・オフィス	約 70 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 仕事や学習の場を提供することにより、新たな起業を支援。 																								
マルシェ研修室	約 40 m ²	<ul style="list-style-type: none"> 各種資源を活かした多世代の活躍の促進を図るために各種研修等を開催 																								
その他	約 346 m ²	—																								
合計	約 786 m ²	—																								

整備事業費	■鳩山町コミュニティ・マルシェ整備事業費（改修整備）		
	区分	事業費(千円)	備考
	1. 空き店舗取得費	5,000	地方創生加速化交付金事業
	2. 整備工事費	33,556	地方創生加速化交付金事業
	3. 設計管理費	4,288	町単独費:給排水等設備工事部分
	4. 備品整備費	5,996	地方創生加速化交付金事業
	合計	48,840	
	※鳩山町受領資料より		
指定管理者	株式会社アール・エフ・エー (総合ディレクター：藤村龍至、コーディネーター：菅沼朋香)		
指定管理期間	平成 29 年 7 月～平成 33 年 3 月（3 年 9 カ月）		
事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の所有者と賃貸・購入希望者の仲介は、宅地建物取引に関する協会に仲介を依頼。 ・ まちおこしカフェは、別途公募するカフェ運営者及びカフェ出店者を総括的にサポート（総括管理を実施）。 ・ ニュータウンふくしプラザは鳩山町社会福祉協議会が運営。 ・ 国の「地方創生加速化交付金」の採択を受け、高齢化の進む住宅団地（鳩山ニュータウン）において住宅団地アクティブ化事業を具体的に展開するため、空き店舗を町が取得して再整備。 ・ 施設運営は、「町民参加型で、自立性が高く、魅力的な施設運営」ができる法人・団体を条件として、公募により指定管理者を選定。 ・ 設計事務所（株式会社アール・エフ・エー）が指定管理者として施設運営を実施。 ・ イベントごとに異なったテーマや目的を設けており、多世代の方に向けて「鳩山町コミュニティ・マルシェ」の周知を図っている。 		

※出典・参考資料：鳩山町 HP、新・公民連携最前線（日経 BP 社）、鳩山町受領資料

事業名称	②徳島県青少年センター整備運営事業
写真	 <p style="text-align: right;">※徳島県青少年センターHP より</p>
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築後 30 年が経過しており、施設面及び機能面で根本的な見直しを行い、現在の青少年施策の機能は残しつつ、時代の変化に対応した新たな機能を集約し、県民の総合サービス拠点として再編。 ● 施設内にあった温水プールは、近隣に出来た他公共施設による温水プールの開設に伴い利用者数が激減したことにより廃止され、新たにインドア運動場としてリニューアルされた。 ● <u>インドア運動場ではテニスやフットサル、阿波踊りの練習等が利用できるようなコートを設置するほか、文化・音楽の活動の場にもなっている。</u> <p>主な施設内容 敷地面積：約 3,395 m² 延床面積：約 9,494m² 施設機能：インドア運動場、キッチンスタジオ、体育室、健康トレーニング室、会議室、音楽室、レクリエーションホール、華道室、茶道室、和室、とくしまマリッジサポートセンター、徳島県消費者情報センター</p>
事業手法	PFI 方式 (RO)、サービス購入型
事業期間	約 10 年 (整備約 2 年、維持管理・運営約 8 年)
業務範囲	施設の整備・維持管理・運営 運營業務内容： 健康トレーニング指導業務、情報システム運營業務等
事業費	約 17 億円
VFM	約 10.0%
選定事業者	代表企業：合人社計画研究所 構成企業：坂本工務店、三晃産業、三笠電気
事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島青少年センターは昭和 49 年 1 月に徳島県の県庁所在地である徳島市内に設置され、県下の青少年が青少年活動をとおして豊かな情操とたくましい体力を培う場として、また青少年が積極的な余暇利用をはかり、自分自身の可能性を追求するとともに、豊かな創造力や社会参加への新しい知識を身につけるための機械を得る場として提供し、青少年の健全な育成を図るために設けられた。

※出典：徳島県青少年センターHP、日本 PFI・PPP 協会 HP

事業名称	③立川市旧庁舎施設活用事業
写真	 <p style="text-align: right;">※立川市 HP より</p>
施設機能	図書館、子育て支援施設、市民活動支援施設
施設概要	<p>【敷地面積】約 15,000m²</p> <p>【旧庁舎延床面積】約 3,700m² 地下1階・地上2階、RC造</p> <p>【市民会館延床面積】約 12,000m² 地下1階・地上5階、RC造一部SRC造一部S造</p>
事業手法	DB+指定管理協定
事業期間	約12年（改修整備約2年、維持管理約10年）
業務範囲	施設の改修整備・維持管理・運営
事業費	約25億円
選定事業者	<p>代表企業：株式会社社合人社計研究所</p> <p>構成企業：清水建設、株式会社佐藤総合計画、株式会社共立、特定非営利活動法人ワーカーズコープ、街制作室株式会社。株式会社 studio-L、株式会社ムービック・プロモートサービス、株式会社壽屋</p>
事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 市庁舎の新築移転に伴い未利用になった旧庁舎施設等を改修し、「子育て支援施設」「まんがぱーく（漫画図書館）」「市民活動支援施設」が複合する賑わい拠点に再編した事例である。 旧庁舎周辺地域の再生において、市は市民を交えた検討を踏まえてランドデザインを策定、当該事業を地域全体のまちづくりに繋げる第1ステージの段階として位置づけている。 事業化にあたっては、隣接する市民会館の改修と合わせてPPP（公民連携）手法を導入。施設改修から事業運営まで包括的・長期的な契約を交わすことで、民間の創意工夫と技術、資金を最大限活用した事業を実施している。 民間の独自提案により導入された「まんがぱーく」（蔵書数約3万冊、入館料制、館内閲覧のみ）は市民ニーズと合致して、広場空間等と融合した市民の新たな憩いの場となっている。

(3) 小金原市民センター等をリノベーションした場合の導入機能の検討

上述の考え方を踏まえて、小金原市民センター等の導入機能を検討する。小金原市民センター等をリノベーションした場合の導入機能の相関図を以下に示す。

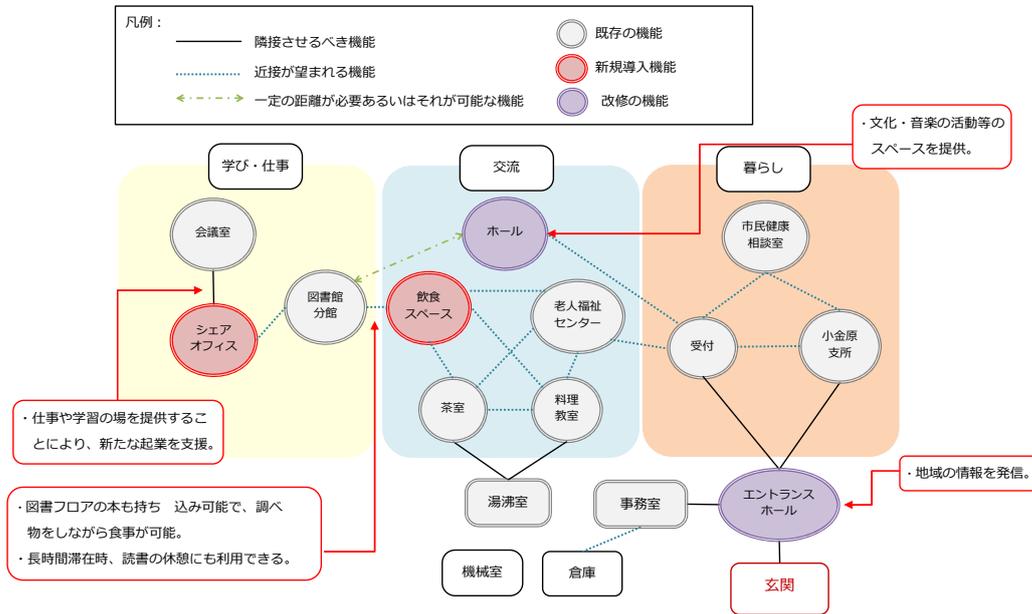


図6 小金原市民センター等機能相関図

a. 市民センター等のリノベーションや民間活力の導入により期待される定性的効果

前項の基本的な考え方や参考事例等を踏まえ、市民利用施設のリノベーションやPPP、指定管理者制度などの民間活力を導入した場合に向上が期待できるサービス（定性的効果）について、事例を参考に、以下に整理する。

表6 市民センター等のリノベーションや民間活力の導入により期待されるサービス

導入サービス（案）	期待されるサービス
情報システムの活用	<ul style="list-style-type: none"> イベント、小金原地区会まちづくり部の活動等情報の収集及び提供による地域組織の拡大。 空き家バンクシステム等を活用した町への移住に関する相談、支援を実施することで、地域に人を呼び込む。
シェアオフィスの導入	<ul style="list-style-type: none"> 仕事や学習の場を提供することにより、新たな起業や定住を支援。 時間に余裕のある高齢者が、地域貢献や若い世代への育成を行える。
飲食スペースの導入	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流の場の創出。 レストラン、カフェ、ショップ等の設置や適正な受益者負担による有料の付加的サービスを展開し、積極的な事業展開を通じて採算性に配慮した運営を行うことで、市の管理コストを縮減。
ホール機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 和太鼓等の文化・音楽の活動のための備品、スペースを提供することで、地域活動の活性化につながる。
効率的な維持管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> 改修、維持管理・運営を一括して発注することで、コスト縮減とともに、維持管理・運営を見据えた施設整備が可能。

b. 定量的効果の検討（事例ベース）

民間活力導入によるコスト縮減効果を把握するため、参考事例を基に、改修を伴う PFI 事業について、市民利用施設で RO 方式を採用している場合のコスト縮減率について、以下に整理する。

これらの事例では、改修設計及び改修整備と、維持管理・運営を長期包括的に行う事業となっており、約 8%～11%程度のコスト縮減率（VFM）となっている。これを踏まえ、PFI 方式等の長期包括的な民活手法の導入により、従来方式と比較してコスト縮減効果が期待できると考えられる。

表 7 改修を伴う PFI 事業（RO 方式）の事例

事業名称	事業内容	事業期間	契約金額	建設費	VFM
弘前市吉野町緑地 周辺整備等 PFI 事業 (青森県弘前市)	芸術文化施設の改修設計及び改修整備を行い、また施設敷地に隣接する市有地を活用（定期借地）したにぎわい創出施設の導入を図る。付帯事業については、SPC による独立採算事業とする。	15 年	4,210 百万円	—	7.8% (特定事業者選定時)
福岡市美術館 リニューアル事業 (福岡県福岡市)	老朽化を迎えた福岡市美術館の大規模改修およびリニューアル後の維持管理・運営業務を行う。	15 年	10,749 百万円	—	11% (入札後)
徳島県青少年 センター 整備運営事業 (徳島県)	民間事業者は、県が所有する土地にある青少年センターを設計、整備した後、事業期間中に係る維持管理・運営業務を行う。	8 年	1,710 百万円	1,380 百万円	10% (特定事業者選定時)
多摩地域ユース・ プラザ（仮称） 整備等事業 (東京都)	学校施設を文化・学習施設、スポーツ施設、野外活動施設、宿泊施設等に改修するための設計、工事及びその運営維持管理業務を行う。	10 年	6,449 百万円	3500 百万円	11% (入札後)

※日本 PFI・PPP 協会 HP 資料より抽出整理。

1-3. 東部地域（東松戸地域）における市民参加による検討プロセスの内容

		内容
平成 28 年度	7月13日	合同意見交換会 (千葉大学、東京藝術大学、松戸市)
	9月7日	公共施設マネジメントシンポジウム 『タウンセンターの50年』
	9月8日 ~9月11日	シンポジウムの開催に合わせ、学生製作の建築模型の展示会を開催
	12月17日 ~12月18日	東松戸まちづくり用地の利活用に関する模型展示会
	1月28日	ひがまつトークイベント 『まちを支える未来のハコモノ vol.1』
	2月11日	ひがまつトークイベント 『まちを支える未来のハコモノ vol.2』
平成 29 年度	5月 ~12月	東松戸まちづくり用地活用事業(事業者募集手続き)

(1) 合同意見交換会 [千葉大学、東京藝術大学、松戸市] (実施日：平成28年7月13日)

東部地域や小金原地域の公共施設再編に係るまちづくり等を対象として、千葉大学（柳澤要教授）、東京藝術大学（藤村龍至准教授）と松戸市の協働事業として立ち上げを行いました。

千葉大学柳澤研究室及び東京藝術大学の3年生の課題として小金原地域及び東部地域（東松戸地域）を取り上げ、合同意見交換会を開催しました。

千葉大学からは、東松戸まちづくり用地（65街区）を対象として、低層案・高層案・分棟案とタイプ別のスタディを行いました。東京藝術大学からは、小金原市民センターと比較しながら、タウンセンターのあり方や50年という時間の考え方について、提案模型等をもとに問いかけや議論を行いました。

【意見交換会及び提案模型】



(2) 公共施設マネジメントシンポジウム（実施日：平成 28 年 9 月 7 日）

●シンポジウム テーマ：タウンセンターの 50 年

松戸市、千葉大学、東京藝術大学の連携による公共施設マネジメントシンポジウムを開催しました。千葉大学建築学科および東京藝術大学建築学科に協力を依頼し、松戸市の今後の地域施設のあり方について、検討を進めました。

基調講演では、柳沢潤氏（建築家、関東学院大学准教授）より、事例を交えて市民が主体的に施設の設計段階や運営段階に関わることや、地域にふさわしい公民連携の施設の作り方など、今の時代の新しい公共施設のあり方を講演いただきました。

ディスカッションでは、公共施設再編におけるモデル地域に選定されている、全地域のなかで先んじて高齢化・人口減少する小金原地域、市内で一番新しい駅があってマンション建設等により人口増加が見込まれる東部地域（東松戸地域）という両極端な 2 つの地域におけるタウンセンターのあり方、施設像などについて幅広い議論を行いました。

【公共施設マネジメントシンポジウム『タウンセンターの 50 年』】



●建築模型の展示会（実施日：平成28年9月8日～平成28年9月11日）

シンポジウム開催に合わせて松戸市文化ホールにて、東部地域（東松戸地域）及び小金原地域を対象として東京藝術大学の学生が製作した建築模型の展示会を開催しました。

最終日には、会場において模型製作者（東京藝術大学建築科の学生）が模型等の解説を行い、ギャラリートークを開催しました。

【模型展示及びギャラリートーク】



（3）東松戸まちづくり用地の利活用に関する模型展示会

（実施日：平成28年12月17日～平成28年12月18日）

産学官連携による東松戸まちづくり用地の利活用に関する検討の一環として、千葉大学と東京藝術大学の学生が4つの機能（支所機能、図書館機能、コミュニティ機能、子育て支援機能）を有した公共施設をイメージした模型を制作しました。

平成28年9月に開催した公共施設マネジメントシンポジウムに引き続き、東松戸駅周辺を中心とした幅広い市民に閲覧いただき、より生活に密着した意見等を聴取するため、東部支所会議室において、模型展示会を開催しました。

【東松戸まちづくり用地の利活用に関する模型展示会】



(4)ひがまつトークイベント（実施日：平成29年1月28日）

～まちを支える未来のハコモノ Vol.1～

(5)テーマ：これからの地域施設のあり方

これまで大学と市で進めてきた学官連携の取り組みのレビューとこれからの地域施設のあり方や公民連携にフォーカスした事業の進め方について議論を行いました。

学官連携の報告では、千葉大学の取り組みとして、東松戸まちづくり用地において地域拠点の施設のバリエーション（低層案・高層案・分棟案）の検討が行われたことや、東京藝術大学の取り組みとして、東部地域（東松戸地域）を対象の一つとして50年という建築のライフサイクルコストを考えたときの公共施設のあり方や新しい施設像の構想について報告が行われました。

【ひがまつトークイベント 『これからの地域施設のあり方』】



(5)ひがまつトークイベント (実施日：平成 29 年 2 月 11 日)
～まちを支える未来のハコモノ Vol .2～

(6)ーマ：地域施設を構想する

地域施設の基本構想(案)の考え方について、建築と施設運営の専門家である、常世田良氏（立命館大教授）、柳澤要氏（千葉大学教授）、藤村龍至氏（建築家/東京藝術大学准教授）をゲストに迎え、参加者を交えたトークセッションを実施しました。

【ひがまつトークイベント 『地域施設を構想する』】



【ひがまつトークイベント Vol .1・2における参加者（住民）の主な意見】（抜粋）

- ・ どうしたらまちの価値を上げられるか。雇用を生む企業誘致の仕組みはないか。沿線価値を上げるような施設をつくれないうらうか。
- ・ 引っ越して3年。保育園が多い。子供が多く、子育てしやすいが足りないものが多い。同じ子育て世代も住みやすいけれど不便が多い。市民の声を拾っていただく場をつくっていただけたらと思う。子育て世代も保育園も声を持っている。

2 公共施設カルテ

公共施設カルテは、市内の公共施設の基礎的なデータベースとして活用するとともに、市民に対して施設の現状や今後の施設のあり方について理解を深めていただくための基礎資料として活用し、公共施設のハード面やソフト面の現状について、多面的な評価を実施することを目的として作成します。なお、公共施設カルテの対象施設は、固定資産台帳を基に、道路、橋りょう等のインフラ施設及び防災倉庫等を除いた施設を対象とします。

また、各施設の概況をわかりやすく示すために、施設の写真・位置図を掲載するとともに、各施設の特徴を相対的に比較するため、レーダーチャートグラフ及びポートフォリオ分析を掲載します。

公共施設カルテに係る施設データについては、定期的に更新し蓄積していくことで、コスト削減額や利用状況の改善など、公共施設再編整備基本計画（以下、「本計画」という）の進捗状況の確認とともに、本計画に基づく個別施設計画を作成する際の基礎データとして活用を図ります。

《 公共施設カルテ 》 項目説明

1. 施設の概要

- 各施設の所在地、事業内容、常駐職員・従業員数、施設開設時期、築年数（老朽度）、開館の状況、避難場所指定の状況、最寄り駅からのアクセス性等、施設の概要を掲載しています。

2. 施設の状況

- 各施設の施設形態、土地・建物の所有形態、建物の構造・階数、延床面積、耐震化の状況、バリアフリー化の状況など、施設の状況を掲載しています。
- 耐震診断及び耐震改修の欄は、実施していない場合は「未」と表記しています。
- 増築・大規模修繕の欄は、実施していない場合は「無」と表記しています。
- 複数の建物を有する施設については、構造・階数は代表する建物の内容を表記しています。
- 延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積を表記しています。また、複合施設の場合は、施設全体の延床面積を併記しています。

3. 施設の利用状況

- 市民利用施設等で、利用状況に関するデータを把握している施設について、利用者数等、稼働率、貸室の使用料収入を掲載しています。
- 稼働率は、各施設が提供する貸室の年間の提供区分総数に対する利用区分総数の割合を示します。（例：1日12区分（1時間単位）提供で年間300日開館している貸室が、年間1800区分利用されている場合は、稼働率50%（1800区分／（12区分×300日））となる。）

4. 建物の維持管理や事業運営に要する経費

- 各施設の支出（維持管理費・運営費）や収入に係る平成27年度から平成29年度の状況について掲載しています。

5. コスト計算（3か年平均）

- 支出（維持管理費・運営費）、収入の年度平均については、経常的に要するコストを把握するため、便宜的に平成27年度から平成29年度の平均金額を掲載しています。
- 市民1人当たりのコストは、平成27年度から平成29年度における松戸市の平均人口に対するコストを表します。
- 利用者1人当たりのコストは、平成27年度から平成29年度における各施設の平均利用者数に対するコストを表します。

6. 将来経費（今後30年間の概算値）

- 大規模改修・更新費の算出は、総務省公共施設等総合管理計画の策定に当たっての指針（平成26年4月22日）において提供されている更新費用試算ソフト（ver.2.10）の基本設定に基づき全体の目安値の算定を行っています。
- 大規模改修は、これまでの大規模改修の履歴に関わらず、建物が築30年に達した段階で、大規模改修期間2年間として算出しています。
- 推計初年度以前に大規模改修年数を経過していた場合は、推計初年度（平成30年度）から2年間を大規模改修時期として計上しています。
- 更新は、建物が築60年に到達した段階で、建替え期間を3年間として算出しています。

■施設評価

- 施設評価の検討にあたっては、「建物性能」「施設機能」「財務」の3つの視点から評価項目、評価指標の検討をまいります。

例

《施設別データ》

施設名		施設No.	
-----	--	-------	--

1. 施設の概要

所在地				位置図
所管課				
施設の主な事業内容				
常駐職員数	正規職員	人		
	再任用職員	人		
	非常勤職員等	人		
常駐従業員数	業務委託	人	指定管理	人
	竣工	年	月	
施設開設時期	供用開始	年	月	
	築年数(老朽度)	年		
開館の状況	開館時間	: ~ :		
	休館日			
避難所指定				
最寄駅からのアクセス性				

2. 施設の状況

施設形態				建物				
所有形態	土地			階数				
構造・階数	構造			敷地面積	m			
延床面積	m		全体面積(複合施設の場合)	m		敷地面積		m
耐震化の状況	耐震診断			実施時期				
	耐震改修			実施時期				
増築・大規模修繕			実施時期					
バリアフリー化の状況	アプローチ・玄関廻り・出入口			駐車場	スロープ・出入口・地下			
	階段			エレベーター	トイレ			

3. 施設の利用状況

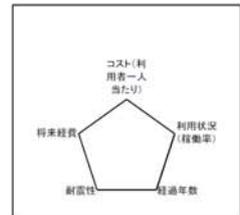
利用者数 (人/年)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
貸室全体の稼働率 (%)			
貸室の使用料収入 (円/年)			
貸室別稼働率 (%)			

貸室名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	貸室名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

4. 建物の維持管理や事業運営に要する経費(3か年平均)

支出(A) (千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度
維持管理費			
運営費			
(うち人件費)			
収入(B) (千円)			
支出-収入(A-B)			

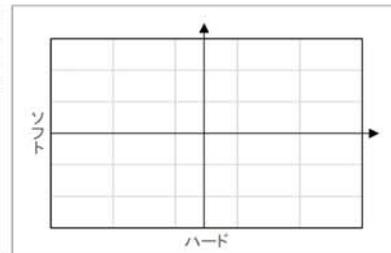
レーダーチャート
(イメージ図)



5. コスト計算(平成27~29年度)

支出(C)	年度平均(千円/年)	市民1人当たり(円/年)	利用者1人当たり(円/年)
維持管理費			
運営費			
収入(D)			
支出-収入(C-D)			

ポートフォリオ分析(イメージ図)



6. 将来経費(今後30年間の概算値)

	平成31年度~60年度(千円)	年度平均(千円/年)
大規模改修費(E)		
更新費(F)		
将来経費(E+F)		



備考	
----	--

3 現地調査結果報告書（公共施設カルテ対象施設）

公共施設カルテ対象施設について、今後の維持管理について検討する際の現地状況等の基礎データ収集を行うとともに、施設データとは別に、建築物（外壁・屋上等）について目視で現地調査をすることで、数値上では見えない施設の老朽化状況等を確認し、今後の本計画を作成していく中での課題として把握・整理することを目的として、現地調査を実施しました。

現地調査を実施するにあたり、各施設の所管課に対して、施設に関するアンケート調査を実施し、老朽化の著しい箇所等について事前把握を行いました。

現地調査は、各施設の屋上・外壁を調査対象とし、目視点検と写真撮影・整理を行う形で実施しました。

調査結果は、各施設のアンケート調査結果に基づく各施設の照会データおよび現地調査の結果を踏まえ整理を行い（総合所見、現況写真（外観）、劣化箇所の写真等）、公共施設カルテの付録として整理しました。

例

■ 現地調査結果(公共施設カルテ対象施設)

施設名 女性センター
(築年度) 1980年

施設番号 1-1

1. 現地調査総合所見

[調査日:平成29年12月1日]

全体的に老朽化が進んでおり、外壁の所々にひび(一部爆裂)、浮き等がみられる。

【施設に関するアンケート調査票の記載内容】

◎対象種別・箇所:外壁・北面の外壁 / 損傷劣化状況:4~5階踊り場、1階事務室で雨漏りが発生している箇所がある。

◎対象種別・箇所:外壁・南面の外壁 / 損傷劣化状況:爆裂が多く発生しており、一部に落下防止ネットを張って対処している。

2. 現況写真(施設全体の外観)



3. 現況写真(劣化の著しい箇所等の写真) <屋上>

※屋上の写真無し

<外壁>



<外壁>



4 松戸市公共施設再編整備基本計画（案） 対象施設一覧

平成30年10月31日現在

番号	大分類	中分類	施設名
1	行政サービス施設	本庁舎	市役所庁舎
2			市役所庁舎(衛生会館)
3			市役所庁舎(京葉ガスビル)
4			市役所庁舎(京葉ガス第2ビル)
5			市役所庁舎(共用物品倉庫、詰所、体育館)
6			市役所庁舎(クミアイビル)
7		支所	常盤平支所
8			小金支所
9			小金原支所
10			六実支所
11			馬橋支所
12			新松戸支所
13			矢切支所
14			東部支所
15			行政サービスセンター
16	行政サービス施設	消防施設	消防局
17			中央消防署
18			西口消防署
19			二十世紀が丘消防署
20			小金消防署
21			馬橋消防署
22			大金平消防署
23			八ヶ崎消防署
24			五香消防署
25			六実消防署
26			東部消防署
27			南花島消防センター(1分団)
28			上本郷消防センター(2分団)
29			明消防センター(3分団)
30			和名ヶ谷消防センター(4分団)
31			本町消防センター(5分団)
32			小山消防センター(6分団)
33			栄町消防センター(7-1分団)
34			古ヶ崎新田消防センター(7-2分団)
35			古ヶ崎消防センター(7-3分団)
36			馬橋消防センター(8分団)

番号	大分類	中分類	施設名
37			中根消防センター(9-1 分団)
38			新作消防センター(9-2 分団)
39			三ヶ月消防センター(10 分団)
40			幸谷消防センター(11 分団)
41			新松戸消防センター(12 分団)
42			旭町消防センター(12-1 分団)
43			主水新田消防センター(13-1 分団)
44			八ヶ崎消防センター(14 分団)
45			小金原消防センター(15 分団)
46			根木内消防センター(16 分団)
47			二ツ木消防センター(17 分団)
48			小金消防センター(18 分団)
49			中金杉消防センター(19 分団)
50			大金平消防センター(20 分団)
51			金ヶ作消防センター(21 分団)
52			佐野消防センター(22 分団)
53			日暮消防センター(23 分団)
54			千駄堀消防センター(24 分団)
55			串崎南町消防センター(25 分団)
56			五香消防センター(26 分団)
57			六実消防センター(27 分団)
58			紙敷新田消防センター(28-1 分団)
59			秋山消防センター(28-2 分団)
60			高塚新田消防センター(29 分団)
61			紙敷中台消防センター(30 分団)
62			紙敷向消防センター(31 分団)
63			河原塚消防センター(32 分団)
64			中矢切消防センター(33 分団)
65			下矢切消防センター(34-1 分団)
66			栗山消防センター(34-2 分団)
67			大橋消防センター(35 分団)
68			消防訓練センター
69			旧小金消防署
70		その他行政サービス	勤労会館
71			女性センター
72			小金原文書庫
73			根木内東文書庫(校舎)
74			松戸競輪場(事務所)
75			松戸市公設地方卸売市場南部市場
76			南花島建物

番号	大分類	中分類	施設名
77			六実駅周辺都市整備事業所
78	集会施設	市民センター	明市民センター
79			稔台市民センター
80			古ヶ崎市民センター
81			常盤平市民センター
82			八柱市民センター
83			小金市民センター
84			小金北市民センター
85			小金原市民センター
86			六実市民センター
87			五香市民センター
88			松飛台市民センター
89			馬橋東市民センター
90			八ヶ崎市民センター
91			新松戸市民センター
92			馬橋市民センター
93			二十世紀が丘市民センター
94			東部市民センター
95			その他集会施設
96	市民交流会館		
97	文化施設	図書館	図書館本館
98			子ども読書推進センター
99			図書館常盤平分館
100			図書館小金原分館
101			図書館小金分館
102			図書館新松戸分館
103			図書館明分館
104			図書館稔台分館
105			図書館八柱分館
106			図書館松飛台分館
107			図書館五香分館
108			図書館六実分館
109			図書館古ヶ崎分館
110			図書館馬橋分館
111			図書館馬橋東分館
112			図書館八ヶ崎分館
113			図書館小金北分館
114			図書館矢切分館
115			図書館東部分館
116	図書館二十世紀が丘分館		

番号	大分類	中分類	施設名
117		社会教育施設	図書館和名ヶ谷分館
118			タウンスクール根木内
119			公民館
120			松戸文化ホール
121			青少年会館
122			青少年会館樋野口分館
123		ホール・劇場	市民会館
124			市民劇場
125			文化会館
126		博物館等	戸定邸
127			戸定歴史館
128			旧齋藤邸
129			松雲亭
130			博物館
131	教育施設	小学校	中部小学校
132			東部小学校
133			北部小学校
134			相模台小学校
135			南部小学校
136			矢切小学校
137			高木小学校
138			高木第二小学校
139			馬橋小学校
140			小金小学校
141			常盤平第一小学校
142			常盤平第三小学校
143			稔台小学校
144			常盤平第二小学校
145			上本郷小学校
146			小金北小学校
147			根木内小学校
148			栗ヶ沢小学校
149			松飛台小学校
150			松ヶ丘小学校
151			柿ノ木台小学校
152			古ヶ崎小学校
153			六実小学校
154			八ヶ崎小学校
155			梨香台小学校
156			寒風台小学校

番号	大分類	中分類	施設名
157			河原塚小学校
158			和名ヶ谷小学校
159			旭町小学校
160			牧野原小学校
161			貝の花小学校
162			金ヶ作小学校
163			馬橋北小学校
164			殿平賀小学校
165			横須賀小学校
166			八ヶ崎第二小学校
167			六実第二小学校
168			新松戸南小学校
169			松飛台第二小学校
170			上本郷第二小学校
171			大橋小学校
172			六実第三小学校
173			幸谷小学校
174			新松戸西小学校
175			東松戸小学校
176		中学校	第一中学校
177			第二中学校
178			第三中学校
179			第四中学校
180			第五中学校
181			第六中学校
182			小金中学校
183			常盤平中学校
184			栗ヶ沢中学校
185			六実中学校
186			小金南中学校
187			古ヶ崎中学校
188			牧野原中学校
189			河原塚中学校
190			根木内中学校
191			新松戸南中学校
192			金ヶ作中学校
193			和名ヶ谷中学校
194			旭町中学校
195			小金北中学校
196		高等学校	市立松戸高等学校

番号	大分類	中分類	施設名
197		その他教育施設	古ヶ崎南小学校
198			根木内東小学校(体育館、倉庫、プール)
200	児童施設	放課後児童クラブ	あかしあ放課後児童クラブ
201			たんぽぽ放課後児童クラブ
202			ひまわり第二放課後児童クラブ
203			ひまわり放課後児童クラブ
204			やきり放課後児童クラブ
205			旭どんぐり放課後児童クラブ
206			横須賀放課後児童クラブ
207			寒風台わんぱく放課後児童クラブ
208			金ヶ作放課後児童クラブ
209			栗っ子放課後児童クラブ
210			古ヶ崎放課後児童クラブ
211			胡録台放課後児童クラブ
212			幸谷放課後児童クラブ
213			高塚放課後児童クラブ
214			高木放課後児童クラブ
215			根木内放課後児童クラブ
216			小金原放課後児童クラブ
217			小金放課後児童クラブ
218			小金北放課後児童クラブ
219			松戸中央放課後児童クラブ
220			松飛台第二放課後児童クラブ
221			松飛台放課後児童クラブ
222			上本郷第二放課後児童クラブ
223			上本郷放課後児童クラブ
224			常盤平第一放課後児童クラブ
225			常盤平第二放課後児童クラブ
226			新松戸放課後児童クラブ
227			杉の子放課後児童クラブ
228			相模台放課後児童クラブ
229			大橋ありのみ放課後児童クラブ
230			中部放課後児童クラブ
231			殿平賀放課後児童クラブ
232			東部放課後児童クラブ
233			南部なかよし放課後児童クラブ
234			馬橋放課後児童クラブ
235			馬橋北放課後児童クラブ
236			八ヶ崎第二放課後児童クラブ
237	八ヶ崎放課後児童クラブ		

番号	大分類	中分類	施設名
238			東松戸放課後児童クラブ
239			風の子放課後児童クラブ
240			牧の原放課後児童クラブ
241			六実第三放課後児童クラブ
242			六実第二放課後児童クラブ
243			和名ヶ谷放課後児童クラブ
244			河原塚放課後児童クラブ
245		保育所	梨香台保育所
246		保育所	二十世紀ヶ丘保育所
247		保育所	松ヶ丘保育所
248		保育所	北松戸保育所
249		保育所	八柱保育所
250		保育所	牧の原保育所
251		保育所	松飛台保育所
252		保育所	六実保育所
253		保育所	古ヶ崎保育所
254		保育所	古ヶ崎第二保育所
255		保育所	馬橋西保育所
256		保育所	新松戸中央保育所
257		保育所	新松戸南部保育所
258		保育所	新松戸北保育所
259		保育所	小金北保育所
260		保育所	小金原保育所
261		保育所	コアラ保育所
262		その他児童施設	E-こどもの森ほっとるーむ新松戸
263		その他児童施設	E-こどもの森ほっとるーむ東松戸
264		その他児童施設	おやこ DE 広場にこにこキッズ
265		その他児童施設	おやこ DE 広場ふれあい22
266		その他児童施設	おやこ DE 広場ゆうまつど
267		その他児童施設	おやこ DE 広場旭町
268		その他児童施設	おやこ DE 広場小金原
269		その他児童施設	おやこ DE 広場常盤平
270		その他児童施設	E-こどもの森ほっとるーむ松戸
271		その他児童施設	おやこ DE 広場南花島
272		その他児童施設	おやこ DE 広場馬橋
273		その他児童施設	おやこ DE 広場北小金
274		その他児童施設	おやこ DE 広場北松戸
275		その他児童施設	おやこ DE 広場矢切
276		その他児童施設	おやこ DE 広場みのり台
277		その他児童施設	ときわ平幼児教室

番号	大分類	中分類	施設名	
278			根木内子ども館	
279			小金原幼児教室	
280			常盤平児童福祉館	
281			野菊野子ども館	
282	福祉施設	高齢者対象施設	小金原老人福祉センター	
283			シニア交流センター	
284			東部老人福祉センター	
285			野菊野敬老ホーム	
286			矢切老人福祉センター	
287			六実高柳老人福祉センター	
288			常盤平老人福祉センター	
289			身体障害者対象施設	子ども発達センター
290				障害者福祉センター
291				旧生きがい福祉センター（ワークジョイまつどセンター）
292	保健・医療施設	病院施設	休日土曜日夜間歯科診療所	
293			市立総合医療センター	
294			レントゲンフィルム保管庫	
295			上本郷第一医師住宅	
296			上本郷第二医師住宅	
297			市立総合医療センター看護師寮	
298			市立総合医療センター附属看護専門学校校舎	
299			市立総合医療センター附属保育所	
300			東松戸病院	
301			東松戸病院(看護師寮、保育施設)	
302			夜間小児急病センター	
303			保健センター	中央保健福祉センター
304				常盤平保健福祉センター
305				常盤平保健福祉センター六実保健室
306		小金保健福祉センター		
307		スポーツ施設	体育館等	クリーンセンター(体育施設)
308				運動公園体育館
309				柿ノ木台公園体育館
310	小金原体育館			
311	常盤平体育館			
312	東部スポーツパーク			
313	和名ヶ谷スポーツセンター			
314	市民交流会館(体育施設)			
315	競技場、球場			運動公園競技場

番号	大分類	中分類	施設名		
316			金ヶ作庭球場		
317			栗ヶ沢公園庭球場		
318		プール	運動公園プール		
319			新松戸プール管理棟		
320	公園施設	公園管理施設等	21世紀の森と広場(アウトドアセンター)		
321			21世紀の森と広場(カフェテラス)		
322			21世紀の森と広場(パークセンター)		
323			21世紀の森と広場(野外活動受付棟)		
324			21世紀の森と広場(南事務棟)		
325			21世紀の森と広場(自然観察舎)		
326			21世紀の森と広場(作業員休憩所)		
327			21世紀の森と広場(売店)		
328			21世紀の森と広場(工作室)		
329			21世紀の森と広場(エレベーター)		
330			ユーカリ交通公園		
331			東松戸ゆいの花公園管理センター		
332			住宅施設	市営住宅	相模台住宅
333					小金原住宅
334	八ヶ崎住宅				
335	小金原併存住宅				
336	幸田住宅				
337	横須賀住宅				
338	常盤平南部住宅				
339	幸田第二住宅				
340	常盤平南部第二住宅				
341	天神山住宅				
342	新松戸住宅				
343	松戸新田住宅				
344	新松戸第二住宅				
345	三矢小台住宅				
346	六高台住宅				
347	シルバー中金杉				
348	松戸新田第二住宅				
349	三ヶ月住宅				
350	八柱住宅				
351	栄町住宅				
352	日暮住宅				
353	八柱第二住宅				
354	八柱第三住宅				
355	環境施設	クリーンセンター	クリーンセンター		

番号	大分類	中分類	施設名		
356			東部クリーンセンター		
357			日暮クリーンセンター		
358			和名ヶ谷クリーンセンター		
359			六和クリーンセンター		
360			資源リサイクルセンター	資源リサイクルセンター	
361				日暮資源リサイクル施設	
362			処分場	日暮最終処分場	
363	その他施設	自転車駐車場	五香駅西口第1自転車駐車場		
364			五香駅東口第2自転車駐車場		
365			松戸駅西口公園下自転車駐車場		
366			松戸駅東口自転車駐車場(南棟)		
367			常盤平駅北口第3自転車駐車場		
368			八柱駅南口第1自転車駐車場		
369			北小金駅南口第1自転車駐車場		
370			北小金駅北口参道第1自転車駐車場		
371			北松戸駅西口自転車駐車場		
372			稔台駅南口第1自転車駐車場		
373			六実駅第2自転車駐車場		
374			松戸駅西口高架下自転車駐車場		
375			松戸駅東口高架下自転車駐車場		
376			馬橋東自転車保管場所管理棟		
377			大橋自転車保管場所管理棟		
378			馬橋駅西口高架下自転車駐車場		
379			六高台自転車保管場所管理棟		
380			新松戸駅西口高架下第一自転車駐車場		
381			新松戸駅西口第8自転車駐車場		
382			松戸駅西口地下駐車場		
383			斎場等		斎場
384					白井聖地公園管理事務所
385					白井聖地公園無縁墓地
386					白井聖地公園(便所)
387	北山市民会館				
388	その他		(旧)レントゲン車庫		
389			すぐやる課詰所		
390			やなぎ町会館		
391			金ヶ作育苗圃管理棟		
392			古ヶ崎本田集会所		
393			高塚新田集会所		
394			紙敷新田集会所		
395			七衛門新田集会所		

番号	大分類	中分類	施設名
396			秋山集会場
396			旧青松園
397			松戸競輪場選手宿舎(A棟)
398			松戸三丁目西自治会集会所
399			松戸市警防ネットワーク安全安心ステーション
400			松戸地域職業訓練センター
401			常盤平会館
402			新松戸未来館
403			相川会館
404			旧向新橋青年館
405			旧中内青年館
406			宮前公衆便所
407			北松戸公衆便所
408			馬橋公衆便所
409			新松戸公衆便所
410			総合福祉会館

今後のスケジュール

平成31年度

事業名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
公共施設再編整備 推進審議会					第1回			第2回				第3回		
施設評価		評価指標の検討						施設カルテの追加整理						
進捗管理 設計画及び個別		進捗管理の手順検討・チェックシート作成						進捗管理						
		個別施設計画の様式作成						各課作成の個別施設計画の内容確認						
モデル地域	小金原				WS			WS			シンポジウム			
	新松戸				地元調整・検討	WS			WS			シンポジウム		
	東松戸													
まちづくり 活用事業		設計期間									工事に向けた準備			

公共施設再編整備推進審議会

第1回審議会：評価指標（案）・進捗管理手法・個別施設計画の様式案

第2回審議会：評価指標及び施設カルテの追加整理・個別施設計画の進捗状況・モデル地域

第3回審議会：個別施設計画・モデル地域